

農001	項目名	アフトピア協会活動補助金	
主要な施策	むらづくり活性化推進事業費	ページ	33
年度	H24	所 属 名	
		農林水産部 農業振興課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】生産流通振興室 生産振興係 0857-20-3234		
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101		
項 農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P148(農001)		
目 農業総務費	【事業の概要】 むらづくり運動の実践団体等で組織するトットリ・アフトピア協会の活動を支援して、会員相互の研鑽と主体的な活動によるむらづくり運動を推進し、農林水産業の振興を図る。		
(単位:千円)	【事業の成果】 むらづくり会議、各実践団体等の組織の育成を図ることを目的とした「むらづくり研修会」等を実施し、むらづくり運動の推進を図った。		
当初予算額	366	【今後の課題・方向性】 むらづくり運動は、高齢化、後継者不足等で休止・解散に至っている団体があり運動の活性化を図ることが課題である。 自立したむらづくり組織の育成を支援するよう事業を見直し、企画推進部と連携しながらむらづくり運動を展開していく。	
補正予算額	0		
予算流・充用額	0		
最終予算額	366	【参考】	
本年度決算額	366	評価結果	
区分	決算額	自立したむらづくり組織の育成を支援するよう事業を見直し、企画推進部と連携しながらむらづくり運動を展開していく。	
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	366		
計	366		
前年度決算額	16		

農002	項目名	ふるさとの味祭り事業費	
主要な施策	むらづくり活性化推進事業費	ページ	33
年度	H24	所 属 名	
		農林水産部 農業振興課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】生産流通振興室 生産振興係 0857-20-3234		
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101		
項 農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P148(農002)		
目 農業総務費	【事業の概要】 鳥取市が「とっとりイモコンフェスティバル」として、JA鳥取いなばが「とっとり農業フェスタ」として別々に開催していた感謝祭を平成3年から「とっとり自然のめぐみ感謝祭」として合同開催している。		
(単位:千円)	【事業の成果】 特色ある農林水産物に対する消費者の理解を深め、生産者と消費者の交流を図ることにより、安全安心な地元農林水産物及び加工品のPRと地元消費の拡大を促進し農林漁業者の所得の向上を図るため、とっとりイモコンフェスティバルを開催している。		
当初予算額	1,620	【今後の課題・方向性】 収穫された農林水産物や加工品及び農林漁業者の手作り料理のPRや販売など、生産者と消費者が一体となって楽しめる地産地消イベントを推進する。	
補正予算額	0		
予算流・充用額	0		
最終予算額	1,620	【参考】	
本年度決算額	1,620	評価結果	
区分	決算額	収穫された農林水産物や加工品及び農林漁業者の手作り料理のPRや販売など、生産者と消費者が一体となって楽しめる地産地消イベントを推進する。	
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	1,620		
計	1,620		
前年度決算額	882		

農003	項目名	ふるさと村推進事業費補助金		
主要な施策	むらづくり活性化推進事業費	ページ	33	所 属 名
年度	H24	農林水産部 農業振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】生産流通振興室 生産振興係 0857-20-3234			
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101			
項 農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P149(農003)			
目 農業総務費	【事業の概要】 トットリ・アフトピア協会へ補助し、鳥取の新鮮で安全安心な農林水産物を「ふるさと宅配便」として全国の申込者に提供する。 四季折々の特産品を提供することにより本市のPRとむらづくり運動の活性化につなげた。			
(単位:千円)	【事業の成果】			
当初予算額	1,200	■内容		
補正予算額	0	①対象者 ふるさと宅配便申込者と受取人		
予算流・充用額	0	②実施回数 年4回(8月、10月、12月、4月)		
最終予算額	1,200	③宅配便数 H22年度 1,066便		
本年度決算額	1,200	H23年度 1,141便		
		H24年度 1,123便		
区分	決算額	【今後の課題・方向性】		
財源内訳		本市の特産品等のPR、農産部加工グループ活動による女性農業者の連帯感の育成、こだわりの農産物・加工品の生産と地産地消、農業のやりがいなどを主眼として事業を実施し、中山間地域の農村の活性化を図るため、今後も事業の拡大を図って行く。		
国・県支出金	0	評価結果		
地方債	0	本市の特産品等のPR、農産部加工グループ活動による女性農業者の連帯感の育成、こだわりの農産物・加工品の生産と地産地消取り組みは、中山間地域の農村の活性化を図るため必要であり、今後も事業の拡大を図って行く。		
その他	0			
一般財源	1,200			
計	1,200			
(参考)				
前年度決算額	1,200			

農004	項目名	むらづくりシンポジウム開催事業費		
主要な施策	むらづくり活性化推進事業費	ページ	33	所 属 名
年度	H24	農林水産部 農業振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】生産流通振興室 生産振興係 0857-20-3234			
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101			
項 農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P149(農004)			
目 農業総務費	【事業の概要】 地域の資源を活かした活性化策を住民が見出し、むらづくりに取り組むために平成9年度から(隔年開催)で実施しアフトピア協会に委託して、むらづくり運動推進のきっかけをつくり、農林水産業の振興を図る。			
(単位:千円)	【事業の成果】			
当初予算額	665	・参加対象者 アフトピア協会会員、関係機関職員、東部各町、グリーンツーリズム等関係団体、消費者団体、その他一般市民等		
補正予算額	0	・基調講演、パネルディスカッション、加工品等の販売		
予算流・充用額	0	H20年度 参加者200人 665千円		
最終予算額	665	H22年度 参加者200人 656千円		
本年度決算額	665	H24年度 参加者450人 665千円		
区分	決算額	【今後の課題・方向性】		
財源内訳		むらづくり運動推進のきっかけをつくる機会として、今後も農山漁村の活性化を目指し継続して実施する。		
国・県支出金	205	評価結果		
地方債	0	むらづくり運動推進のきっかけをつくる機会として、今後も農山漁村の活性化を目指し継続して行う。		
その他	0			
一般財源	460			
計	665			
(参考)				
前年度決算額	0			

農005	項目名	農作業体験等交流促進事業費補助金		
主要な施策	むらづくり活性化推進事業費	ページ	33	所 属 名
年度	H24	農林水産部 農業振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】生産流通振興室 生産振興係 0857-20-3234			
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101			
項 農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P150(農005)			
目 農業総務費	【事業の概要】 地域の食・農を活用して市民が農業作業や加工品づくりの体験等を通じて農業・農村とふれあう交流に取り組む地区、集落、グループ等を支援して、市民の農業・農村・地元農産物に対する理解を深めるとともに、主体的なむらづくり活動を促進して農村地域の活性化を図った。			
(単位:千円)	【事業の成果】 ・さつま芋の植え付け、収穫祭の農業体験 ・野菜農作業体験、加工製造体験交流 平成23年度 3団体 300千円 平成24年度 3団体 300千円			
当初予算額	400	【今後の課題・方向性】 交流を通じたむらづくり活動を促進することで、地域の活性化に繋がっていると考えており、今後も農山村の活性化を図るため、継続して実施する。		
補正予算額	△ 100			
予算流・充用額	0			
最終予算額	300	その他財源の内訳		
本年度決算額	300	分担金	0	
区分	決算額	負担金	0	
財源内訳		使用料	0	
国・県支出金	31	手数料	0	
地方債	0	財産収入	0	
その他	0	寄付金	0	
一般財源	269	繰入金	0	
計	300	贈収入	0	
		その他	0	
(参考)		評価結果	交流を通じたむらづくり活動を促進することで、地域の活性化に繋がっていると考えており、今後も継続実施する。	
前年度決算額	300			

農006	項目名	農業近代化資金(一般)利子補給金		
主要な施策	農業金融対策事業費	ページ	33	所 属 名
年度	H24	農林水産部 農業振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】農政係 0857-20-3232			
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101			
項 農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P150(農006)			
目 農業総務費	【事業の概要】 経営規模拡大を目的とした施設整備等の資金が円滑に調達ができるよう、農業生産組合等に対する農業近代化資金利子補給事業を実施した。 ※負担割合：国・県助成後の利率に対して、市4/5・JA1/5を助成 (ただし、上限2.5%まで)			
(単位:千円)	【事業の成果】 農業近代化資金を借受けた農業生産組合等に対し、国・県の利子補給に加えて利子補給を実施した。 平成22年度 329千円 8件 平成23年度 106千円 4件 平成24年度 125千円 6件			
当初予算額	193	【今後の課題・方向性】 国の農業経営基盤強化資金利子助成金等交付事業に基づき、今後とも継続して適正に事業を実施する。		
補正予算額	△ 68			
予算流・充用額	0			
最終予算額	125	その他財源の内訳		
本年度決算額	125	分担金	0	
区分	決算額	負担金	0	
財源内訳		使用料	0	
国・県支出金	0	手数料	0	
地方債	0	財産収入	0	
その他	0	寄付金	0	
一般財源	125	繰入金	0	
計	125	贈収入	0	
		その他	0	
(参考)		評価結果	国の農業経営基盤強化資金利子助成金等交付事業に基づき、今後とも継続して適正に事業を実施する。	
前年度決算額	106			

農007	項目名	農業経営基盤強化資金(スーパーL)利子補給金	
主要な施策	農業金融対策事業費	ページ	33
年度	H24	所 属 名	
		農林水産部 農業振興課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 農政係 0857-20-3232		
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】 5101		
項 農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P151(農007)		
目 農業総務費	【事業の概要】 効率的な経営や経営規模拡大を目的とした施設整備等の資金が円滑に調達できるよう、認定農業者を対象とした農業経営基盤強化資金(スーパーL)利子補給事業を実施した。 ※負担割合: 県1/2・市1/2		
(単位:千円)	【事業の成果】 農業経営基盤強化資金を借り入れた認定農業者に対し、県・市で利子助成を実施した。 平成22年度決算額 3,418千円 49件 平成23年度決算額 2,801千円 45件 平成24年度決算額 2,349千円 42件		
当初予算額	2,840	【今後の課題・方向性】 国の農業経営基盤強化資金利子助成金等交付事業に基づき、今後とも継続して適正に事業を実施する。	
補正予算額	△414		
予算流・充用額	0		
最終予算額	2,426	【評価結果】 国の農業経営基盤強化資金利子助成金等交付事業に基づき、今後とも継続して適正に事業を実施する。	
本年度決算額	2,349	その他財源の内訳	
区分	決算額	分担金	0
財源内訳		負担金	0
国・県支出金	1,175	使用料	0
地方債	0	手数料	0
その他	0	財産収入	0
一般財源	1,174	寄付金	0
計	2,349	繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
(参考)			
前年度決算額	2,801		

農008	項目名	農業近代化資金(認定農業者支援資金)利子補給金	
主要な施策	農業金融対策事業費	ページ	33
年度	H24	所 属 名	
		農林水産部 農業振興課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】 農政係 0857-20-3232		
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】 5101		
項 農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P151(農008)		
目 農業総務費	【事業の概要】 農業振興を図るためには、認定農業者による経営規模の拡大は重要であり、農業経営改善計画の達成に必要な施設整備の資金が円滑に調達できるよう、認定農業者向けの農業近代化資金利子補給事業を実施し、安定した農業経営ができるよう支援する。		
(単位:千円)	【事業の成果】 平成22年度 4件 43,172円 平成23年度 2件 35,689円 平成24年度 1件 14,052円		
当初予算額	15	【今後の取り組み】 平成24年度をもって事業を終了する。	
補正予算額	0		
予算流・充用額	0		
最終予算額	15	【評価結果】 平成24年度で事業完了	
本年度決算額	14	その他財源の内訳	
区分	決算額	分担金	0
財源内訳		負担金	0
国・県支出金	0	使用料	0
地方債	0	手数料	0
その他	0	財産収入	0
一般財源	14	寄付金	0
計	14	繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
(参考)			
前年度決算額	36		

農009	項目名	農産物加工センター管理運営費		
主要な施策	農産物加工センター管理運営費	ページ	33	所 属 名
年度	H24	農林水産部 農業振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】農政係 0857-20-3232			
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101			
項 農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P152(農009)、9月補正予算・P25(農001) 12月補正予算・P20(農001)			
目 農業総務費	【事業の概要】 農産物の加工技術の習得・向上による地域農業の振興と共同利用による地域住民の連帯感の醸成を図るため設置された農産物加工施設等の管理運営を行った。			
(単位:千円)	【事業の成果】 農産物加工施設等の修繕等を行い、適正な運営と管理を行った。 主な施設 (鳥取) 鳥取市農産物加工センター (国府) 大茅地区農産物加工施設、成器地区農産物加工施設 (福部) アイデア館 (用瀬) 社農産物加工施設、大村農産物加工施設 (気高) 農産物加工施設 (鹿野) 河内生活改善センター (青谷) 青谷町特産物加工販売施設事業概要			
当初予算額 18,148	○(鳥取)鳥取市農産物加工センター延べ利用者数 平成22年度実績 延べ1,289人 平成23年度実績 延べ1,441人 平成24年度実績 延べ1,097人			
補正予算額 3,838	【今後の課題・方向性】 農産物の加工技術の習得・向上による地域農業の振興と共同利用による地域住民の連帯感の醸成を図るため、継続して事業を実施する。			
予算流・充用額 31				
最終予算額 22,017	【参考】			
本年度決算額 21,711	前年度決算額 19,615			
区分 決算額	評価結果			
財源内訳	農産物の加工技術の習得・向上による地域農業の振興と共同利用による地域住民の連帯感の醸成を図るため、継続して事業を実施する。			
国・県支出金 0	分担金 0			
地方債 0	負担金 0			
その他 2,764	使用料 2,302			
一般財源 18,947	手数料 0			
計 21,711	財産収入 0			
	寄付金 0			
	繰入金 0			
	雑収入 462			
	その他 0			

農010	項目名	農業青年経営者会議活動補助金		
主要な施策	次代の農業を担う若者育成対策事業費	ページ	33	所 属 名
年度	H24	農林水産部 農業振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】生産流通振興室 担い手支援係 0857-20-3239			
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101			
項 農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P152(農010)			
目 農業総務費	【事業の概要】 農業青年経営者組織の会議、研修及び先進地視察等の事業に要する経費の1/2を補助 次代の農業を担っていく農業青年経営者の組織を支援することで、農業青年経営者としての資質と地位向上を図った。			
(単位:千円)	【事業の成果】 福部町農業青年経営者会議 平成22年度決算額 98千円 平成23年度決算額 95千円 平成24年度決算額 95千円			
当初予算額 118	【今後の課題・方向性】 福部町農業青年経営者会議以外の補助事業対象の掘り起こしに努める。 農業青年経営者組織の活動支援による会議、研修、先進地視察は、会員相互の交流を深め、各会員の農業経営者としての資質の向上に有効であり、地域農業の維持発展に繋がるため、継続して事業を実施する。			
補正予算額 0				
予算流・充用額 0				
最終予算額 118	【参考】			
本年度決算額 95	前年度決算額 95			
区分 決算額	評価結果			
財源内訳	次代を担っていく農業青年経営者を引き続き支援し、資質の向上を図っていくことは地域農業の維持発展のために有効であり、必要な事業である。			
国・県支出金 0	分担金 0			
地方債 0	負担金 0			
その他 0	使用料 0			
一般財源 95	手数料 0			
計 95	財産収入 0			
	寄付金 0			
	繰入金 0			
	雑収入 0			
	その他 0			

農011	項目名	就農定住促進対策事業費	
主要な施策	次代の農業を担う若者育成対策事業費	ページ	33
年度	H24	所 属 名 農林水産部 農業振興課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】生産流通振興室 担い手支援係 0857-20-3239		
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101		
項 農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P153(農011)		
目 農業総務費	【事業の概要】 農業者等の高齢化、減少等の問題に対応するため、平成19年4月に農業技術習得施設「とっとりふるさと就農舎」を開設し、県内外から就農意欲の高い若者を呼び込み、新規就農者の育成確保を行った。		
(単位:千円)	【事業の成果】 指定管理委託、就農アドバイザー設置、新規就農相談会でのとっとりふるさと就農舎のPR(今年の研修生4名) 平成22年度決算額 7,791千円(4人就農) 平成23年度決算額 7,987千円(4人就農) 平成24年度決算額 7,808千円(3人就農)		
当初予算額	8,560	【今後の課題・方向性】 農業者の高齢化、減少等の問題解決に向けて、本市農業の担い手の後継者となる新規就農者を毎年3名ずつ就農(移住)定住を図るためにふるさと就農舎は有効な施設であるため、研修内容の検討や研修生の確保などに取り組み今後も継続して実施していく。	
補正予算額	△503		
予算流・充用額	△8		
最終予算額	8,049	【事業の成果】 指定管理委託、就農アドバイザー設置、新規就農相談会でのとっとりふるさと就農舎のPR(今年の研修生4名) 平成22年度決算額 7,791千円(4人就農) 平成23年度決算額 7,987千円(4人就農) 平成24年度決算額 7,808千円(3人就農)	
本年度決算額	7,808	【今後の課題・方向性】 農業者の高齢化、減少等の問題解決に向けて、本市農業の担い手の後継者となる新規就農者を毎年3名ずつ就農(移住)定住を図るためにふるさと就農舎は有効な施設であるため、研修内容の検討や研修生の確保などに取り組み今後も継続して実施していく。	
区分	決算額	【参考】	
財源内訳		前年度決算額 7,987	
国・県支出金	0	評価結果 新規就農者対策は、本市の農業後継者や移住定住者の確保に有効な施策であるため、ふるさと就農舎の研修内容を検討しながら今後も継続実施していく。	
地方債	0		
その他	0		
一般財源	7,808		
計	7,808		

農012	項目名	就農定住円滑化対策事業費	
主要な施策	次代の農業を担う若者育成対策事業費	ページ	33
年度	H24	所 属 名 農林水産部 農業振興課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】生産流通振興室 担い手支援係 0857-20-3239		
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101		
項 農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P153(農012)		
目 農業総務費	【事業の概要】 とっとりふるさと就農舎等での研修修了者の円滑な就農定住と早期経営安定のため住宅修繕、就農準備金、家賃を助成した。		
(単位:千円)	【事業の成果】 平成24年度実績 住宅修繕の一部助成 3名 1,500千円 就農準備金の支給 4名 800千円 住居家賃の一部助成 7名 1,292千円		
当初予算額	4,507	平成22年度決算額 2,613千円	
補正予算額	0	平成23年度決算額 2,859千円	
予算流・充用額	0	平成24年度決算額 3,592千円	
最終予算額	4,507	【今後の課題・方向性】 農業者の高齢化、減少等の問題解決に向けて、本市農業の担い手の後継者となる新規就農者を毎年3名ずつ就農(移住)定住を図るためにふるさと就農舎は有効な施設である。研修内容の検討や研修生の確保などに取り組み、県事業を活用しながら今後も継続して実施していく。	
本年度決算額	3,592		
区分	決算額	【参考】	
財源内訳		前年度決算額 2,859	
国・県支出金	862	評価結果 新規就農者対策は、本市の農業後継者や移住定住者の確保に有効な施策であるため、ふるさと就農舎の研修内容を検討しながら今後も継続実施していく。	
地方債	0		
その他	0		
一般財源	2,730		
計	3,592		

農013	項目名	就農相談員設置事業費	
主要な施策	次代の農業を担う若者育成対策事業費	ページ	33
年度	H24	所 属 名 農林水産部 農業振興課	
事業の概要	<p>【問合せ先】生産流通振興室 担い手支援係 0857-20-3239</p> <p>【9次総の施策体系】5101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P154(農013)</p> <p>【事業の目的及び効果】 就農相談員専門員を配置し、新たに農業を目指す若者等の確保、就農地及び住宅等の斡旋によりスムーズな就農定住への支援を行った。</p> <p>【事業の成果】 ①事業内容 ・就農相談専門員設置委託事業 委託料3,028千円(相談専門員1名)</p> <p>②実施形態 ・委託先(財)鳥取市ふるさと農業公社 ・委託期間平成24年4月1日～平成25年3月31日 平成22年度決算額2,764千円(1名) 平成23年度決算額2,958千円(1名) 平成24年度決算額3,028千円(1名)</p> <p>【今後の課題・方向性】 本市農業の担い手の後継者となる毎年3名ずつのふるさと就農舎への研修生の確保や卒業する新規就農者の就農(移住)定住、就農後のフォローアップは重要課題であり、農地や住宅の斡旋などに取り組む就農相談員の設置は、今後も継続して実施していく必要がある。</p>		
会計名	一般会計		
款	農林水産業費		
項	農業費		
目	農業総務費		
(単位:千円)			
当初予算額	3,028		
補正予算額	0		
予算流・充用額	0		
最終予算額	3,028		
本年度決算額	3,028		
区分	決算額		
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	3,028	
	計	3,028	
其他財源の内訳	分担金	0	
	負担金	0	
	使用料	0	
	手数料	0	
	財産収入	0	
	寄付金	0	
	繰入金	0	
	贈収金	0	
	その他	0	
(参考)	評価結果	新規就農者の就農定住を図る上において、就農相談員を設置して農地や住宅の斡旋、就農後のフォローアップは重要であるため、今後も継続実施していく。	
前年度決算額	2,958		

農014	項目名	就農応援交付金事業費	
主要な施策	次代の農業を担う若者育成対策事業費	ページ	33
年度	H24	所 属 名 農林水産部 農業振興課	
事業の概要	<p>【問合せ先】生産流通振興室 担い手支援係 0857-20-3239</p> <p>【9次総の施策体系】5101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P154(農014)</p> <p>【事業の概要】 新規就農者の定着を図るため、認定就農者に対し就農後最長3年間、運転資金・生活費等に活用できる補助金を助成した。 ※平成24年度から、45歳未満の認定就農者は国事業の青年就農給付金を活用</p> <p>【事業の成果】 ①就農前に農業体験事業の支援を受けた者 1人 616千円 交付単価:56千円/月 ②就農前に農業体験事業の支援を受けなかった者 2人 1,035千円 交付単価:1年目100千円/月 2年目65千円/月 3年目40千円/月 平成22年度決算額8,320千円 *平成22年度から実施 平成23年度決算額9,644千円 平成24年度決算額1,651千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 農業者の高齢化、減少等の問題解決に向けて、本市農業の担い手の後継者となる新規就農者の就農(移住)定住・定着を図るためには、運転資金・生活費等に対する支援策は有効であり県事業を活用しながら今後も継続して実施していく。</p>		
会計名	一般会計		
款	農林水産業費		
項	農業費		
目	農業総務費		
(単位:千円)			
当初予算額	1,035		
補正予算額	672		
予算流・充用額	0		
最終予算額	1,707		
本年度決算額	1,651		
区分	決算額		
財源内訳	国・県支出金	983	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	668	
	計	1,651	
其他財源の内訳	分担金	0	
	負担金	0	
	使用料	0	
	手数料	0	
	財産収入	0	
	寄付金	0	
	繰入金	0	
	贈収金	0	
	その他	0	
(参考)	評価結果	新規就農者対策は、本市の農業後継者や移住定住者の確保に有効な施策であるため今後も継続実施していく。	
前年度決算額	9,644		

農015	項目名	青年就農給付事業費		
主要な施策	次代の農業を担う若者育成対策事業費	ページ	33	所 属 名
年度	H24	農林水産部 農業振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】生産流通振興室 担い手支援係 0857-20-3239			
款	農林水産業費	【9次総の施策体系】5101		
項	農業費	【予算計上の経過】		
目	農業総務費	予算事業別概要目次		
(単位:千円)		当初予算・P155(農015)		
当初予算額	34,827	【事業の概要】		
補正予算額	△8,564	新規就農を目指す青年が、安定して研修及び就農初期の経営を行うことができるよう生活支援を行った。		
予算流・充用額	5	【事業の成果】		
最終予算額	26,268	①青年就農給付金		
本年度決算額	26,262	19人 26,250千円 交付額 1,500千円/年		
区分	決算額	②市町村活動費		
財源内訳		12千円		
国・県支出金	26,262	※平成24年度から実施		
地方債	0	【今後の課題・方向性】		
その他	0	農業者の高齢化、減少等の問題解決に向けて、本市農業の担い手の後継者となる新規就農者の就農(移住)定住・定着を図るためには、運転資金・生活費等に対する支援策は有効であり国事業を活用しながら今後も継続して実施していく。		
一般財源	0			
計	26,262			
(参考)		評価結果		
前年度決算額	0	新規就農者対策は、本市の農業後継者や移住定住者の確保に有効な施策であるため今後も継続実施していく。		

農016	項目名	農業情報収集のための国内交流事業費補助金		
主要な施策	農業振興基金事業費	ページ	33	所 属 名
年度	H24	農林水産部 農業振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】農政係 0857-20-3232			
款	農林水産業費	【9次総の施策体系】5101		
項	農業費	【予算計上の経過】		
目	農業総務費	予算事業別概要目次		
(単位:千円)		当初予算・P155(農016)		
当初予算額	600	【事業の概要】		
補正予算額	△371	本市の農産物のPR・知名度アップを図るため、国内の姉妹都市及び大都市で開催される直売・展示等で本市の農産物を広く消費者等に紹介する事業に対して助成を行った。		
予算流・充用額	0	※補助率 2/3以内(上限300千円)		
最終予算額	229	【事業の成果】		
本年度決算額	215	おかやま農林フェスタ&トラック産直市、姫路市農林業まつり、全国有名朝市フェア等への出展に係る旅費等の支援を行った。		
区分	決算額	各団体(らっきょう、梨、鹿野地鶏等販売)		
財源内訳		平成22年度決算額 350千円		
国・県支出金	0	平成23年度決算額 392千円		
地方債	0	平成24年度決算額 215千円		
その他	215	【今後の課題・方向性】		
一般財源	0	鳥取自動車道の開通等を背景に、関西圏を中心に販路拡大を検討する団体も多く、本市の農産物のPR・知名度アップを図る有効な事業として継続実施する。		
計	215			
(参考)		評価結果		
前年度決算額	392	本市の農産物のPR・知名度アップを図る有効な事業として今後も継続して実施していく。		

農017	項目名	地場野菜生産振興対策事業費補助金		
主要な施策	農業振興基金事業費	ページ	33	所 属 名
年度	H24	農林水産部 農業振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】農政係 0857-20-3232			
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】 5101			
項 農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P156(農017)			
目 農業総務費	【事業の概要】 女性や高齢者の生きがい対策と直売市等に出荷する野菜等の生産振興のため、共同利用による野菜等の生産に必要な簡易ビニールハウス及びビニール被覆トンネルの設置、ハウス作業用の管理機の導入経費に対して助成を行った。 ※補助率 1/2以内			
(単位:千円)	【事業の成果】 実績<H23>1団体 (ビニール被覆トンネル 10セットの導入・補修を支援) 実績<H24>1団体 (ビニール被覆トンネル 2セット導入・6セット補修を支援) 平成22年度決算額 371千円 平成23年度決算額 223千円 平成24年度決算額 155千円			
当初予算額	300	【今後の課題・方向性】 直売市等に出荷する野菜等の生産振興のためには、共同利用によるビニール被覆トンネル等の設置は有効であるので、これまでと同水準の事業を継続実施する。		
補正予算額	0			
予算流・充用額	0			
最終予算額	300	【参考】		
本年度決算額	155	前年度決算額 223		
区分	決算額	評価結果	直売市等に出荷する野菜等の生産振興のためには、共同利用によるビニール被覆トンネル等の設置は有効な事業であり、今後も継続して実施していく。	
財源内訳		結果		
国・県支出金	0			
地方債	0			
その他	155			
一般財源	0			
計	155			

農018	項目名	農山漁村生活体験事業費		
主要な施策	農山漁村生活体験事業費	ページ	34	所 属 名
年度	H24	農林水産部 農業振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】生産流通振興室担い手支援係 0857-20-3239			
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101			
項 農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P156(農018)			
目 農業総務費	【事業の概要】 農業に関心を持つ県内外に在住する若者等が、農業を体験しながら農村地域で滞在することにより将来の就農定住と地域の活性化を図ることを目的として、とっとりふるさと就農舎と一般農家での就農研修を行っている者に対して、滞在経費・家賃・受入先の助成を行った。			
(単位:千円)	【事業の成果】 平成24年度実績 (研修生8人) 研修生滞在経費助成 (10万円/月) 1人 研修生同伴者滞在経費助成 (3万円/人/月) 7人 (4世帯) 研修生家賃助成 (上限5万円/月) 4人 研修生受入助成 (5万円/月) 8人 平成22年度決算額 12,732千円 (研修生9人) 平成23年度決算額 11,610千円 (研修生8人) 平成24年度決算額 8,505千円			
当初予算額	10,296	【今後の課題・方向性】 農業者の高齢化、減少等の問題解決に向けて、本市農業の担い手の後継者となる新規就農者の就農(移住)定住を図るためには滞在費助成や受入先助成は有効な施策であり、今後も継続して実施していく。		
補正予算額	△1,790			
予算流・充用額	0			
最終予算額	8,506	【参考】		
本年度決算額	8,505	前年度決算額 11,610		
区分	決算額	評価結果	新規就農者対策は、本市の農業後継者確保及び移住定住に有効な施策であり今後も継続していく。	
財源内訳		結果		
国・県支出金	0			
地方債	0			
その他	0			
一般財源	8,505			
計	8,505			

農019	項目名	農業公社運営事業補助金	
主要な施策	農業公社運営事業補助金	ページ	34
年度	H24	所 属 名	農林水産部 農業振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】生産流通振興室 担い手支援係 0857-20-3238		
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101		
項 農業費	【予算計上の経過】		
目 農業総務費	予算事業別概要目次		
(単位:千円)	当初予算・P157(農019)		
当初予算額	21,632	【事業の概要】	
補正予算額	△282	農地利用集積円滑化事業(鳥取、福部、鹿野、青谷地区)と農作業受託事業を行い地域農業の振興に寄与している(財)鳥取市ふるさと農業公社(現(一財)鳥取市農業公社、平成20年に国府、鹿野、青谷の農業公社が合併)に対して支援を行った。	
予算流・充用額	0	【事業の成果】	
最終予算額	21,350	(事業の内容)	
本年度決算額	20,000	①運営費補助 12,636千円	
区分	決算額	②都市交流補助 162千円	
財源内訳	国・県支出金 50	③受託作業機械補助 7,202千円	
	地方債 0	(実績)	
	その他 7,202	農地利用集積円滑化事業 817筆 150.4ha	
	一般財源 12,748	農作業受託(延べ) 744件 76.8ha	
計	20,000	平成22年度決算額 26,771千円	
		平成23年度決算額 20,644千円	
		平成24年度決算額 20,000千円	
		【今後の課題・方向性】	
		本市の農業者の高齢化、減少や耕作放棄地の増加等の問題解決に対し、農業公社の農地利用調整活動などは重要であり、地域農業の振興と農村地域の維持発展に向け今後も支援していく。	
(参考)		評価結果	
前年度決算額	20,644	農業公社の活動は、地域農業の振興と農村地域の維持発展に繋がる重要な活動であり、今後も活動を引き続き支援していく。	

農020	項目名	共同利用施設整備等事業費	
主要な施策	共同利用施設整備等事業費	ページ	34
年度	H24	所 属 名	農林水産部 農業振興課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】農政係 0857-20-3232		
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101		
項 農業費	【予算計上の経過】		
目 農業総務費	予算事業別概要目次		
(単位:千円)	当初予算・P157(農020)、9月補正予算・P25(農020)、12月補正予算・P20(農020)		
当初予算額	9,060	【事業の概要】	
補正予算額	2,397	同和対策(地域改善対策)事業で設置した農機具保管庫等113施設を「鳥取市有施設の民間等への譲渡に関する取扱方針」に基づいて、平成23年度から処分制限期間の経過した施設を順次、地元へ譲渡等するまでの修繕等を行った。	
予算流・充用額	△12	【事業の成果】	
最終予算額	11,445	(修繕等の概要)	
本年度決算額	10,446	平成22年度 修繕32件、工事5件 12,944千円	
区分	決算額	平成23年度 修繕15件、工事1件 8,441千円	
財源内訳	国・県支出金 0	平成24年度 修繕35件、工事1件 10,446千円	
	地方債 0	【今後の課題・方向性】	
	その他 654	「鳥取市有施設の民間等への譲渡に関する取扱方針」に基づいて、施設の譲渡等を前提に修繕を行い、円滑な地元移管を推進する。	
	一般財源 9,792		
計	10,446		
(参考)		評価結果	
前年度決算額	8,441	「鳥取市有施設の民間等への譲渡に関する取扱方針」に基づいて、地元移管完了まで継続して実施する。	

農021	項目名	食のみやこフェスタ開催支援事業費		
主要な施策	事務費	ページ	33	所 属 名
年度	H24	農林水産部 農業振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 農政係 0857-20-3232			
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】 5101			
項 農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P158(農021)			
目 農業総務費	【事業の概要】 本市の特産品PRのため販売を目的に食のみやこ鳥取県フェスタに出展する者に対し、出展料を支援した。			
(単位:千円)	【事業の成果】 平成22年度 出展団体数 11団体 平成23年度 出展団体数 28団体(全国豊かな海づくり大会と同日開催) 平成24年度 出展団体数 13団体			
当初予算額 216	【今後の課題・方向性】 来場者が多い食のみやこ鳥取県フェスタで本市の特産品をPRすることにより、地域特産物の販売拡大と農林水産業の振興につながるため、継続して事業を実施する。			
補正予算額 △80				
予算流・充用額 0				
最終予算額 136	【評価結果】 来場者が多い食のみやこ鳥取県フェスタで本市の特産品をPRすることは、地域特産物の販売拡大と農林水産業の振興につながるため、今後も継続して実施していく。			
本年度決算額 110	その他の財源の内訳			
区分	決算額	分担金	0	
財源内訳		負担金	0	
国・県支出金	0	使用料	0	
地方債	0	手数料	0	
その他	0	財産収入	0	
一般財源	110	寄付金	0	
計	110	繰入金	0	
		贈収入	0	
		その他	0	
(参考)				
前年度決算額 285				

農022	項目名	農業者戸別所得補償制度推進事業費		
主要な施策	水田営農活性化促進事業費	ページ	34	所 属 名
年度	H24	農林水産部 農業振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 生産流通振興室 生産振興係 0857-20-3234			
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】 5101			
項 農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P158(農022)			
目 農業振興費	【事業の概要】 農業者戸別所得補償制度の実施に必要な推進活動のうち、地域農業再生協議会が行う推進活動や要件確認等に必要となる経費を助成する。			
(単位:千円)	【事業の成果】 「農業者戸別所得補償制度」の円滑化が図られた。 事業実施主体：鳥取市農業再生協議会 事業内容： ・本制度の普及推進活動（説明会の開催等） ・対象作物の作付面積等の現地確認等事務 ・農業者情報のシステム入力・集計事務			
当初予算額 15,000	平成23年度決算額 12,378千円 平成24年度決算額 11,568千円			
補正予算額 0				
予算流・充用額 0				
最終予算額 15,000	【今後の課題・方向性】 鳥取市農業再生協議会に引き続き補助を行うことで、対象作物ごとの農業者別の生産数量目標の設定、申請書類の配布・回収、対象作物の作付け面積等の確認、農業者情報システム入力、制度の普及・推進等を図る。			
本年度決算額 11,568	その他の財源の内訳			
区分	決算額	分担金	0	
財源内訳		負担金	0	
国・県支出金	11,568	使用料	0	
地方債	0	手数料	0	
その他	0	財産収入	0	
一般財源	0	寄付金	0	
計	11,568	繰入金	0	
		贈収入	0	
		その他	0	
(参考)				
前年度決算額 12,378	【評価結果】 農業経営と国内生産力の確保を図るため、今後も必要な施策として継続して実施していく。			

農023	項目名	市民農園設置事業費		
主要な施策	市民農園設置事業費	ページ	34	所 属 名
年度	H24	農林水産部 農業振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】生産流通振興室 生産振興係 0857-20-3234			
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101			
項 農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P159(農023)			
目 農業振興費	【事業の概要】 1 市民農園の開設 里仁地区：S53年度、滝山・叶地区：S63年度、祢宜谷地区：H4年度、 布勢地区：H7年度、湖山地区：H18年度、吉岡地区：H20年度 2 開設した市民農園の運営・管理			
(単位:千円)	【事業の成果】 遊休農地の有効活用を図るとともに、農業を通じてレクリエーションの機会を市民に 提供するため、鳥取地域7地区(里仁・布勢・滝山・叶・祢宜谷・湖山・吉岡)の農園 を希望者に貸し出した。 ・ 開設区画数：全494区画(66㎡：158区画、33㎡：336区画) ・ 区画利用率：93.1%(460区画/494区画)			
当初予算額	1,619	平成22年度決算額 1,475千円 平成23年度決算額 2,162千円 平成24年度決算額 1,522千円		
補正予算額	0	【今後の課題・方向性】 新規利用者数を増やし利用率を上げることで、遊休農地を有効活用する必要がある。広 報等を利用しながら空区画の情報を広く市民に周知することで、利用率向上を図る。		
予算流・充用額	0	【参考】		
最終予算額	1,619	その他財源の内訳	評価結果	
本年度決算額	1,522	分担金	遊休農地の有効活用を図るとともに、農業を通じてレクリエーションの機会を市民に提供するため、今後も継続して実施する。 なお、事務事業の外部委託の検討を行う。	
区分	決算額	負担金		
財源内訳		使用料		
国・県支出金	0	手数料		
地方債	0	財産収入		
その他	1,323	寄付金		
一般財源	199	繰入金		
計	1,522	贈収入	1,323	
		その他	0	
前年度決算額	2,162			

農024	項目名	地域米消費拡大対策事業費		
主要な施策	米消費拡大事業費	ページ	34	所 属 名
年度	H24	農林水産部 農業振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】生産流通振興室 生産振興係 0857-20-3234			
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101			
項 農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P159(農024)			
目 農業振興費	【事業の概要】 学校教育分野で、米の消費拡大及び食育の推進を図るため、小学校を対象に「米づくり 体験学童農園」及び「米料理教室」を実施。			
(単位:千円)	【事業の成果】 田植えから収穫、消費の一環した流れを児童が体験することにより、学校教育分野にお ける食育、農業分野における米消費拡大及び食育の推進につながった。			
当初予算額	1,399	1 米づくり体験学童農園実施校数 委託先：各小学校PTA等 H22年度 23校 H23年度 23校 H24年度 23校		
補正予算額	0	2 米料理教室(米づくり体験学童農園実施校対象)実施回数 委託先：鳥取市食生活改善推進員連絡協議会 H22年度 24回 H23年度 28回 H24年度 26回 平成22年度決算額 1,246千円 平成23年度決算額 1,360千円 平成24年度決算額 1,218千円		
予算流・充用額	0	【今後の課題・方向性】 小学生を通じて各家庭にも米の消費を促したり、食育の推進を図るため、より多くの小 学校で取り組んでもらう必要がある。 近くに農地がなく取り組めない等の小学校に対して、関係部署等と連携を取りながら取 り組める方法を考え、アドバイスをしていく。		
最終予算額	1,399	その他財源の内訳	【参考】	
本年度決算額	1,218	分担金	評価結果	
区分	決算額	負担金	学校教育分野で米の消費拡大及び食育の推進を図るため有効な事業であり、一校でも多くの学校で取り組まれるよう推進してい く。	
財源内訳		使用料		
国・県支出金	376	手数料		
地方債	0	財産収入		
その他	0	寄付金		
一般財源	842	繰入金		
計	1,218	贈収入	0	
		その他	0	
前年度決算額	1,360			

農025	項目名	果樹等安定生産支援事業費補助金	
主要な施策	果樹等安定生産支援事業費	ページ	34
年度	H24	所 属 名	
		農林水産部 農業振興課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】生産流通振興室 生産振興係 0857-20-3234		
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101		
項 農業費	【予算計上の経過】		
目 農業振興費	予算事業別概要目次		
(単位:千円)	当初予算・P160(農025)		
当初予算額	3,374	【事業の概要】	
補正予算額	△940	気象条件により、収量が大幅に左右されやすい果樹(梨、柿、ぶどう)及び大豆に対して、所得減少を最小限に抑えることで次年度への生産意欲を向上させ、離農を食い止めるとともに、産地を維持するため、共済掛金の一部を助成することにより、共済加入促進を行う。	
予算流・充用額	0	1 果樹共済に加入するための掛金のうち1,625/10を補助。	
最終予算額	2,434	2 大豆共済に加入するための掛金のうち1,625/10を補助。	
本年度決算額	2,433	【事業の成果】	
区分	決算額	1 果樹共済	
国・県支出金	0	加入者数…279人 引受面積…106.5a	
地方債	0	平成22年度決算額 2,640千円	
その他	0	平成23年度決算額 2,356千円	
一般財源	2,433	平成24年度決算額 2,002千円	
計	2,433	2 大豆共済	
国・県支出金	0	加入者数…139人 引受面積…80.8a	
地方債	0	平成22年度決算額 456千円	
その他	0	平成23年度決算額 573千円	
一般財源	2,433	平成24年度決算額 431千円	
計	2,433	【今後の課題・方向性】	
国・県支出金	0	果樹、大豆の安定生産につながるよう、今後も引き続き実施するとともに、さらなる共済への加入促進を図る。	
地方債	0		
その他	0		
一般財源	2,433		
計	2,433		
前年度決算額	2,929	評価結果	
		所得減少を最小限に抑えることで次年度への生産意欲を向上させ、離農を食い止めるとともに、産地を維持する取り組みとして、今後も継続して実施する。	

農026	項目名	林産物振興対策事業費	
主要な施策	林産物生産体制強化事業費	ページ	34
年度	H24	所 属 名	
		農林水産部 農業振興課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】生産流通振興室 生産振興係 0857-20-3234		
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101		
項 農業費	【予算計上の経過】		
目 農業振興費	予算事業別概要目次		
(単位:千円)	当初予算・P160(農026)、9月補正予算・P26(農003)		
当初予算額	4,377	【事業の概要】	
補正予算額	1,222	本市の特産品であるシイタケの生産、出荷及び販売を促進することで、消費拡大及び生産者の意欲向上を図り、シイタケの生産振興を図るとともに、新規参入者への初期投資に対する支援を行い、シイタケ産地としての持続的な発展を目指す。	
予算流・充用額	0	1 シイタケの種菌の購入に係る経費を助成	
最終予算額	5,599	2 シイタケのイベント開催やパンフレット作成等による販売促進に係る経費を助成	
本年度決算額	3,961	3 新規参入者が業者からほだ木を購入する際、購入に係る経費を助成	
区分	決算額	4 新規参入者が林内作業車を購入する際、購入に係る経費を助成	
国・県支出金	0	【事業の成果】	
地方債	0	(1) 椎茸の種菌購入支援 1,660袋	
その他	0	(2) 販売促進経費支援	
一般財源	3,961	イベント開催やパンフレット作成等による販売促進にかかる経費を助成	
計	3,961	・とっとりきのご祭り、「きのこ王国とっとりけん」フェスティバル	
国・県支出金	0	(3) 運搬車購入支援	
地方債	0	新規参入者が林内作業車を購入する場合、購入に係る経費を助成 4台	
その他	0	新規参入者がほだ木を購入する場合、購入に係る経費を助成 500本	
一般財源	3,961	平成22年度決算額 2,826千円	
計	3,961	平成23年度決算額 1,810千円	
国・県支出金	0	平成24年度決算額 3,961千円	
地方債	0	【今後の課題・方向性】	
その他	0	本市のシイタケのさらなる生産振興と消費拡大を目指すため、事業内容の見直しや拡大を行い、生産者のニーズに沿った支援を行う必要がある。	
前年度決算額	1,810	評価結果	
		本市のシイタケのさらなる生産振興と消費拡大を目指し、事業内容の見直しや拡大を行い、生産者のニーズに沿った支援を行っていく。	

農027	項目名	果樹振興対策事業費	
主要な施策	園芸産地づくり事業費	ページ	34
年度	H24	所 属 名	
		農林水産部 農業振興課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】生産流通振興室 生産振興係 0857-20-3234		
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】 5101		
項 農業費	【予算計上の経過】		
目 農業振興費	予算事業別概要目次		
(単位:千円)	当初予算・P161(農027)、9月補正予算・P26(農004)		
当初予算額	12,887	【事業の概要】	
補正予算額	△7,935	果樹生産の総合的な振興を図り、消費拡大、生産者の意欲向上を目的とし、果樹の生産から出荷、販売に際して支援を行った。	
予算流・充用額	0	【事業の成果】	
最終予算額	4,952	果樹振興梨、ぶどう苗木支援等 15アール	
本年度決算額	4,778	販売促進経費支援 2件	
区分	決算額	西条柿苗木支援 6.7アール	
国・県支出金	3,569	梨新品種苗木支援等 139.2アール	
地方債	0	果樹棚 2件	
その他	0	かん水施設 2件	
一般財源	1,209	育成促進奨励 91.1アール	
計	4,778	平成22年度決算額 7,615千円	
		平成23年度決算額 4,262千円	
		平成24年度決算額 4,778千円	
参考)		【今後の課題・方向性】	
前年度決算額	4,262	本市では果樹栽培が盛んに行われてきたが生産者の高齢化・後継者不足、販売価格の低迷等により、生産者数・栽培面積・生産量ともに減少を続けている。今後も梨の新品種導入によるブランド化やその他の果樹生産に対して支援を行っていく。	
		評価結果 今後も、産地としての維持を図り、更なる担い手の育成と果樹の生産振興を図るため、継続して助成を行っていく。また、国や県の支援事業の動向を見据えながら、より効果的な事業となるよう検討していく。	

農028	項目名	梨赤星病撲滅対策支援事業費補助金	
主要な施策	園芸産地づくり事業費	ページ	34
年度	H24	所 属 名	
		農林水産部 農業振興課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】生産流通振興室 生産振興係 0857-20-3234		
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】 5101		
項 農業費	【予算計上の経過】		
目 農業振興費	予算事業別概要目次		
(単位:千円)	当初予算・P161(農028)		
当初予算額	1,000	【事業の概要】	
補正予算額	△532	福部の梨園においてバクシン類への薬剤散布及び病原菌の発生の可能性がある梨園で追加防除した場合の薬剤経費を一部助成する。	
予算流・充用額	0	補助率 県1/3 市1/3	
最終予算額	468	【事業の成果】	
本年度決算額	467	福部の梨園において防除を行い、病原菌の発生を抑制することができた。	
区分	決算額	バクシン類への防除 4,150本	
国・県支出金	233	梨への追加防除 1.26ヘクタール	
地方債	0	平成22年度決算額 531千円	
その他	0	平成23年度決算額 577千円	
一般財源	234	平成24年度決算額 467千円	
計	467	【今後の課題・方向性】	
		平成22年度から平成24年度の3か年の事業であり、平成24年度で終了したが、引き続き、病原菌の発生を抑制するための対策を検討する必要がある。	
参考)		評価結果 平成22年度から平成24年度の3か年の事業であり、平成24年度で終了したが、引き続き、病原菌の発生を抑制するための対策を検討していく必要がある。	
前年度決算額	577		

農029	項目名	米粉活用普及推進事業費		
主要な施策	地産地消推進事業費	ページ	34	所 属 名
年度	H24	農林水産部 農業振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】生産流通振興室 生産振興係 0857-20-3234			
款	農林水産業費	【9次総の施策体系】5101		
項	農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P162(農029)		
目	農業振興費	【事業の概要】 米の消費・生産拡大を目的に米粉パンを定期的に学校給食に供給し、米粉の普及を図った。		
(単位:千円)		【事業の成果】 米粉パンの回数増に伴う米粉パンと小麦粉パンの経費の差額を助成した。 ・米粉パン配給対象者 市内小・中学校の児童生徒 17,247人 ・食数 328,798食		
当初予算額	4,851	平成22年度決算額 3,369千円 平成23年度決算額 3,315千円 平成24年度決算額 4,435千円		
補正予算額	0	【事業の課題・方向性】 引き続き助成をすることで米の消費・生産拡大を狙い、耕作放棄地の解消と水田の有効利用を推進していく。		
予算流・充用額	0			
最終予算額	4,851	その他財源の内訳		
本年度決算額	4,435	分担金	0	
		負担金	0	
		使用料	0	
		手数料	0	
区分	決算額	財産収入	0	
財源内訳		寄付金	0	
国・県支出金	0	繰入金	0	
地方債	0	贈収入	0	
その他	0	その他	0	
一般財源	4,435			
計	4,435			
(参考)		評価結果	米の消費・生産拡大を狙い、耕作放棄地の解消と水田の有効利用を推進する取り組みとして、平成26年度まで継続して実施する。	
前年度決算額	3,315			

農030	項目名	特別栽培農産物生産振興事業費		
主要な施策	特別栽培農産物生産振興事業費	ページ	34	所 属 名
年度	H24	農林水産部 農業振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】生産流通振興室 生産振興係 0857-20-3234			
款	農林水産業費	【9次総の施策体系】5101		
項	農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P162(農030)		
目	農業振興費	【事業の概要】 1 消費者ニーズの高い安全安心な減化学肥料米の生産出荷を促進するため、鳥取いなば農業協同組合又は農業者等(農業者、営農集団、生産者団体)が特別栽培米を出荷する場合、1袋(30kg)につき250円以内で補助を行う。 2 環境にやさしい農業への取り組みを推進するため、有機農産物又は県特別栽培農産物の認証を受けた農業者等が対象作物(水稲を除く)を生産した場合、作付面積10aにつき有機農産物10,000円、県特別栽培農産物5,000円の補助を行う。		
(単位:千円)		【事業の成果】 1 特別栽培米の出荷13,166袋に対して支援を行い、特別栽培米の生産振興を図った。 2 特別栽培農産物2,020aに対して支援を行い、特別栽培農産物の生産振興を図った。		
当初予算額	5,000	【特別栽培米出荷助成】 平成22年度決算額 13,099袋、3,275千円 平成23年度決算額 12,921袋、3,230千円 平成24年度決算額 13,166袋、3,292千円		
補正予算額	0	【特別栽培農産物生産奨励】 平成22年度決算額 1,104a、658千円 平成23年度決算額 1,828a、1,165千円 平成24年度決算額 2,020a、1,322千円		
予算流・充用額	0	【今後の課題・方向性】 消費者ニーズの高い安全・安心な減化学肥料米の生産・出荷を促進し、鳥取産米のブランド化を図るための特別栽培米の出荷、また、環境にやさしい農業への取り組みを推進するための特別栽培農産物(水稲を除く)の生産に対して支援を行う必要がある。		
最終予算額	5,000	その他財源の内訳		
本年度決算額	4,614	分担金	0	
		負担金	0	
		使用料	0	
		手数料	0	
区分	決算額	財産収入	0	
財源内訳		寄付金	0	
国・県支出金	0	繰入金	0	
地方債	0	贈収入	0	
その他	0	その他	0	
一般財源	4,614			
計	4,614			
(参考)		評価結果	減農薬、減化学肥料等で生産された安全安心な農産物のニーズは高く、取り組み拡大に向け検討していくことが必要と考える。	
前年度決算額	4,395			

農031	項目名	地域特産品振興対策事業費	
主要な施策	地域生産振興対策事業費	ページ	34
年度	H24	所 属 名	
		農林水産部 農業振興課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】生産流通振興室 生産振興係 0857-20-3234 【9次総の施策体系】5101		
款 農林水産業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P163(農031)		
項 農業費	【事業の概要】 市内各地で生産されており、作付拡大を目指す品目(白ねぎ・ブロッコリー・アスパラガス・生姜)の市場等への出荷量を確保し、本市農産物の特産品化を図るため、栽培農家に対し出荷奨励を行った。		
目 農業振興費	[振興作物] 白ネギ 15円/kg、ブロッコリー 65円/kg、アスパラガス 110円/kg 生姜 5円/kg、JA保管施設を利用した生姜 25円/kg		
(単位:千円)	【事業の成果】 振興作物の出荷助成 ・白ねぎ 280.3t、134件 ・ブロッコリー 27.6t、61件 ・アスパラガス 15.6t、31件 ・生姜 11.1t、21件 うち、生姜(保管施設利用)5.1t、10件 平成22年度決算額 8,566千円 平成23年度決算額 6,200千円 平成24年度決算額 7,877千円		
当初予算額	8,672	【今後の課題・方向性】 生産拡大を目指す品目に対し重点的に支援することで、生産拡大が見込まれるため今後も継続して実施するとともに、地域特産品のさらなる推進と生産振興を図る。	
補正予算額	0		
予算流・充用額	0		
最終予算額	8,672	【参考】	
本年度決算額	7,877	前年度決算額 6,200	
区分	決算額	評価結果	
財源内訳		地域特産品のさらなる推進と生産拡大を図っていくため、今後も継続して実施する。	
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	7,877		
計	7,877		

農032	項目名	有機農業支援事業費	
主要な施策	地域生産振興対策事業費	ページ	34
年度	H24	所 属 名	
		農林水産部 農業振興課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】生産流通振興室 生産振興係 0857-20-3234 【9次総の施策体系】5101		
款 農林水産業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P163(農032)		
項 農業費	【事業の概要】 堆肥等を利用した土づくりを促進することで環境にやさしい生産体制の構築を目的として有機堆肥利用の農家に助成を行った。		
目 農業振興費	(1) 鳥取いなば農業協同組合又は担い手農業者が、水稲及び果樹10a以上、野菜5a以上のほ場での散布を目的として有機堆肥を購入した場合、当該購入費のうち、1トンあたり2,000円以内で補助を行った。		
(単位:千円)	(2) 担い手農業者が有機肥料(油粕・鶏糞・木粉炭に限る。)を購入した場合、当該購入費の1/5以内で補助を行った。		
当初予算額	4,300	【事業の成果】 1 有機堆肥(牛糞)の購入に対し支援を行い、環境に優しい農業、循環型農業の促進を図った。36件、1,479t 2 有機肥料(鶏糞、油粕、木粉炭)の購入435tに対し支援を行い、環境に優しい農業、循環型農業の促進を図った。34件、435t 平成22年度決算額 3,788千円 平成23年度決算額 4,299千円 平成24年度決算額 3,994千円	
補正予算額	0	【今後の課題・方向性】 環境に優しい農業、有機資源のリサイクルに着目した循環型農業が着目されてきており、今後も牛糞、鶏糞、油粕、木粉炭等に由来する有機肥料の利用を促進を図る。また、近年有機肥料の種類も増えていることから、肥料の検討も必要である。	
予算流・充用額	0		
最終予算額	4,300	【参考】	
本年度決算額	3,994	環境に優しい農業、有機資源のリサイクルに着目した循環型農業が注目されており、今後も有機肥料の利用を促進を図っていくとともに、近年有機肥料の種類も増えていることから、肥料の検討も必要である。	
区分	決算額	評価結果	
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	3,994		
計	3,994		
前年度決算額	4,299		

農033	項目名	少量多品目チャレンジ支援事業費		
主要な施策	地域生産振興対策事業費	ページ	34	所 属 名
年度	H24	農林水産部 農業振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】生産流通振興室 生産振興係 0857-20-3234			
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101			
項 農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P164(農033)			
目 農業振興費	【事業の概要】 賀露地区にある食のみやこ鳥取県販売拠点施設をはじめ、直売施設等での農産物販売等新しい販路の拡大を促進するため、これらを実践する農業者等の取り組みに係る経費について支援した。			
(単位:千円)	【事業の成果】			
当初予算額	8,500	1 市内直売施設等への農産物出荷量の向上を図るため、小規模農家等に対し、パイプハウスの導入経費、付帯設備経費の一部を助成。 パイプハウス 4棟(4件) ハウス付帯設備 2台(2件)		
補正予算額	△4,595	2 農家所得の向上を図るため、販路開拓に必要な経費の一部を助成。 販促資材作成 1件		
予算流・充用額	0	3 安心・安全な農産物を消費者に提供し、生産者の所得向上につながるよう、愛菜館に対し、残留農薬検査施設の建設に係る経費の一部を助成。 残留農薬検査施設 1件 平成22年度決算額 9,764千円 平成23年度決算額 5,762千円 平成24年度決算額 3,668千円		
最終予算額	3,905	その他財源の内訳		
本年度決算額	3,668	分担金	0	
区分	決算額	負担金	0	
財源内訳		使用料	0	
国・県支出金	1,465	手数料	0	
地方債	0	財産収入	0	
その他	0	寄付金	0	
一般財源	2,203	繰入金	0	
計	3,668	贈収入	0	
		その他	0	
(参考)		評価結果	今後も直売施設等への農産物出荷量の増加を図る必要があると考えるため継続して実施する。	
前年度決算額	5,762			

農034	項目名	湖山池流入有機質肥料等削減事業費		
主要な施策	地域生産振興対策事業費	ページ	34	所 属 名
年度	H24	農林水産部 農業振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】生産流通振興室 生産振興係 0857-20-3234			
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101			
項 農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P164(農034)、9月補正予算・P27(農005)			
目 農業振興費	【事業の概要】 湖山池の富栄養化を抑えるため、湖山湖周辺の水田から流入する有機質肥料等を削減する環境にやさしい農業の取り組みを推進した。			
(単位:千円)	1 元肥一発施用肥料購入支援事業 2 土壌診断活用促進助成事業 3 環境に優しい農業啓発パンフレット(チラシ)の作成			
当初予算額	674	【事業の成果】		
補正予算額	△251	1 元肥一発施用肥料購入については、947袋(約60ha)の購入について支援を行った。 2 72件のほ場について土壌診断に係る経費を支援し、ほ場の成分分析を行った。 3 啓発パンフレット(チラシ)を5回行い、湖山池周辺の農業者に配布することで啓発を行った。		
予算流・充用額	0	平成22年度決算額 — 千円 平成23年度決算額 — 千円 平成24年度決算額 384千円		
最終予算額	423	その他財源の内訳		
本年度決算額	384	分担金	0	
区分	決算額	負担金	0	
財源内訳		使用料	0	
国・県支出金	0	手数料	0	
地方債	0	財産収入	0	
その他	0	寄付金	0	
一般財源	384	繰入金	0	
計	384	贈収入	0	
		その他	0	
(参考)		評価結果	湖山池の富栄養化、環境負荷低減に繋がる取り組みの一つとして効果があると考えており、今後の施策を拡充していきながら、本取り組みを推進していきたい。	
前年度決算額	0			

農035	項目名	葉たばこ耕作農家品目転換支援事業費補助金		
主要な施策	地域生産振興対策事業費	ページ	34	所 属 名
年度	H24	農林水産部 農業振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 生産流通振興室 生産振興係 0857-20-3234			
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】 5101			
項 農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 6月補正予算・P12(農001)			
目 農業振興費	【事業の概要】 葉たばこ廃作農家が品目転換して営農を持続するために必要な農業機械等の導入経費を支援した。 補助率：1/2(県：1/3、市：1/6)			
(単位:千円)	【事業の成果】 廃作農地に代替品目を作付するための甘藷自動洗機の導入に対し支援を行った。 甘藷自動洗機 1台 157千円			
当初予算額	0	【今後の課題・方向性】 葉たばこ廃作農家を対象に営農を継続するための平成24年度限りの事業である。		
補正予算額	198			
予算流・充用額	0			
最終予算額	198	【参考】		
本年度決算額	157	前年度決算額 0		
区分	決算額	評価結果		
国・県支出金	105	この事業は葉たばこ廃作農家を対象に、営農を継続するための平成24年度限りの取り組みである。		
地方債	0			
その他	0			
一般財源	52			
計	157			

農036	項目名	チャレンジプラン支援事業費		
主要な施策	チャレンジプラン支援事業費	ページ	34	所 属 名
年度	H24	農林水産部 農業振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】 生産流通振興室 生産振興係 0857-20-3234			
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】 5101			
項 農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P165(農035)			
目 農業振興費	【事業の概要】 事業実施主体の作成した「プラン」を実現するために必要な事業(ハード、ソフト)に対し助成を行った。補助率 県1/3 市1/6			
(単位:千円)	【事業の成果】 鳥取地域 2件(コンバイン、田植え機導入) 国府地域 1件(コンバイン、動力噴霧器導入) 河原地域 1件(機械格納庫・作業庫整備) 青谷地域 1件(乾燥機導入) JA 2件(らっきょう洗浄機、選別機、販売促進費用、苗代助成)			
当初予算額	55,172	平成22年度決算額 30,601千円		
補正予算額	△25,929	平成23年度決算額 27,354千円		
予算流・充用額	0	平成24年度決算額 24,606千円		
最終予算額	29,243	【今後の課題・方向性】 農地の遊休化、農業者の高齢化が進行する状況下で、地域農業振興・維持を目指して生産規模拡大を行う意欲ある農業者からの要望もあり、継続して支援していく。		
本年度決算額	24,606	【参考】		
区分	決算額	前年度決算額 27,354		
国・県支出金	16,380	評価結果		
地方債	0	農地の遊休化、農業者の高齢化が進行する状況下で、地域農業の振興・維持を目指して生産規模拡大を行う意欲ある農業者からの要望もあり、継続して支援していく。		
その他	0			
一般財源	8,226			
計	24,606			

農037	項目名	鳥取地域ブランド農産物育成支援事業費補助金		
主要な施策	鳥取地域ブランド農産物育成支援事業費	ページ	34	所 属 名
年度	H24	農林水産部 農業振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】生産流通振興室 生産振興係 0857-20-3234			
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101			
項 農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P166(農037)			
目 農業振興費	【事業の概要】 市内各地域の特徴を生かした農産物等を鳥取地域ブランド農産物として登録された品目につき、販売力を強化するために必要な経費の一部を助成を行った。			
(単位:千円)	【事業の成果】 1 登録品目の販促資材経費の一部を助成 1件 2 阪神競馬場での登録品目の販売・宣伝に要する経費の一部を助成 1件			
当初予算額	800	平成22年度決算額 603千円 平成23年度決算額 535千円 平成24年度決算額 104千円		
補正予算額	△421	【今後の課題・方向性】 登録品のPRや生産拡大につなげるため、補助金を活用していない登録者に対し積極的に促進していく必要がある。		
予算流・充用額	0			
最終予算額	379	【参考】		
本年度決算額	104	前年度決算額 535		
区分	決算額	評価結果		
財源内訳		鳥取地域ブランド農産物として登録することにより一般の農産物と差別化することで、販売力を強化し、本市の農業振興を図っていくため今後も継続して実施する。		
国・県支出金	0			
地方債	0			
その他	0			
一般財源	104			
計	104			

農038	項目名	農産物販路拡大支援事業費		
主要な施策	鳥取地域ブランド農産物育成支援事業費	ページ	34	所 属 名
年度	H24	農林水産部 農業振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】生産流通振興室 生産振興係 0857-20-3074			
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101			
項 農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P166(農038)			
目 農業振興費	【事業の概要】 ふるさと農業公社に専門職員を1名配置し、京阪神圏域で本市の農産物、加工品等の特産品の販路拡大を推進する。			
(単位:千円)	【事業の成果】 農業公社に専門職員を1名配置しPR活動や消費者や市場のニーズ把握、特産品の発掘・開発等の事業を委託し、本市の農産物、加工品等の特産品を京阪神圏域に向け販路拡大を図った。 プチ・マルシェ協力店舗数 11店舗 プチ・マルシェ参加農家 12件(うち市内9件)			
当初予算額	6,000	【今後の課題・方向性】 鳥取自動車道の全線開通を活かし、本市の農産物、加工品等の特産品を関西圏等に向け販路拡大を図る。また、プチ・マルシェ事業を一層促進させ、生産者の所得向上を図る。		
補正予算額	0			
予算流・充用額	0			
最終予算額	6,000	【参考】		
本年度決算額	5,736	前年度決算額 0		
区分	決算額	評価結果		
財源内訳		鳥取自動車道の全線開通を活かし、本市の農産物、加工品等の特産品を関西圏等に向け販路拡大を図り、また、プチ・マルシェ事業を一層促進させることで生産者の所得向上を図るため継続して実施する。		
国・県支出金	0			
地方債	0			
その他	2,425			
一般財源	3,311			
計	5,736			

農039	項目名	平成23年度豪雪対策緊急事業費補助金		
主要な施策	雪害園芸施設復旧対策事業費	ページ	34	所 属 名
年度	H24	農林水産部 農業振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】生産流通振興室 生産振興係 0857-20-3234			
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101			
項 農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 6月補正予算・P12(農002)			
目 農業振興費	【事業の概要】 平成23年度の豪雪により全半壊の被害を受けた園芸施設等の復旧や被害を未然に防ぐために施した融雪剤の散布及びほ場進入路の除雪に対して支援することで、園芸産地等の維持発展と当市の特産物の生産振興を図る。			
(単位:千円)	【事業の成果】 生産者組織1件、農業者9件に対し、施設園芸ハウス1件、畜舎・堆肥舎1件、果樹棚8件、融雪剤3件の復旧及び散布に対し、一部助成を行った。			
当初予算額	0	【今後の課題・方向性】 単年度限りの緊急支援事業であったが、今後同様の被害等が起こった場合、県と連携をとりながら措置していく必要がある。		
補正予算額	1,772			
予算流・充用額	0			
最終予算額	1,772	その他財源の内訳		
本年度決算額	1,772	分担金	0	
		負担金	0	
		使用料	0	
		手数料	0	
		財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	0	
		贈収入	0	
		その他	0	
区分	決算額			
財源内訳				
国・県支出金	825			
地方債	0			
その他	0			
一般財源	947			
計	1,772			
(参考)		評価結果	平成24年度事業完了。今後も被害等が起こった場合、県と連携をとりながら措置していく必要がある。	
前年度決算額	0			

農040	項目名	環境保全型農業直接支援対策交付金		
主要な施策	環境保全型農業直接支援対策交付金	ページ	34	所 属 名
年度	H24	農林水産部 農業振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】生産流通振興室 生産振興係 0857-20-3234			
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101			
項 農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P167(農039)			
目 農業振興費	【事業の概要】 1 化学肥料・化学合成農薬5割以上低減及びカバークロープ、リビングマルチ、草生栽培、冬期湛水管理のいずれかの取り組みを行なう営農活動に対し支援 2 化学肥料・化学合成農薬不使用の有機農業の取り組みを行う営農活動に対し支援			
(単位:千円)	【事業の成果】 1 化学肥料・化学合成農薬5割以上低減及びカバークロープの取り組みを行った農業者2名(9.9ha)、化学肥料・化学合成農薬5割以上低減及び冬期湛水の取り組みを行った農業者1名(3.5ha)に対し支援を行い、環境に優しい農業の推進を図った。 取組件数 3件、取組面積 13.4ha 2 化学肥料・化学合成肥料不使用の有機農業者21名(18.3ha)に対し支援を行い、環境に優しい農業の推進を図った。 取組件数 21件、取組面積 18.3ha			
当初予算額	2,400	平成23年度決算額 874千円 平成24年度決算額 1,267千円		
補正予算額	△1,048	【今後の課題・方向性】 環境保全効果の高い営農活動の普及推進を通じて、農業生産全体のあり方を環境保全を重視したものに転換していくことで、地球温暖化防止及び生物多様性保全を図る。		
予算流・充用額	0			
最終予算額	1,352	その他財源の内訳		
本年度決算額	1,267	分担金	0	
		負担金	0	
		使用料	0	
		手数料	0	
		財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	0	
		贈収入	0	
		その他	0	
区分	決算額			
財源内訳				
国・県支出金	633			
地方債	0			
その他	0			
一般財源	634			
計	1,267			
(参考)		評価結果	地球温暖化防止及び生物多様性保全を図るため、環境にやさしい農業の取り組みは重要であり、今後も継続して実施する。	
前年度決算額	874			

農041	項目名	とっとり発！6次産業化総合支援事業費	
主要な施策	とっとり発！6次産業化総合支援事業費	ページ	34
年度	H24	所 属 名	
		農林水産部 農業振興課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】生産流通振興室 生産振興係 0857-20-3234		
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】 5101		
項 農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P167(農040)、9月補正予算・P27(農006)		
目 農業振興費	【事業の概要】 農林漁業者自らが生産・加工・販売までを主体的に取り組む6次産業化や、農林水産業と商業・工業などが連携して商品製造等に取り組む農商工連携を推進する取り組み(ハード、ソフト事業)に対し助成を行った。		
(単位:千円)	【事業の成果】 ・農家が取り組む6次産業化推進事業 鳥取地域 2件(コンバイン 2台、トラクター 1台、作業用倉庫整備 1棟)		
当初予算額	3,863	平成23年度決算額 3,623千円 平成24年度決算額 10,383千円	
補正予算額	6,520	【今後の課題・方向性】 農業者自らが生産から加工、販売等を行う6次産業化は付加価値を高め所得の向上や雇用の確保につながる重要な取組であると考えます。農業者等の独自の取り組みにより、所得向上・地域活性化を目指す意欲ある農林漁業者からの要望もあるため、関係機関等とも連携し今後も継続して支援していく。	
予算流・充用額	0	【参考】	
最終予算額	10,383	前年度決算額 3,623	
本年度決算額	10,383	評価結果	
区分	決算額	独自の取り組みにより所得向上・地域活性化を目指す意欲ある農林漁業者からの要望もあるため、今後も支援していく。	
財源内訳	国・県支出金 6,922		
	地方債 0		
	その他 0		
	一般財源 3,461		
	計 10,383		
その他財源の内訳	分担金 0		
	負担金 0		
	使用料 0		
	手数料 0		
	財産収入 0		
	寄付金 0		
	繰入金 0		
	贈収入 0		
	その他 0		

農042	項目名	強風害施設復旧対策事業費補助金	
主要な施策	強風害施設復旧対策事業費補助金	ページ	34
年度	H24	所 属 名	
		農林水産部 農業振興課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】生産流通振興室 生産振興係 0857-20-3234		
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】 5101		
項 農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 9月補正予算・P28(農007)		
目 農業振興費	【事業の概要】 平成24年4月の強風により全半壊の被害を受けたハウスや牛舎等の復旧、農産物の再生産、緊急防除に対して支援することで、本市の畜産業の維持発展と農産物の生産振興を図る。 補助率：2/3(県：1/3、市：1/3)		
(単位:千円)	【事業の成果】 畜舎2棟 豚舎3棟 堆肥舎1棟 ハウス5棟、ブロッコリーの再生産1件に対し復旧費の一部を助成。		
当初予算額	0	【今後の課題・方向性】 単年度限りの緊急支援事業であったが、今後同様の被害等が起こった場合、県と連携をとりながら措置していく必要がある。	
補正予算額	2,515	【参考】	
予算流・充用額	0	前年度決算額 0	
最終予算額	2,515	評価結果	
本年度決算額	2,072	平成24年度事業完了。今後も被害等が起こった場合、県と連携をとりながら措置していく必要がある。	
区分	決算額		
財源内訳	国・県支出金 1,214		
	地方債 0		
	その他 0		
	一般財源 858		
	計 2,072		
その他財源の内訳	分担金 0		
	負担金 0		
	使用料 0		
	手数料 0		
	財産収入 0		
	寄付金 0		
	繰入金 0		
	贈収入 0		
	その他 0		

農043	項目名	畜産振興対策事業費		
主要な施策	畜産振興対策事業費	ページ	34	所 属 名
年度	H24	農林水産部 農業振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】生産流通振興室 生産振興係 0857-20-3234			
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101			
項 農業費	【予算計上の経過】			
目 畜産業費	予算事業別概要目次			
(単位:千円)	当初予算・P168(農041)、9月補正予算・P28(農008)			
当初予算額	2,863	【事業の概要】		
補正予算額	164	畜産農家の負担軽減並びに良質な家畜の育成販売促進を通じて畜産振興を図ることを目的に優良な牛を育てる農家に対し一部助成を行った。		
予算流・充用額	0	1 放牧奨励事業 (補助率: 1/10)		
最終予算額	3,027	2 肉用牛肥育経営体質強化対策事業 (補助率: 1/10)		
本年度決算額	3,026	3 肥育素牛安定導入対策事業 (補助率: 1/6)		
区分	決算額	4 第10回全国和牛能力共進会の出品者に対し奨励金を交付(10万円/人)		
国・県支出金	0	【事業の成果】		
地方債	0	○放牧奨励事業 放牧経費の一部支援 127頭		
その他	0	○肉用牛肥育経営体質強化対策事業 対象飼料数量 1,370.9t		
一般財源	3,026	(配合飼料購入費が一定の価格を超えた場合にその差額の一部を補填)		
計	3,026	○肥育素牛安定導入対策事業 素牛購入に要する借入金に利息支援 202頭		
(参考)		平成22年度決算額 2,344千円		
前年度決算額	2,566	平成23年度決算額 2,566千円		
		平成24年度決算額 3,026千円		
		【今後の課題・方向性】		
		畜産業を取り巻く厳しい状況が続く中、畜産農家の負担軽減並びに良質な家畜の育成販売促進に対し継続して支援を行うことで畜産農家の経営力の強化を図る。		
		評価結果 畜産農家の負担軽減並びに良質な家畜の育成販売促進に対し継続して支援を行うことで畜産農家の経営力の強化を図る。		

農044	項目名	和牛再生促進事業費		
主要な施策	畜産振興対策事業費	ページ	34	所 属 名
年度	H24	農林水産部 農業振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】生産流通振興室 生産振興係 0857-20-3234			
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101			
項 農業費	【予算計上の経過】			
目 畜産業費	予算事業別概要目次			
(単位:千円)	当初予算・P168(農042)			
当初予算額	275	【事業の概要】		
補正予算額	0	和牛生産者の畜産経営体質の強化を図るため優良繁殖雌牛の導入に対し、経費の一部支援を行った。		
予算流・充用額	0	・優良雌牛導入支援 補助率: 1/6		
最終予算額	275	【事業の成果】		
本年度決算額	62	優良繁殖雌牛の導入支援を行い、農家の初期投資を軽減することで、経営体質強化を図った。		
区分	決算額	県内優良雌牛 6頭		
国・県支出金	0	平成22年度決算額 12,509千円		
地方債	0	平成23年度決算額 2,446千円		
その他	0	平成24年度決算額 62千円		
一般財源	62	【今後の課題・方向性】		
計	62	飼料価格の今後の見込みは不安定で、枝肉価格も低落しており、畜産経営の収益性が低下している。また、和牛農家は初期投資の負担が大きいことから規模拡大が進んでいない状況であり、更なる支援を行うことで生産者の畜産経営体質を強化するとともに、本市における和牛ブランド力の向上を図る。		
(参考)		評価結果 本市における和牛のブランド力向上を図るため、生産者の畜産経営の体質強化は必要であり、今後も経営体質強化に向けた取組みを実施する。		
前年度決算額	2,446			

農045	項目名	鳥取地どりブランド生産拡大支援事業費補助金		
主要な施策	畜産振興対策事業費	ページ	34	所 属 名
年度	H24	農林水産部 農業振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】生産流通振興室 生産振興係 0857-20-3234			
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】 5101			
項 農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P169(農043)、6月補正予算・P13(農003)			
目 畜産業費	【事業の概要】 鳥取地どりピヨを地域特産物として位置づけ、産地形成に向け、安定生産のための食鳥処理施設の整備に対して支援を行った。			
(単位:千円)	【事業の成果】 (株)ふるさと鹿野が鳥取県東部で唯一の食鳥処理施設の整備費を支援することにより、地どりの安定供給に寄与した。			
当初予算額	5,100	【今後の課題・方向性】 食鳥処理施設が設置されたことで、食鳥処理量の増加が可能となり、鳥取地どりの安定生産拡大及び消費拡大が図られる。また、鳥取地どりブランドの確立を目指し、増産による経営が軌道に乗るまで雛代、餌代の支援を行う必要がある。		
補正予算額	1,809			
予算流・充用額	0			
最終予算額	6,909	その他財源の内訳		
本年度決算額	6,809	分担金	0	
区分	決算額	負担金	0	
財源内訳		使用料	0	
国・県支出金	0	手数料	0	
地方債	0	財産収入	0	
その他	0	寄付金	0	
一般財源	6,809	繰入金	0	
計	6,809	贈収入	0	
		その他	0	
(参考)		評価結果	食鳥処理施設が設置されたことで、増羽による食鳥処理が可能となり、鳥取地どりの安定生産及び消費拡大が図られる。また、鳥取地どりブランドの確立を目指し、増産による経営が軌道に乗るまで雛代、餌代の支援を行う必要がある。	
前年度決算額	3,664			

農046	項目名	戸別所得補償経営安定推進事業費		
主要な施策	地域農政推進対策事業費	ページ	35	所 属 名
年度	H24	農林水産部 農業振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】生産流通振興室 担い手支援係 0857-20-3238			
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101			
項 農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P169(農044)、9月補正予算・P29(農009)			
目 農業構造改善事業費	【事業の概要】 平成24年度より国の戸別所得補償経営安定推進事業を活用し全地域の各集落を対象として人・農地プランを作成した。 <1>合意形成を図りながら人・農地プランを作成することで、地域の担い手や農地の利用調整を推進。 <2>人・農地プランに位置づけられた担い手への農地集積などに対する支援制度。 <3>農地情報図を活用し、地域・集落での話し合いに向けた農地利用図(担い手ごとの集積範囲の設定、担い手や地権者ごとに色分けされたもの)の作成を委託。			
(単位:千円)	【事業の成果】 14地域のうち、13地域の人・農地プランを作成 <1>人・農地プラン作成に係る活動 895千円 <2>人・農地に基づいて担い手への農地集積に協力した農家への協力金 11千円 <3>プラン作成に向けた農地利用図の作成 4,200千円			
当初予算額	6,890	【今後の課題・方向性】 集落営農組織や認定農業者などの地域の担い手への農地集積によって、高齢化や、後継者不足による耕作放棄の増加などの問題を解決するために、今後も国事業を活用しながら事業実施を行う。		
補正予算額	△1,411			
予算流・充用額	5			
最終予算額	5,484	その他財源の内訳		
本年度決算額	5,106	分担金	0	
区分	決算額	負担金	0	
財源内訳		使用料	0	
国・県支出金	5,101	手数料	0	
地方債	0	財産収入	0	
その他	0	寄付金	0	
一般財源	5	繰入金	0	
計	5,106	贈収入	0	
		その他	0	
(参考)		評価結果	地域の担い手に農地を集積していくことで、高齢化、後継者不足による耕作放棄地の増加などの問題解決するために、事業を継続して実施して行くことが必要である。	
前年度決算額	0			

農047	項目名	農地流動化推進事業費補助金		
主要な施策	農地流動化推進事業費	ページ	35	所 属 名
年度	H24	農林水産部 農業振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】生産流通振興室 担い手支援係 0857-20-3239			
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101			
項 農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P170(農045)			
目 農業構造改善事業費	【事業の概要】 認定農業者が3年以上の賃借を伴う利用権設定を行った場合に10aあたり8千円の助成金を交付。農地の流動化促進及び優良農地の確保を図り、認定農業者の規模拡大を推進することで担い手を中心とした農業構造へ転換を図った。			
(単位:千円)	【事業の成果】 平成24年度実績 交付対象農地面積 14,335.6a、交付対象者 48人			
当初予算額	10,637	平成22年度決算額 8,898千円 (11,125.5a) 平成23年度決算額 10,450千円 (13,062.9a) 平成24年度決算額 11,468千円 (14,335.6a)		
補正予算額	1,148	【今後の課題・方向性】 本事業は地域農業の中心的担い手である認定農業者への農地集積に有効であり、認定農業者の規模拡大を推進することで地域農業の担い手となる効率的な経営体の育成を図ることができるため、継続して事業を実施する。		
予算流・充用額	0	【事業の成果】 平成24年度実績 交付対象農地面積 14,335.6a、交付対象者 48人		
最終予算額	11,785	平成22年度決算額 8,898千円 (11,125.5a) 平成23年度決算額 10,450千円 (13,062.9a) 平成24年度決算額 11,468千円 (14,335.6a)		
本年度決算額	11,468	【今後の課題・方向性】 本事業は地域農業の中心的担い手である認定農業者への農地集積に有効であり、認定農業者の規模拡大を推進することで地域農業の担い手となる効率的な経営体の育成を図ることができるため、継続して事業を実施する。		
区分	決算額	【今後の課題・方向性】 本事業は地域農業の中心的担い手である認定農業者への農地集積に有効であり、認定農業者の規模拡大を推進することで地域農業の担い手となる効率的な経営体の育成を図ることができるため、継続して事業を実施する。		
財源内訳	国・県支出金 3,542	【今後の課題・方向性】 本事業は地域農業の中心的担い手である認定農業者への農地集積に有効であり、認定農業者の規模拡大を推進することで地域農業の担い手となる効率的な経営体の育成を図ることができるため、継続して事業を実施する。		
	地方債 0	【今後の課題・方向性】 本事業は地域農業の中心的担い手である認定農業者への農地集積に有効であり、認定農業者の規模拡大を推進することで地域農業の担い手となる効率的な経営体の育成を図ることができるため、継続して事業を実施する。		
	その他 0	【今後の課題・方向性】 本事業は地域農業の中心的担い手である認定農業者への農地集積に有効であり、認定農業者の規模拡大を推進することで地域農業の担い手となる効率的な経営体の育成を図ることができるため、継続して事業を実施する。		
	一般財源 7,926	【今後の課題・方向性】 本事業は地域農業の中心的担い手である認定農業者への農地集積に有効であり、認定農業者の規模拡大を推進することで地域農業の担い手となる効率的な経営体の育成を図ることができるため、継続して事業を実施する。		
	計 11,468	【今後の課題・方向性】 本事業は地域農業の中心的担い手である認定農業者への農地集積に有効であり、認定農業者の規模拡大を推進することで地域農業の担い手となる効率的な経営体の育成を図ることができるため、継続して事業を実施する。		
(参考)	前年度決算額 10,450	【今後の課題・方向性】 本事業は地域農業の中心的担い手である認定農業者への農地集積に有効であり、認定農業者の規模拡大を推進することで地域農業の担い手となる効率的な経営体の育成を図ることができるため、継続して事業を実施する。		
		評価結果 中心的担い手である認定農業者への農地集積を引き続き促進することは必要である。		

農048	項目名	担い手育成基盤整備関連流動化促進事業費		
主要な施策	担い手育成基盤整備関連流動化促進事業費	ページ	35	所 属 名
年度	H24	農林水産部 農業振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】生産流通振興室 担い手支援係 0857-20-3238			
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101			
項 農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P171(農047)			
目 農業構造改善事業費	【事業の目的及び効果】 ほ場整備完了地区において高度経営体へ農地集積した実績に応じて促進費を交付し、ほ場整備の農家負担を軽減しつつ、担い手への農地集積を促進した。			
(単位:千円)	【事業の内容・実績】 高度経営体へ農地集積した実績に応じて促進費を助成する。 事業対象地区：青谷町日置谷地区 農地集積者：(株)アグリファクトリー 交付先：大坪・蔵内土地改良組合 促進費：17,078千円			
当初予算額	17,078	【基盤整備事業費341,560千円×助成率5%=17,078千円】 ※助成率は基盤整備事業の受益面積に対する高度経営体への集積面積の割合に応じて規定		
補正予算額	0	平成21年度 内海中地区 91,702千円		
予算流・充用額	0	【今後の課題・方向性】 高度経営体へ農地集積した実績に応じて促進費を交付し単年度事業で実施した。今後、基盤整備事業が実施される場合、国、県事業を活用して事業実施し、担い手への農地集積の促進を図る。		
最終予算額	17,078	【今後の課題・方向性】 高度経営体へ農地集積した実績に応じて促進費を交付し単年度事業で実施した。今後、基盤整備事業が実施される場合、国、県事業を活用して事業実施し、担い手への農地集積の促進を図る。		
本年度決算額	17,078	【今後の課題・方向性】 高度経営体へ農地集積した実績に応じて促進費を交付し単年度事業で実施した。今後、基盤整備事業が実施される場合、国、県事業を活用して事業実施し、担い手への農地集積の促進を図る。		
区分	決算額	【今後の課題・方向性】 高度経営体へ農地集積した実績に応じて促進費を交付し単年度事業で実施した。今後、基盤整備事業が実施される場合、国、県事業を活用して事業実施し、担い手への農地集積の促進を図る。		
財源内訳	国・県支出金 17,078	【今後の課題・方向性】 高度経営体へ農地集積した実績に応じて促進費を交付し単年度事業で実施した。今後、基盤整備事業が実施される場合、国、県事業を活用して事業実施し、担い手への農地集積の促進を図る。		
	地方債 0	【今後の課題・方向性】 高度経営体へ農地集積した実績に応じて促進費を交付し単年度事業で実施した。今後、基盤整備事業が実施される場合、国、県事業を活用して事業実施し、担い手への農地集積の促進を図る。		
	その他 0	【今後の課題・方向性】 高度経営体へ農地集積した実績に応じて促進費を交付し単年度事業で実施した。今後、基盤整備事業が実施される場合、国、県事業を活用して事業実施し、担い手への農地集積の促進を図る。		
	一般財源 0	【今後の課題・方向性】 高度経営体へ農地集積した実績に応じて促進費を交付し単年度事業で実施した。今後、基盤整備事業が実施される場合、国、県事業を活用して事業実施し、担い手への農地集積の促進を図る。		
	計 17,078	【今後の課題・方向性】 高度経営体へ農地集積した実績に応じて促進費を交付し単年度事業で実施した。今後、基盤整備事業が実施される場合、国、県事業を活用して事業実施し、担い手への農地集積の促進を図る。		
(参考)	前年度決算額 0	評価結果 農用地面積32.1haのうち16.5haが集積され事業の効果が認められた。今後、基盤整備事業の実施状況に応じて、担い手への農地集積を引き続き促進することは必要である。		

農049	項目名	新規就農者支援事業費補助金		
主要な施策	新規就農者支援事業費	ページ	35	所 属 名
年度	H24	農林水産部 農業振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】生産流通振興室 担い手支援係 0857-20-3239			
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101			
項 農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P171(農048)			
目 農業構造改善事業費	【事業の概要】 新規就農者の農地賃借料及び機械施設の購入費に対し助成。			
(単位:千円)	【事業の成果】 平成24年度実績 ・農地賃借料助成対象者 19名 ・機械等助成対象者 11名			
当初予算額	23,120	平成22年度決算額 21,456千円 平成23年度決算額 7,685千円 平成24年度決算額 10,946千円		
補正予算額	△ 6,763	【今後の課題・方向性】 農業者の高齢化、減少等の問題解決に向けて、本市農業の担い手の後継者となる新規就農者の就農(移住)定住・定着を図るためには、就農初期の機械施設の導入助成や農地賃借料に対する支援策は有効であり県事業を活用しながら今後も継続して実施していく。		
予算流・充用額	0	平成22年度決算額 21,456千円 平成23年度決算額 7,685千円 平成24年度決算額 10,946千円		
最終予算額	16,357	【今後の課題・方向性】 農業者の高齢化、減少等の問題解決に向けて、本市農業の担い手の後継者となる新規就農者の就農(移住)定住・定着を図るためには、就農初期の機械施設の導入助成や農地賃借料に対する支援策は有効であり県事業を活用しながら今後も継続して実施していく。		
本年度決算額	10,946	【今後の課題・方向性】 農業者の高齢化、減少等の問題解決に向けて、本市農業の担い手の後継者となる新規就農者の就農(移住)定住・定着を図るためには、就農初期の機械施設の導入助成や農地賃借料に対する支援策は有効であり県事業を活用しながら今後も継続して実施していく。		
区分	決算額	【今後の課題・方向性】 農業者の高齢化、減少等の問題解決に向けて、本市農業の担い手の後継者となる新規就農者の就農(移住)定住・定着を図るためには、就農初期の機械施設の導入助成や農地賃借料に対する支援策は有効であり県事業を活用しながら今後も継続して実施していく。		
財源内訳	国・県支出金 5,991	【今後の課題・方向性】 農業者の高齢化、減少等の問題解決に向けて、本市農業の担い手の後継者となる新規就農者の就農(移住)定住・定着を図るためには、就農初期の機械施設の導入助成や農地賃借料に対する支援策は有効であり県事業を活用しながら今後も継続して実施していく。		
	地方債 0	【今後の課題・方向性】 農業者の高齢化、減少等の問題解決に向けて、本市農業の担い手の後継者となる新規就農者の就農(移住)定住・定着を図るためには、就農初期の機械施設の導入助成や農地賃借料に対する支援策は有効であり県事業を活用しながら今後も継続して実施していく。		
	その他 0	【今後の課題・方向性】 農業者の高齢化、減少等の問題解決に向けて、本市農業の担い手の後継者となる新規就農者の就農(移住)定住・定着を図るためには、就農初期の機械施設の導入助成や農地賃借料に対する支援策は有効であり県事業を活用しながら今後も継続して実施していく。		
	一般財源 4,955	【今後の課題・方向性】 農業者の高齢化、減少等の問題解決に向けて、本市農業の担い手の後継者となる新規就農者の就農(移住)定住・定着を図るためには、就農初期の機械施設の導入助成や農地賃借料に対する支援策は有効であり県事業を活用しながら今後も継続して実施していく。		
	計 10,946	【今後の課題・方向性】 農業者の高齢化、減少等の問題解決に向けて、本市農業の担い手の後継者となる新規就農者の就農(移住)定住・定着を図るためには、就農初期の機械施設の導入助成や農地賃借料に対する支援策は有効であり県事業を活用しながら今後も継続して実施していく。		
(参考)	前年度決算額 7,685	【今後の課題・方向性】 農業者の高齢化、減少等の問題解決に向けて、本市農業の担い手の後継者となる新規就農者の就農(移住)定住・定着を図るためには、就農初期の機械施設の導入助成や農地賃借料に対する支援策は有効であり県事業を活用しながら今後も継続して実施していく。		
		評価結果	新規就農者対策は、本市の農業後継者確保に有効な施策であり今後も継続していく必要がある。	

農050	項目名	多様な集落営農支援事業費補助金		
主要な施策	意欲ある担い手支援事業費	ページ	35	所 属 名
年度	H24	農林水産部 農業振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】生産流通振興室 担い手支援係 0857-20-3238			
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101			
項 農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P172(農049)			
目 農業構造改善事業費	【事業の概要】 農地の荒廃、担い手の高齢化や後継者不足を改善する方法の一つとして、集落営農組織の育成及び経営改善を図った。			
(単位:千円)	【事業の成果】 平成24年度の実績 組織化支援事業 (実績 なし) 経営多角化支援事業 (実績 なし) 機械施設整備支援事業 (実績 下味野:4条刈りコンバイン、6条植田植え機 3,188千円) (実績 夏ヶ谷:4条刈りコンバイン、4インチ粃摺機 2,133千円)			
当初予算額	7,700	平成22年度決算額 3組織 2,819千円 平成23年度決算額 1組織 3,550千円 平成24年度決算額 2組織 5,321千円		
補正予算額	△ 2,001	【今後の課題・方向性】 高齢化による農作業の困難や後継者不足によって、耕作放棄地の増加による農地の荒廃などの問題に困っている集落に対し、集落営農組織の育成及び経営改善が有効であることから、県補助金を活用しながら事業を継続実施することで問題解決を図る。		
予算流・充用額	0	【今後の課題・方向性】 高齢化による農作業の困難や後継者不足によって、耕作放棄地の増加による農地の荒廃などの問題に困っている集落に対し、集落営農組織の育成及び経営改善が有効であることから、県補助金を活用しながら事業を継続実施することで問題解決を図る。		
最終予算額	5,699	【今後の課題・方向性】 高齢化による農作業の困難や後継者不足によって、耕作放棄地の増加による農地の荒廃などの問題に困っている集落に対し、集落営農組織の育成及び経営改善が有効であることから、県補助金を活用しながら事業を継続実施することで問題解決を図る。		
本年度決算額	5,321	【今後の課題・方向性】 高齢化による農作業の困難や後継者不足によって、耕作放棄地の増加による農地の荒廃などの問題に困っている集落に対し、集落営農組織の育成及び経営改善が有効であることから、県補助金を活用しながら事業を継続実施することで問題解決を図る。		
区分	決算額	【今後の課題・方向性】 高齢化による農作業の困難や後継者不足によって、耕作放棄地の増加による農地の荒廃などの問題に困っている集落に対し、集落営農組織の育成及び経営改善が有効であることから、県補助金を活用しながら事業を継続実施することで問題解決を図る。		
財源内訳	国・県支出金 3,547	【今後の課題・方向性】 高齢化による農作業の困難や後継者不足によって、耕作放棄地の増加による農地の荒廃などの問題に困っている集落に対し、集落営農組織の育成及び経営改善が有効であることから、県補助金を活用しながら事業を継続実施することで問題解決を図る。		
	地方債 0	【今後の課題・方向性】 高齢化による農作業の困難や後継者不足によって、耕作放棄地の増加による農地の荒廃などの問題に困っている集落に対し、集落営農組織の育成及び経営改善が有効であることから、県補助金を活用しながら事業を継続実施することで問題解決を図る。		
	その他 0	【今後の課題・方向性】 高齢化による農作業の困難や後継者不足によって、耕作放棄地の増加による農地の荒廃などの問題に困っている集落に対し、集落営農組織の育成及び経営改善が有効であることから、県補助金を活用しながら事業を継続実施することで問題解決を図る。		
	一般財源 1,774	【今後の課題・方向性】 高齢化による農作業の困難や後継者不足によって、耕作放棄地の増加による農地の荒廃などの問題に困っている集落に対し、集落営農組織の育成及び経営改善が有効であることから、県補助金を活用しながら事業を継続実施することで問題解決を図る。		
	計 5,321	【今後の課題・方向性】 高齢化による農作業の困難や後継者不足によって、耕作放棄地の増加による農地の荒廃などの問題に困っている集落に対し、集落営農組織の育成及び経営改善が有効であることから、県補助金を活用しながら事業を継続実施することで問題解決を図る。		
(参考)	前年度決算額 3,550	【今後の課題・方向性】 高齢化による農作業の困難や後継者不足によって、耕作放棄地の増加による農地の荒廃などの問題に困っている集落に対し、集落営農組織の育成及び経営改善が有効であることから、県補助金を活用しながら事業を継続実施することで問題解決を図る。		
		評価結果	高齢化、後継者不足、耕作放棄地の増加などの問題解決のために、集落営農組織の育成による農家の所得向上を図ることが必要であり継続的な事業実施が必要。	

農051	項目名	企業等農業参入促進支援事業費補助金			
主要な施策	意欲ある担い手支援事業費	ページ	35	所 属 名	
年度	H24	農林水産部 農業振興課			
会計名	事業の概要				
一般会計	【問合せ先】 生産流通振興室 担い手支援係 0857-20-3238				
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】 5101				
項 農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P172(農050)				
目 農業構造改善事業費	【事業の概要】 建設業等の他分野から参入した企業が、担い手となり農業振興に寄与することを目的として企業の参入促進を図った。				
(単位:千円)	【事業の成果】 平成24年度実績 農業用機械施設整備支援(きのこ生産用 パイプハウス3棟、1,466千円) 研修・試作等支援 (実績なし) 平成23年度決算額 (実績なし)				
当初予算額	4,202	【今後の課題・方向性】 企業の農業参入は、耕作放棄地や地域農業の活性化などの問題解決に有効であり、雇用の確保や企業誘致へのメリットなどが見込まれることから、県補助金を活用しながら事業を継続して実施することにより問題解決を図る。			
補正予算額	△ 2,735				
予算流・充用額	0				
最終予算額	1,466	【参考】			
本年度決算額	1,466	評価結果 新しい担い手(企業)の農業参入を図ることは、地域農業を守るなど地域の活性化に有効であることから、事業の継続的な実施が必要である。			
区分	決算額	評価結果			
財源内訳	国・県支出金	1,466	前年度決算額		
	地方債	0	0		
	その他	0			
	一般財源	0			
	計	1,466			

農052	項目名	湖山池周辺農業振興対策事業費			
主要な施策	湖山池周辺農業振興対策事業費	ページ	35	所 属 名	
年度	H24	農林水産部 農業振興課			
会計名	事業の概要				
一般会計	【問合せ先】 農林水産部次長(湖山池周辺農業担当) 0857-20-3202				
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】 5101				
項 農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P173(農051)				
目 農業構造改善事業費	【事業の概要】 湖山池の水質浄化のため、県、市がプロジェクトチームを立ち上げ、営農意向アンケート等を行い、東郷池程度の塩分濃度の汽水湖とする取り組みが行われた。				
(単位:千円)	【事業の成果】 湖山池の塩分濃度を引き上げたこと又はこれに伴い水稲作経営を畑作経営に転換したことにより生じる損失等を補償するため補助金を交付した。				
当初予算額	346,120	【今後の課題・方向性】 平成24年度事業完了(ただし、債務負担期間は平成43年度までであり。対応する事業が発生した場合は、予算措置し事業実施する。)			
補正予算額	△ 25				
予算流・充用額	0				
最終予算額	346,095	評価結果 平成24年度で事業完了			
本年度決算額	312,253	前年度決算額			
区分	決算額	0			
財源内訳	国・県支出金	155,185	0		
	地方債	0	0		
	その他	0	0		
	一般財源	157,068	0		
	計	312,253	0		

農053	項目名	湖山池汽水湖化に伴う施設等整備事業費		
主要な施策	湖山池汽水湖化に伴う施設等整備事業費	ページ	35	所 属 名
年度	H24	農林水産部 農業振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】農林水産部次長(湖山池周辺農業担当) 0857-20-3202			
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】 5101			
項 農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 6月補正予算・P13(農004)			
目 農業構造改善事業費	【事業の概要】 湖山池の水質浄化のため、東郷地区程度の塩分濃度の汽水湖とするよう24年3月12日から塩分導入が行われ、塩分濃度の上昇で湖山池の水が利用できなくなり、福井地区のハス池のかさ上げと井戸の新設、鳥大付属農場の用水確保のための貯水池整備、代替水田の暗渠排水施設整備を行った。			
(単位:千円)	【事業の成果】 福井地区のハス池のかさ上げと井戸の新設 鳥大付属農場の用水確保のための貯水池整備 代替水田の暗渠排水施設整備			
当初予算額	0	【今後の課題・方向性】 平成24年度で事業完了(繰越分を除く)		
補正予算額	21,002			
予算流・充用額	0			
最終予算額	21,002	その他の財源の内訳		
本年度決算額	17,974	分担金	0	
		負担金	0	
		使用料	0	
		手数料	0	
		財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	0	
		贈収入	0	
		その他	0	
区分	決算額			
財源内訳				
国・県支出金	0			
地方債	0			
その他	0			
一般財源	17,974			
計	17,974			
(参考)	評価結果			
前年度決算額	0	平成24年度で事業完了(繰越分を除く)		

農054	項目名	鳥取市大規模飼料作経営安定化基金事業費		
主要な施策	湖山池汽水湖化に対応した大規模飼料作経営安定化推進事業費	ページ	35	所 属 名
年度	H24	農林水産部 農業振興課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】農林水産部次長(湖山池周辺農業担当) 0857-20-3202			
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】 5101			
項 農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 9月補正予算・P29(農010) 12月補正予算・P21(農003)			
目 農業構造改善事業費	【事業の概要】 湖山池周辺地域の水稲作から畑作営農へ転換する農業者で組織する集落営農組織が機械作業受託組織と連携した大規模飼料作の経営の安定化に向けた取組等を支援するための基金を設置するとともに、機動的に支援する体制を県と構築し、経営安定化を図る。			
(単位:千円)	【事業の効果】 集落営農組織を機動的に支援する体制を県と構築し、集落営農組織の組織化と大規模飼料作に必要な飼料用大型機械等の整備、立地条件に適應した飼料栽培技術の確立に向け28.3haの飼料の播種作業を支援した。			
当初予算額	0	三津地区 2.2ha 桂見地区 2.7ha 湖山町瀬地区 23.4ha		
補正予算額	81,324	【今後の課題・方向性】 大規模飼料作経営の安定化に向けた取組等は今後も必要であるため、継続して支援を実施する。		
予算流・充用額	0			
最終予算額	81,324	その他の財源の内訳		
本年度決算額	76,115	分担金	0	
		負担金	0	
		使用料	0	
		手数料	0	
		財産収入	5	
		寄付金	0	
		繰入金	30,110	
		贈収入	0	
		その他	0	
区分	決算額			
財源内訳				
国・県支出金	23,000			
地方債	0			
その他	30,115			
一般財源	23,000			
計	76,115			
(参考)	評価結果			
前年度決算額	0	大規模飼料作経営の安定化に向けた取組等は必要であるため、必要な事業として今後も継続して支援を実施していく。		

農055	項目名	野生鳥獣被害防止事業費
------	-----	-------------

主要な施策	野生鳥獣被害防止事業費	ページ	35
-------	-------------	-----	----

所 属 名	農林水産部 農業振興課
-------	----------------

年度	H24
----	-----

### 事業の概要

会計名

一般会計	
款	農林水産業費
項	林産業費
目	林業総務費

(単位:千円)

当初予算額	49,690
-------	--------

補正予算額	△ 6,260
-------	---------

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	43,430
-------	--------

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
贈収	73
その他	0

本年度決算額	39,197
--------	--------

区 分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	16,996
地方債	0
その他	73
一般財源	22,128
計	39,197

【問合せ先】鳥獣対策係 0857-20-3233  
 【9次総の施策体系】5101  
 【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P176(農057)  
 【事業の概要】  
 イノシシ等による農作物などの被害防止対策に必要な補助金等を交付することにより、農業者が安心して農業生産活動を行えるようにし、もって本市農林業の振興を図った。

【事業の成果】  
 ①オリ管理、カラス一斉捕獲  
 オリ管理料 1,500千円、カラス一斉捕獲 1,225千円  
 ②侵入防止施設整備事業補助金  
 電気柵、金網等補助 84,983千円  
 ③イノシシ等捕獲奨励金(県1/2、市1/2) 20,516千円  
 イノシシ 1,588頭  
 シカ 266頭  
 ニートリア 412頭  
 アライグマ 5頭  
 シカ(狩猟期間) 138頭  
 ④捕獲オリ整備 624千円  
 イノシシ用囲いわな 3基  
 " 箱わな 1基  
 ⑤免許取得促進事業(県1/3、市2/3) わな猟免許取得者数 5人 33千円  
 (市10/10)第1種(銃器) 狩猟免許取得者数 2人 42千円  
 ⑥有害鳥獣捕獲技術向上対策事業(市10/10) 35名 216千円  
 【今後の課題・方向性】  
 鳥取市鳥獣被害防止計画に基づき、有害鳥獣の適正な捕獲と侵入防止柵の計画的・効果的な整備に努める。鳥獣被害対策実施隊の設置を検討する。

(参考)

前年度決算額	49,472
--------	--------

評価結果	鳥獣による被害は依然として発生しているため、被害対策の強化が必要である。また、捕獲した野生獣肉の有効利用を促進している。
------	--

農056	項目名	クマ対策事業費
------	-----	---------

主要な施策	野生鳥獣被害防止事業費	ページ	35
-------	-------------	-----	----

所 属 名	農林水産部 農業振興課
-------	----------------

年度	H24
----	-----

### 事業の概要

会計名

一般会計	
款	農林水産業費
項	林産業費
目	林業総務費

(単位:千円)

当初予算額	655
-------	-----

補正予算額	0
-------	---

予算流・充用額	0
---------	---

最終予算額	655
-------	-----

その他財源の内訳	
分担金	0
負担金	0
使用料	0
手数料	0
財産収入	0
寄付金	0
繰入金	0
贈収	0
その他	0

本年度決算額	189
--------	-----

区 分	決算額
財源内訳	
国・県支出金	95
地方債	0
その他	0
一般財源	94
計	189

【問合せ先】鳥獣対策係 0857-20-3233  
 【9次総の施策体系】5101  
 【予算計上の経過】  
 予算事業別概要目次  
 当初予算・P176(農058)  
 【事業の概要】  
 近年、人家近くへのクマ出没が頻発しており、住民の安全を確保するための対策を講じ、人間とクマの安全な共存を図った。また果樹園のクマ出没被害に対し、農家と農作物の安全を確保するための対策を講じた。

【事業の成果】  
 注意喚起看板11枚、クマよけ鈴102個、クマよけスプレー2個を導入し、人身被害の予防に努めた。  
 【今後の課題・方向性】  
 鳥取県ツキノワグマ保護管理計画に基づき、人とツキノワグマの共存を目指すとともに、鳥取市ツキノワグマ捕獲マニュアルに沿った適正な対応を行う。  
 鳥獣被害対策実施隊の設置を検討する。

(参考)

前年度決算額	194
--------	-----

評価結果	事業実施により人身被害と農作物被害の防止が図られた。
------	----------------------------

農057	項目名	市行造林維持管理費	
主要な施策	市行造林維持管理費	ページ	35
年度	H24	所 属 名	
		農林水産部 林務水産課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-20-3235		
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101		
項 林産業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P173（農052）		
目 林業総務費	【事業の概要】 市行造林、市有林の保育作業等の適正な森林整備を目的とする。		
(単位:千円)	【事業の成果】		
当初予算額	6,092	① 森林国営保険料 433.20ha 1,624,171円	
補正予算額	0	② 委託料	
予算流・充用額	0	本所(若葉台 下刈 8.88ha) 1,717,800円	
最終予算額	6,092	気高(枝打ち 3.40ha) 682,500円	
		気高(除伐 2.82ha) 409,500円	
		計 2,809,800円	
本年度決算額	4,434	【今後の課題・方向性】 平成24年度に認定された森林経営計画(期間H25~29)に基づき、間伐を促進する。	
区分	決算額		
財源内訳			
国・県支出金	1,890		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	2,544		
計	4,434		
(参考)		評価結果	
前年度決算額	5,885	間伐が遅れている市行造林が増えており、市行造林契約に基づき適正に管理するため、適期に間伐を実施する。	

農058	項目名	森林病虫害防除事業費	
主要な施策	森林病虫害防除事業費	ページ	35
年度	H24	所 属 名	
		農林水産部 林務水産課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-20-3235		
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101		
項 林産業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P174（農053）		
目 林業総務費	【事業の概要】 森林は、木材等林産物の供給を初め、国土の保全、自然環境の保全、形成等を通じて、生活の向上及び経済の発展に大きく寄与しており、これら森林としての機能を確保し、かつ、高度に発揮するため、森林病虫害等を早期に駆除し、そのまん延を防止して、森林の持つ各種機能の維持・増進を図る。		
(単位:千円)	【事業の成果】		
当初予算額	17,308	本所(地上散布23ha、樹幹注入 松91本、特別伐倒駆除311m3)	
補正予算額	△1,300	福部支所(空中散布47ha、地上散布9ha、養蜂移転107基、樹幹注入 松411本)	
予算流・充用額	0	【今後の課題・方向性】 沿岸部の飛砂防備、防風機能を担っている森林を保全するため、継続して、農業散布等により松くい虫を防除し、被害木の駆除を実施する。	
最終予算額	16,008		
本年度決算額	15,967		
区分	決算額		
財源内訳			
国・県支出金	12,796		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	3,171		
計	15,967		
(参考)		評価結果	
前年度決算額	10,662	継続して実施している松くい虫の防除・駆除により、健全な松林を保全する。	

農059	項目名	森林保護樹林帯緊急造成事業費		
主要な施策	森林病虫害防除事業費	ページ	35	所 属 名
年度	H24	農林水産部 林務水産課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-20-3235			
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101			
項 林産業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P174（農054）			
目 林業総務費	【事業の概要】 保全松林及びその周辺松林において、樹種転換を目的とした森林整備に対して必要な補助金を交付し、被害拡大を防止し、本市林業の振興を図ることを目的とする。			
(単位:千円)	【事業の成果】 事業主体 鳥取県東部森林組合 施工箇所 被害拡大防止森林及び地区被害拡大防止森林区域内 事業内容 雪起こし 2.79ha 負担区分 （県 8/10） 市 1/10			
当初予算額 59	【今後の課題・方向性】 造林事業と統合することにより、竹林林種転換、間伐等と一体的に支援する。			
補正予算額 0				
予算流・充用額 0				
最終予算額 59	その他の財源の内訳			
本年度決算額 23	分担金	0		
	負担金	0		
	使用料	0		
	手数料	0		
	財産収入	0		
	寄付金	0		
	繰入金	0		
	贈収入	0		
	その他	0		
区分	決算額			
財源内訳	国・県支出金	0		
	地方債	0		
	その他	0		
	一般財源	23		
	計	23		
(参考)	評価結果	造林事業と統合することにより、周囲と森林と一体的に整備する。		
前年度決算額 63				

農060	項目名	枯松伐採促進事業費		
主要な施策	森林病虫害防除事業費	ページ	35	所 属 名
年度	H24	農林水産部 林務水産課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-20-3235			
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101			
項 林産業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P175（農055）			
目 林業総務費	【事業の概要】 国立公園、国定公園及び県立自然公園並びに文化保護法の規定により指定された史跡名勝記念物周辺の森林において、景観を損なう枯れた松、ニセアカシア等が存在するため、これを伐採する。			
(単位:千円)	【事業の成果】 事業量 12ha 伐採量 56m3			
当初予算額 800	【今後の課題・方向性】 鳥取砂丘等の自然公園の景観を維持するため、枯木の伐採を行う。			
補正予算額 △533				
予算流・充用額 0				
最終予算額 267	その他の財源の内訳			
本年度決算額 267	分担金	0		
	負担金	0		
	使用料	0		
	手数料	0		
	財産収入	0		
	寄付金	0		
	繰入金	0		
	贈収入	0		
	その他	0		
区分	決算額			
財源内訳	国・県支出金	200		
	地方債	0		
	その他	0		
	一般財源	67		
	計	267		
(参考)	評価結果	山陰海岸ジオパークを推進するため、鳥取砂丘等の自然公園の森林の景観を維持する。		
前年度決算額 756				

農061	項目名	ナラ枯対策事業費	
主要な施策	森林病害虫防除事業費	ページ	35
年度	H24	所 属 名	
		農林水産部 林務水産課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-20-3235		
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101		
項 林産業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P175（農056）		
目 林業総務費	【事業の概要】 平成19年度以降、大量発生しているナラ枯れ（カシノナガキイムシによる被害）を 防除し、健全な森林の育成に努める。また、民家、道路付近の枯損木を伐採し、市民の安 全を図る。		
(単位:千円)	【事業の成果】 事業費 2,235千円 事業量 薬剤注入・伐倒駆除 411本		
当初予算額	3,000	【今後の課題・方向性】 被害先端区域において駆除を行い被害の蔓延を防ぐとともに、倒木被害の発生が想定さ れる被害木についても駆除を実施する。	
補正予算額	△757		
予算流・充用額	0		
最終予算額	2,243	【参考】	
本年度決算額	2,235	前年度決算額 3,999	
区分	決算額	評価結果	
国・県支出金	1,491	ナラ枯まん延による被害拡大を防止するため、ナラ枯の駆除を行う。	
地方債	0		
その他	0		
一般財源	744		
計	2,235		
財源内訳			
分担金	0		
負担金	0		
使用料	0		
手数料	0		
財産収入	0		
寄付金	0		
繰入金	0		
贈収金	0		
その他	0		

農062	項目名	地域学習活動事業費補助金	
主要な施策	林業後継者育成事業費	ページ	35
年度	H24	所 属 名	
		農林水産部 林務水産課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-20-3235		
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101		
項 林産業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P177（農060）		
目 林業総務費	【事業の概要】 林業後継者を対象に造林・林業機械等について研修を実施する林研グループ等に対して 、助成支援する。		
(単位:千円)	【事業の成果】 林業後継者地域学習活動事業 事業主体 鳥取市林業振興協議会（会員数86名） 林業研修会年2回程度、視察研修会年1回実施 参加者44名		
当初予算額	168	【今後の課題・方向性】 林業就労者の減少と高齢化が急速に進行していくなかで、林業後継者の確保は切実な問 題である。今後も引き続き、後継者の育成・確保に向け、先進的な知識の付与と林業技術 の習得に向けた各種研修会の開催等の活動を支援していく。	
補正予算額	0		
予算流・充用額	0		
最終予算額	168	【参考】	
本年度決算額	168	前年度決算額 172	
区分	決算額	評価結果	
国・県支出金	0	林業グループ活動の活性化を目指して今後も継続して支援を行う。	
地方債	0		
その他	0		
一般財源	168		
計	168		
財源内訳			
分担金	0		
負担金	0		
使用料	0		
手数料	0		
財産収入	0		
寄付金	0		
繰入金	0		
贈収金	0		
その他	0		

農063	項目名	林業労働者福祉向上推進事業費補助金																									
主要な施策	林業労働者福祉向上推進事業費	ページ	35																								
年度	H24	所 属 名 農林水産部 林務水産課																									
会計名	事業の概要																										
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-20-3235																										
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101																										
項 林産業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P178（農061）																										
目 林業総務費	【事業の概要】 森林整備の担い手である林業労働者を育成確保するため（財）鳥取県林業担い手育成財団が実施する林業労働者年金掛金助成事業（林業労働者の共済年金掛金の一部助成）に要する経費を助成する。																										
(単位:千円)	【事業の成果】 事業主体 (財)鳥取県林業担い手育成財団 事業費 1,076千円 負担区分 市町村 4/10 (県 4/10) (林業団体等 2/10)																										
当初予算額 1,201	【今後の課題・方向性】 当該事業により林業事業体における雇用環境が整備され、その結果林業労働者の福祉向上と労働条件の改善等が図られている。 当該事業を推進することで、新たな林業労働者の確保及び異業種の林業分野への参入が促進されるものと考えため、今後も県と連携し、継続して支援を行う。																										
補正予算額 0	【参考】																										
予算流・充用額 0	前年度決算額 1,110																										
最終予算額 1,201	評価結果 当該事業は新規雇用の促進に寄与しているため、今後も引き続き支援を行っていく。																										
本年度決算額 1,075	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>贈収金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>			その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	贈収金	0	その他	0				
その他財源の内訳																											
分担金	0																										
負担金	0																										
使用料	0																										
手数料	0																										
財産収入	0																										
寄付金	0																										
繰入金	0																										
贈収金	0																										
その他	0																										
<table border="1"> <tr> <th>区 分</th> <th>決算額</th> </tr> <tr> <td>国・県支出金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>1,075</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,075</td> </tr> </table>	区 分	決算額	国・県支出金	0	地方債	0	その他	0	一般財源	1,075	計	1,075	<table border="1"> <tr> <th>財源内訳</th> <th>決算額</th> </tr> <tr> <td>国・県支出金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>1,075</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>1,075</td> </tr> </table>			財源内訳	決算額	国・県支出金	0	地方債	0	その他	0	一般財源	1,075	計	1,075
区 分	決算額																										
国・県支出金	0																										
地方債	0																										
その他	0																										
一般財源	1,075																										
計	1,075																										
財源内訳	決算額																										
国・県支出金	0																										
地方債	0																										
その他	0																										
一般財源	1,075																										
計	1,075																										

農064	項目名	とっとり出合いの森施設管理費																									
主要な施策	とっとり出合いの森施設管理費	ページ	35																								
年度	H24	所 属 名 農林水産部 林務水産課																									
会計名	事業の概要																										
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-20-3235																										
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101																										
項 林産業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 9月補正予算・P30（農012）																										
目 林業総務費	【事業の概要】 とっとり出合いの森の管理運営に関し、指定管理者の能力を活用しつつ、サービス及び効率の向上を図る。																										
(単位:千円)	【事業の成果】 施設の維持管理運営（指定管理者） 来園者数 平成24年度 107,062人																										
当初予算額 8,386	【今後の課題・方向性】 当該施設は市民に森林とのふれあいの場を提供し、自然観察、野外活動等を通じて森林に対する理解を深めるとともに、広く市民の保健及び休養に視することを目的に鳥取県と共同で管理運営を行っているもの。今後も適正な施設管理を実施し、利用者の安全確保に努めるとともに、指定管理者と協議しながら利用者数の増加を図っていく。																										
補正予算額 796	【参考】																										
予算流・充用額 0	前年度決算額 7,952																										
最終予算額 9,182	評価結果 今後も適正な施設管理を実施し、利用者の安全確保に努めるとともに、指定管理者と協議しながら利用者数の増加を図っていく。																										
本年度決算額 8,755	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>贈収金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>			その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	贈収金	0	その他	0				
その他財源の内訳																											
分担金	0																										
負担金	0																										
使用料	0																										
手数料	0																										
財産収入	0																										
寄付金	0																										
繰入金	0																										
贈収金	0																										
その他	0																										
<table border="1"> <tr> <th>区 分</th> <th>決算額</th> </tr> <tr> <td>国・県支出金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>8,755</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>8,755</td> </tr> </table>	区 分	決算額	国・県支出金	0	地方債	0	その他	0	一般財源	8,755	計	8,755	<table border="1"> <tr> <th>財源内訳</th> <th>決算額</th> </tr> <tr> <td>国・県支出金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>8,755</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>8,755</td> </tr> </table>			財源内訳	決算額	国・県支出金	0	地方債	0	その他	0	一般財源	8,755	計	8,755
区 分	決算額																										
国・県支出金	0																										
地方債	0																										
その他	0																										
一般財源	8,755																										
計	8,755																										
財源内訳	決算額																										
国・県支出金	0																										
地方債	0																										
その他	0																										
一般財源	8,755																										
計	8,755																										

農065	項目名	林業労働者雇用条件改善事業費補助金	
主要な施策	林業労働者雇用条件改善事業費	ページ	36
年度	H24	所 属 名 農林水産部 林務水産課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-20-3235		
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101		
項 林産業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P178（農062）		
目 林業総務費	【事業の概要】 林業事業者が雇用する林業労働者の雇用条件の改善に努め、担い手育成を促進するため、雇用開始から5年目までの市内在住の林業労働者に係る健康保険、厚生年金（農林年金）の事業主負担に対し経費の一部を助成する。		
(単位:千円)	【事業の成果】 対象事業体 鳥取県東部森林組合、八頭中央森林組合、西日本産商(株)、大和森林(株) 補助対象者 26人 補助対象事業費 7,939千円 補助率 県 1/4 市 1/4 (事業主体 1/2) 鳥取県森林整備担い手育成対策事業費補助金交付要綱に基づき実施		
当初予算額 4,931	【今後の課題・方向性】 雇用条件の改善により、安心して働ける労働環境の向上を図ることで、新規就業者の新規参入とその定着が図られ、持続的な森林施業体制の強化が進められている。今後も県と連携し、継続して支援を行う。		
補正予算額 △130	【事業の成果】 対象事業体 鳥取県東部森林組合、八頭中央森林組合、西日本産商(株)、大和森林(株) 補助対象者 26人 補助対象事業費 7,939千円 補助率 県 1/4 市 1/4 (事業主体 1/2) 鳥取県森林整備担い手育成対策事業費補助金交付要綱に基づき実施		
予算流・充用額 0	【今後の課題・方向性】 雇用条件の改善により、安心して働ける労働環境の向上を図ることで、新規就業者の新規参入とその定着が図られ、持続的な森林施業体制の強化が進められている。今後も県と連携し、継続して支援を行う。		
最終予算額 4,801	【事業の成果】 対象事業体 鳥取県東部森林組合、八頭中央森林組合、西日本産商(株)、大和森林(株) 補助対象者 26人 補助対象事業費 7,939千円 補助率 県 1/4 市 1/4 (事業主体 1/2) 鳥取県森林整備担い手育成対策事業費補助金交付要綱に基づき実施		
本年度決算額 3,970	【今後の課題・方向性】 雇用条件の改善により、安心して働ける労働環境の向上を図ることで、新規就業者の新規参入とその定着が図られ、持続的な森林施業体制の強化が進められている。今後も県と連携し、継続して支援を行う。		
区分 決算額	【事業の成果】 対象事業体 鳥取県東部森林組合、八頭中央森林組合、西日本産商(株)、大和森林(株) 補助対象者 26人 補助対象事業費 7,939千円 補助率 県 1/4 市 1/4 (事業主体 1/2) 鳥取県森林整備担い手育成対策事業費補助金交付要綱に基づき実施		
財源内訳	【今後の課題・方向性】 雇用条件の改善により、安心して働ける労働環境の向上を図ることで、新規就業者の新規参入とその定着が図られ、持続的な森林施業体制の強化が進められている。今後も県と連携し、継続して支援を行う。		
国・県支出金 1,985	【事業の成果】 対象事業体 鳥取県東部森林組合、八頭中央森林組合、西日本産商(株)、大和森林(株) 補助対象者 26人 補助対象事業費 7,939千円 補助率 県 1/4 市 1/4 (事業主体 1/2) 鳥取県森林整備担い手育成対策事業費補助金交付要綱に基づき実施		
地方債 0	【今後の課題・方向性】 雇用条件の改善により、安心して働ける労働環境の向上を図ることで、新規就業者の新規参入とその定着が図られ、持続的な森林施業体制の強化が進められている。今後も県と連携し、継続して支援を行う。		
その他 0	【事業の成果】 対象事業体 鳥取県東部森林組合、八頭中央森林組合、西日本産商(株)、大和森林(株) 補助対象者 26人 補助対象事業費 7,939千円 補助率 県 1/4 市 1/4 (事業主体 1/2) 鳥取県森林整備担い手育成対策事業費補助金交付要綱に基づき実施		
一般財源 1,985	【今後の課題・方向性】 雇用条件の改善により、安心して働ける労働環境の向上を図ることで、新規就業者の新規参入とその定着が図られ、持続的な森林施業体制の強化が進められている。今後も県と連携し、継続して支援を行う。		
計 3,970	【事業の成果】 対象事業体 鳥取県東部森林組合、八頭中央森林組合、西日本産商(株)、大和森林(株) 補助対象者 26人 補助対象事業費 7,939千円 補助率 県 1/4 市 1/4 (事業主体 1/2) 鳥取県森林整備担い手育成対策事業費補助金交付要綱に基づき実施		
(参考)	【今後の課題・方向性】 雇用条件の改善により、安心して働ける労働環境の向上を図ることで、新規就業者の新規参入とその定着が図られ、持続的な森林施業体制の強化が進められている。今後も県と連携し、継続して支援を行う。		
前年度決算額 4,496	【事業の成果】 対象事業体 鳥取県東部森林組合、八頭中央森林組合、西日本産商(株)、大和森林(株) 補助対象者 26人 補助対象事業費 7,939千円 補助率 県 1/4 市 1/4 (事業主体 1/2) 鳥取県森林整備担い手育成対策事業費補助金交付要綱に基づき実施		
評価結果	当該事業は林業事業者の経営の安定と森林整備の促進に寄与しているため、今後も引き続き支援を行っていく。		

農066	項目名	森づくり市民活動支援事業費	
主要な施策	森づくり市民活動支援事業費	ページ	35
年度	H24	所 属 名 農林水産部 林務水産課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-20-3235		
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101		
項 林産業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P179（農063）		
目 林業総務費	【事業の概要】 水源地域における森林保全活動に対し補助金を交付することにより、市民一人ひとりがそれぞれの立場で森林づくりに参加する気持ちを醸成し、森づくりや水源涵養に対する意識の高揚と啓発を図る。		
(単位:千円)	【事業の成果】 平成24年度 3団体 656千円		
当初予算額 750	【今後の課題・方向性】 水源涵養に対する市民意識を高めるために活動の活性化を図っていくことが課題である。今後も希望する団体があれば、活動状況等審査の上、支援を行っていく。		
補正予算額 △94	【今後の課題・方向性】 水源涵養に対する市民意識を高めるために活動の活性化を図っていくことが課題である。今後も希望する団体があれば、活動状況等審査の上、支援を行っていく。		
予算流・充用額 0	【今後の課題・方向性】 水源涵養に対する市民意識を高めるために活動の活性化を図っていくことが課題である。今後も希望する団体があれば、活動状況等審査の上、支援を行っていく。		
最終予算額 656	【今後の課題・方向性】 水源涵養に対する市民意識を高めるために活動の活性化を図っていくことが課題である。今後も希望する団体があれば、活動状況等審査の上、支援を行っていく。		
本年度決算額 656	【今後の課題・方向性】 水源涵養に対する市民意識を高めるために活動の活性化を図っていくことが課題である。今後も希望する団体があれば、活動状況等審査の上、支援を行っていく。		
区分 決算額	【今後の課題・方向性】 水源涵養に対する市民意識を高めるために活動の活性化を図っていくことが課題である。今後も希望する団体があれば、活動状況等審査の上、支援を行っていく。		
財源内訳	【今後の課題・方向性】 水源涵養に対する市民意識を高めるために活動の活性化を図っていくことが課題である。今後も希望する団体があれば、活動状況等審査の上、支援を行っていく。		
国・県支出金 0	【今後の課題・方向性】 水源涵養に対する市民意識を高めるために活動の活性化を図っていくことが課題である。今後も希望する団体があれば、活動状況等審査の上、支援を行っていく。		
地方債 0	【今後の課題・方向性】 水源涵養に対する市民意識を高めるために活動の活性化を図っていくことが課題である。今後も希望する団体があれば、活動状況等審査の上、支援を行っていく。		
その他 0	【今後の課題・方向性】 水源涵養に対する市民意識を高めるために活動の活性化を図っていくことが課題である。今後も希望する団体があれば、活動状況等審査の上、支援を行っていく。		
一般財源 656	【今後の課題・方向性】 水源涵養に対する市民意識を高めるために活動の活性化を図っていくことが課題である。今後も希望する団体があれば、活動状況等審査の上、支援を行っていく。		
計 656	【今後の課題・方向性】 水源涵養に対する市民意識を高めるために活動の活性化を図っていくことが課題である。今後も希望する団体があれば、活動状況等審査の上、支援を行っていく。		
(参考)	【今後の課題・方向性】 水源涵養に対する市民意識を高めるために活動の活性化を図っていくことが課題である。今後も希望する団体があれば、活動状況等審査の上、支援を行っていく。		
前年度決算額 427	【今後の課題・方向性】 水源涵養に対する市民意識を高めるために活動の活性化を図っていくことが課題である。今後も希望する団体があれば、活動状況等審査の上、支援を行っていく。		
評価結果	希望する団体があれば、活動状況等審査の上、対象団体として支援していきたい。		

農067	項目名	三滝管理棟維持管理費																				
主要な施策	三滝管理棟維持管理費	ページ	35	所 属 名																		
年度	H24	農林水産部 林務水産課																				
会計名	事業の概要																					
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-20-3235																					
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101																					
項 林産業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 9月補正予算・P31（農013）																					
目 林業総務費	【事業の概要】 三滝林間施設の管理運営に関し、指定管理者の能力を活用しつつ、サービスおよび効率の向上を図る。																					
(単位:千円)	【事業の成果】 利用者数 平成24年度 3,303人(4月~11月の8月間)																					
当初予算額	5,476	【今後の課題・方向性】 豪雪の年は積雪による被害を受けやすく、利用客数・利用料等が安定しないが、指定管理者の自主事業等による努力により安定した経営となりつつある。今後も適正な施設管理を実施し、利用者の安全確保に努めるとともに、指定管理者と協議しながら利用者数の増加を図っていく。																				
補正予算額	240	<table border="1"> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>贈収入</td> <td>410</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>			分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	贈収入	410	その他	0
分担金	0																					
負担金	0																					
使用料	0																					
手数料	0																					
財産収入	0																					
寄付金	0																					
繰入金	0																					
贈収入	410																					
その他	0																					
予算流・充用額	0																					
最終予算額	5,716	<table border="1"> <tr> <td>国・県支出金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>410</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>5,300</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>5,710</td> </tr> </table>			国・県支出金	0	地方債	0	その他	410	一般財源	5,300	計	5,710								
国・県支出金	0																					
地方債	0																					
その他	410																					
一般財源	5,300																					
計	5,710																					
本年度決算額	5,710	<table border="1"> <tr> <td>区 分</td> <td>決算額</td> </tr> <tr> <td>国・県支出金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>410</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>5,300</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>5,710</td> </tr> </table>			区 分	決算額	国・県支出金	0	地方債	0	その他	410	一般財源	5,300	計	5,710						
区 分	決算額																					
国・県支出金	0																					
地方債	0																					
その他	410																					
一般財源	5,300																					
計	5,710																					
(参考)	<table border="1"> <tr> <td>評価結果</td> <td>今後も適正な施設管理を実施し、利用者の安全確保に努めるとともに、指定管理者と協議しながら利用者数の増加を図っていく。</td> </tr> </table>				評価結果	今後も適正な施設管理を実施し、利用者の安全確保に努めるとともに、指定管理者と協議しながら利用者数の増加を図っていく。																
評価結果	今後も適正な施設管理を実施し、利用者の安全確保に努めるとともに、指定管理者と協議しながら利用者数の増加を図っていく。																					
前年度決算額	3,268																					

農068	項目名	炭やき体験の館、石堂の森管理費																				
主要な施策	炭やき体験の館、石堂の森管理費	ページ	35	所 属 名																		
年度	H24	農林水産部 林務水産課																				
会計名	事業の概要																					
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-20-3235																					
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101																					
項 林産業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 12月補正予算・P22（農006）																					
目 林業総務費	【事業の概要】 国府町石堂の森の清掃、草刈り等を委託し、環境を整備する。																					
(単位:千円)	【事業の成果】 岡益石堂の森管理委託(年10回 清掃、年1回 草刈り)																					
当初予算額	446	【今後の課題・方向性】 石堂の森は継続して実施。 炭やき体験の館について、地元への無償譲渡の協議を継続。																				
補正予算額	215	<table border="1"> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>3</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>贈収入</td> <td>214</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>			分担金	0	負担金	0	使用料	3	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	贈収入	214	その他	0
分担金	0																					
負担金	0																					
使用料	3																					
手数料	0																					
財産収入	0																					
寄付金	0																					
繰入金	0																					
贈収入	214																					
その他	0																					
予算流・充用額	0																					
最終予算額	661	<table border="1"> <tr> <td>区 分</td> <td>決算額</td> </tr> <tr> <td>国・県支出金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>217</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>443</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>660</td> </tr> </table>			区 分	決算額	国・県支出金	0	地方債	0	その他	217	一般財源	443	計	660						
区 分	決算額																					
国・県支出金	0																					
地方債	0																					
その他	217																					
一般財源	443																					
計	660																					
本年度決算額	660	<table border="1"> <tr> <td>区 分</td> <td>決算額</td> </tr> <tr> <td>国・県支出金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>217</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>443</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>660</td> </tr> </table>			区 分	決算額	国・県支出金	0	地方債	0	その他	217	一般財源	443	計	660						
区 分	決算額																					
国・県支出金	0																					
地方債	0																					
その他	217																					
一般財源	443																					
計	660																					
(参考)	<table border="1"> <tr> <td>評価結果</td> <td>平成23年10月、炭やき体験の館の地元への無償譲渡について意向確認したところ、現状では受け取れないと回答があった。引き続き無償譲渡の協議を継続する。</td> </tr> </table>				評価結果	平成23年10月、炭やき体験の館の地元への無償譲渡について意向確認したところ、現状では受け取れないと回答があった。引き続き無償譲渡の協議を継続する。																
評価結果	平成23年10月、炭やき体験の館の地元への無償譲渡について意向確認したところ、現状では受け取れないと回答があった。引き続き無償譲渡の協議を継続する。																					
前年度決算額	96																					

農069	項目名	既設林道維持管理事業費																					
主要な施策	既設林道維持管理事業費	ページ	36																				
年度	H24	所 属 名 農林水産部 林務水産課																					
会計名	事業の概要																						
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-20-3235																						
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101																						
項 林産業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P179（農064）																						
目 林業振興費	【事業の概要】 林道を安全に通行し、維持管理を容易にできるようにするため、点検、除草、修繕、改良、舗装などの維持管理及び改良を行うもの。																						
(単位:千円)	【事業の成果】 既設林道の適正な維持管理を行う。 ＜事業の内容＞ 林道の舗装修繕及び除草、林道山葵谷線の舗装改良工事、林道の原材料支給																						
当初予算額 10,250	【今後の課題・方向性】 適正な維持管理に努める。施設の老朽化に伴う修繕箇所が増加しており、施設改修の必要がある。施設改良も視野に入れ、効率的な管理を目指す。																						
補正予算額 0	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">其他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>428</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>贈収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>			其他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	428	寄付金	0	繰入金	0	贈収入	0	その他	0
其他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	428																						
寄付金	0																						
繰入金	0																						
贈収入	0																						
その他	0																						
予算流・充用額 0	<table border="1"> <tr> <th>区 分</th> <th>決算額</th> </tr> <tr> <td>国・県支出金</td> <td>1,789</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>900</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>428</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>5,784</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>8,901</td> </tr> </table>			区 分	決算額	国・県支出金	1,789	地方債	900	その他	428	一般財源	5,784	計	8,901								
区 分	決算額																						
国・県支出金	1,789																						
地方債	900																						
その他	428																						
一般財源	5,784																						
計	8,901																						
最終予算額 10,250	<table border="1"> <tr> <th>財源内訳</th> <th>決算額</th> </tr> <tr> <td>国・県支出金</td> <td>1,789</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>900</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>428</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>5,784</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>8,901</td> </tr> </table>			財源内訳	決算額	国・県支出金	1,789	地方債	900	その他	428	一般財源	5,784	計	8,901								
財源内訳	決算額																						
国・県支出金	1,789																						
地方債	900																						
その他	428																						
一般財源	5,784																						
計	8,901																						
本年度決算額 8,901	<table border="1"> <tr> <th>区 分</th> <th>決算額</th> </tr> <tr> <td>国・県支出金</td> <td>1,789</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>900</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>428</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>5,784</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>8,901</td> </tr> </table>			区 分	決算額	国・県支出金	1,789	地方債	900	その他	428	一般財源	5,784	計	8,901								
区 分	決算額																						
国・県支出金	1,789																						
地方債	900																						
その他	428																						
一般財源	5,784																						
計	8,901																						
(参考)	<table border="1"> <tr> <th>評価結果</th> <td>林道事業の維持管理は安全・安心な通行を市民に提供することを目指して実施していく。その中で既存の施設については委託等を進め、維持管理費の低減化を図る。今後の施設整備に当っては維持管理のコスト、労力共に低減化できるよう適切な計画を策定し事業を進めていく。</td> </tr> </table>			評価結果	林道事業の維持管理は安全・安心な通行を市民に提供することを目指して実施していく。その中で既存の施設については委託等を進め、維持管理費の低減化を図る。今後の施設整備に当っては維持管理のコスト、労力共に低減化できるよう適切な計画を策定し事業を進めていく。																		
評価結果	林道事業の維持管理は安全・安心な通行を市民に提供することを目指して実施していく。その中で既存の施設については委託等を進め、維持管理費の低減化を図る。今後の施設整備に当っては維持管理のコスト、労力共に低減化できるよう適切な計画を策定し事業を進めていく。																						
前年度決算額 9,234	<table border="1"> <tr> <th>区 分</th> <th>決算額</th> </tr> <tr> <td>国・県支出金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>3,400</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>4,070</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>7,470</td> </tr> </table>			区 分	決算額	国・県支出金	0	地方債	3,400	その他	0	一般財源	4,070	計	7,470								
区 分	決算額																						
国・県支出金	0																						
地方債	3,400																						
その他	0																						
一般財源	4,070																						
計	7,470																						

農070	項目名	林道改良事業費																					
主要な施策	既設林道維持管理事業費	ページ	36																				
年度	H24	所 属 名 農林水産部 林務水産課																					
会計名	事業の概要																						
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-20-3235																						
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101																						
項 林産業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 9月補正予算・P31（農014）																						
目 林業振興費	【事業の概要】 林道高路岩坪線の拡幅改良 L=110m																						
(単位:千円)	【事業の成果】 林道の改良を行い、林道を安全に通行できるようにする。 ＜事業の内容＞ 林道高路岩坪線の拡幅改良事業 事業費 工事請負費 23,000千円 負担区分 国（50%） 県（5%）																						
当初予算額 0	【今後の課題・方向性】 継続して事業を実施する。平成27年度の完成を目指して、コスト削減を図りながら、早期の完成を図る。																						
補正予算額 23,000	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">其他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>贈収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>			其他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	贈収入	0	その他	0
其他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	0																						
贈収入	0																						
その他	0																						
予算流・充用額 0	<table border="1"> <tr> <th>区 分</th> <th>決算額</th> </tr> <tr> <td>国・県支出金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>3,400</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>4,070</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>7,470</td> </tr> </table>			区 分	決算額	国・県支出金	0	地方債	3,400	その他	0	一般財源	4,070	計	7,470								
区 分	決算額																						
国・県支出金	0																						
地方債	3,400																						
その他	0																						
一般財源	4,070																						
計	7,470																						
最終予算額 23,000	<table border="1"> <tr> <th>財源内訳</th> <th>決算額</th> </tr> <tr> <td>国・県支出金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>3,400</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>4,070</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>7,470</td> </tr> </table>			財源内訳	決算額	国・県支出金	0	地方債	3,400	その他	0	一般財源	4,070	計	7,470								
財源内訳	決算額																						
国・県支出金	0																						
地方債	3,400																						
その他	0																						
一般財源	4,070																						
計	7,470																						
本年度決算額 7,470	<table border="1"> <tr> <th>区 分</th> <th>決算額</th> </tr> <tr> <td>国・県支出金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>3,400</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>4,070</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>7,470</td> </tr> </table>			区 分	決算額	国・県支出金	0	地方債	3,400	その他	0	一般財源	4,070	計	7,470								
区 分	決算額																						
国・県支出金	0																						
地方債	3,400																						
その他	0																						
一般財源	4,070																						
計	7,470																						
(参考)	<table border="1"> <tr> <th>評価結果</th> <td>林道を安全に通行し、維持管理を容易にできるようにするため、継続して実施する。</td> </tr> </table>			評価結果	林道を安全に通行し、維持管理を容易にできるようにするため、継続して実施する。																		
評価結果	林道を安全に通行し、維持管理を容易にできるようにするため、継続して実施する。																						
前年度決算額 0	<table border="1"> <tr> <th>区 分</th> <th>決算額</th> </tr> <tr> <td>国・県支出金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>3,400</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>4,070</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>7,470</td> </tr> </table>			区 分	決算額	国・県支出金	0	地方債	3,400	その他	0	一般財源	4,070	計	7,470								
区 分	決算額																						
国・県支出金	0																						
地方債	3,400																						
その他	0																						
一般財源	4,070																						
計	7,470																						

農071	項目名	造林事業費	
主要な施策	造林事業費	ページ	36
年度	H24	所 属 名	
		農林水産部 林務水産課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-20-3235		
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101		
項 林産業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P180（農065）		
目 林業振興費	【事業の概要】 適正な森林造成計画を計画的かつ効果的に推進するために必要な補助金を交付し、もって本市林業の振興を図る。		
(単位:千円)	【事業の成果】 間伐 143.98ha 竹林樹種転換 42.25ha クヌギ造林 22.35ha 合計 208.58ha		
当初予算額	19,623	【今後の課題・方向性】 森林組合等が森林経営計画に基づいて計画的に森林を整備するための間伐と、竹林林種転換を支援する。	
補正予算額	0		
予算流・充用額	0		
最終予算額	19,623	その他の財源の内訳	
本年度決算額	16,100	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	決算額		
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	6,000	
	その他	0	
	一般財源	10,100	
	計	16,100	
(参考)	評価結果	森林経営計画制度に基づいた計画的な森林整備を支援する。	
前年度決算額	8,379		

農072	項目名	間伐搬出支援事業費	
主要な施策	造林事業費	ページ	36
年度	H24	所 属 名	
		農林水産部 林務水産課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-20-3235		
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101		
項 林産業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P180（農066）、9月補正予算・P32（農015）、		
目 林業振興費	【事業の概要】 間伐施業の促進と間伐材の利用拡大を図るため、間伐材搬出支援を行う。		
(単位:千円)	【事業の成果】 間伐材搬出支援 21,327m3		
当初予算額	4,000	【今後の課題・方向性】 国の造林事業補助金制度の改正に伴い、間伐材搬出が必要となり今後事業量は増加する。県の間伐搬出促進事業補助金との調整を図りながら、単価改定の検討が必要と考える。	
補正予算額	16,578		
予算流・充用額	0		
最終予算額	20,578	その他の財源の内訳	
本年度決算額	19,272	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	決算額		
財源内訳	国・県支出金	0	
	地方債	0	
	その他	0	
	一般財源	19,272	
	計	19,272	
(参考)	評価結果	国の造林事業補助金制度の改正に伴い、間伐材搬出が必要となり今後事業量は増加する。県の間伐搬出促進事業補助金との調整を図りながら、単価改定の検討が必要と考える。	
前年度決算額	4,454		

農073	項目名	竹林整備事業費	
主要な施策	造林事業費	ページ	36
年度	H24	所 属 名	
		農林水産部 林務水産課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-20-3235		
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101		
項 林産業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P181（農067）		
目 林業振興費	【事業の概要】 拡大する竹対策として、鳥取県森林環境保全税を財源に竹林の抜き伐り等を実施し、竹林整備に取り組む。		
(単位:千円)	【事業の成果】 抜き伐り 5.12ha		
当初予算額	27,000	【今後の課題・方向性】 拡大する竹林について、整備要望が多いことから、森林環境保全税を活用し、優先順位の高い順に順次支援する。	
補正予算額	△ 8,756		
予算流・充用額	0		
最終予算額	18,244	その他財源の内訳	
本年度決算額	11,590	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	決算額		
財源内訳			
国・県支出金	10,946		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	644		
計	11,590		
(参考)		評価結果	
前年度決算額	7,855	森林環境保全税の趣旨に基づき県民全体で森林、竹林整備を実施するため、継続して竹林整備に取り組む。	

農074	項目名	単県斜面崩壊復旧事業費	
主要な施策	治山事業費	ページ	36
年度	H24	所 属 名	
		農林水産部 林務水産課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-20-3235		
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101		
項 林産業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P181（農068）		
目 林業振興費	【事業の概要】 国庫補助事業（治山事業及び急傾斜地崩壊対策事業）及び単県急傾斜地崩壊対策事業の対象とならない荒廃林地及び急傾斜地において復旧事業を行い公共施設、人家等を保全するもの。		
(単位:千円)	【事業の成果】 大雨等により崩落した山腹を復旧し、家屋等への被害を防止する。 〈事業の内容・実績〉 (事業内容) 斜面崩壊復旧工事 1 大畑 4,000千円（委託1,330千円、工事2,670千円） 2 吉岡 4,000千円（委託1,330千円、工事2,670千円） 3 蔵見 2,000千円（工事2,000千円） (実績) 平成21年度 6,000千円 平成22年度 17,657千円 平成23年度 22,422千円		
当初予算額	24,000	【今後の課題・方向性】 被災箇所を確認し、必要があれば緊急度に応じて復旧を行う。近年の異常気象を反映して、被災箇所が増加しており、県とも十分な連携を図りながら、安全・安心な治山事業の形成を目指す。	
補正予算額	163	※その他財源は分担金及び負担金（受益者負担金）	
予算流・充用額	0		
最終予算額	24,163	その他財源の内訳	
本年度決算額	10,566	分担金	0
		負担金	988
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	決算額		
財源内訳			
国・県支出金	4,446		
地方債	0		
その他	988		
一般財源	5,132		
計	10,566		
(参考)		評価結果	
前年度決算額	6,152	継続して実施。公共事業の対象にならないような、小規模な法面の崩壊が増加しており、事業の効果的な推進を目指していく。	

農075	項目名	森林整備地域活動支援交付金交付事業費																			
主要な施策	森林整備地域活動支援推進事業費	ページ	36																		
年度	H24	所 属 名 農林水産部 林務水産課																			
会計名	事業の概要																				
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-20-3235 【9次総の施策体系】5101 【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 6月補正予算・P14（農005） 【事業の概要】 森林の有する多面的機能が十分に発揮されるよう、森林経営計画の作成を通じた計画的かつ適切な森林整備の推進を図るため、森林整備地域活動支援交付金を交付し、「森林経営計画作成促進」、「作業路網の改良活動」などの地域における活動の確保を図るもの。 【事業の成果】 適切な森林整備の推進を通じて森林の有する多面的機能の発揮を図る観点から森林所有者等による施業の実施に不可欠な地域活動を支援する。 《事業内容・実績》 (事業内容) 作業路網の改良 ・小河内財産区(河原町) 1,140,680円 ・鳥取県造林公社 2,512,650円 計 3,653,330円 森林経営計画の作成 ・東部森林組合 4,320,000円 ・八頭森林組合 7,600,000円 計 11,920,000円 合 計 15,573,330円 (事業実績) H21年度 27,500千円 H22年度 29,194千円 H23年度 8,856千円 【今後の課題・方向性】 計画的かつ一体的な森林の施行の実施を目指し、国・県と連携し、経営計画作成を促進する。																				
款	農林水産業費	<table border="1"> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>贈収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	贈収入	0	その他	0
分担金	0																				
負担金	0																				
使用料	0																				
手数料	0																				
財産収入	0																				
寄付金	0																				
繰入金	0																				
贈収入	0																				
その他	0																				
項	林産業費																				
目	林業振興費																				
(単位:千円)																					
当初予算額	0																				
補正予算額	15,615																				
予算流・充用額	0																				
最終予算額	15,615																				
本年度決算額	15,573																				
区分	決算額	<table border="1"> <tr> <td>国・県支出金</td> <td>14,899</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>674</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>15,573</td> </tr> </table>		国・県支出金	14,899	地方債	0	その他	0	一般財源	674	計	15,573								
国・県支出金	14,899																				
地方債	0																				
その他	0																				
一般財源	674																				
計	15,573																				
財源内訳		<table border="1"> <tr> <td>国・県支出金</td> <td>14,899</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>674</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>15,573</td> </tr> </table>		国・県支出金	14,899	地方債	0	その他	0	一般財源	674	計	15,573								
国・県支出金	14,899																				
地方債	0																				
その他	0																				
一般財源	674																				
計	15,573																				
参考)		<table border="1"> <tr> <td>評価結果</td> <td>計画的かつ一体的な森林の施行の実施を目指し、国・県と連携し、経営計画作成を促進する。</td> </tr> </table>		評価結果	計画的かつ一体的な森林の施行の実施を目指し、国・県と連携し、経営計画作成を促進する。																
評価結果	計画的かつ一体的な森林の施行の実施を目指し、国・県と連携し、経営計画作成を促進する。																				
前年度決算額	8,856																				

農076	項目名	森づくり作業道整備事業費																			
主要な施策	森づくり作業道整備事業費	ページ	36																		
年度	H24	所 属 名 農林水産部 林務水産課																			
会計名	事業の概要																				
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-20-3235 【9次総の施策体系】5101 【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P182（農069） 【事業の概要】 国・県の作業道補助事業とあわせて、作業道整備事業に補助を行う。 【事業の成果】 40路線 34,042m 【今後の課題・方向性】 国・県と連携して間伐材の搬出を促進するため、継続して支援を行う。																				
款	農林水産業費	<table border="1"> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>贈収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	贈収入	0	その他	0
分担金	0																				
負担金	0																				
使用料	0																				
手数料	0																				
財産収入	0																				
寄付金	0																				
繰入金	0																				
贈収入	0																				
その他	0																				
項	林産業費																				
目	林業振興費																				
(単位:千円)																					
当初予算額	8,657																				
補正予算額	△2,000																				
予算流・充用額	0																				
最終予算額	6,657																				
本年度決算額	6,170																				
区分	決算額	<table border="1"> <tr> <td>国・県支出金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>6,170</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>6,170</td> </tr> </table>		国・県支出金	0	地方債	0	その他	0	一般財源	6,170	計	6,170								
国・県支出金	0																				
地方債	0																				
その他	0																				
一般財源	6,170																				
計	6,170																				
財源内訳		<table border="1"> <tr> <td>国・県支出金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>6,170</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>6,170</td> </tr> </table>		国・県支出金	0	地方債	0	その他	0	一般財源	6,170	計	6,170								
国・県支出金	0																				
地方債	0																				
その他	0																				
一般財源	6,170																				
計	6,170																				
参考)		<table border="1"> <tr> <td>評価結果</td> <td>国・県と連携して間伐材の搬出を促進するため、継続して支援を行う。</td> </tr> </table>		評価結果	国・県と連携して間伐材の搬出を促進するため、継続して支援を行う。																
評価結果	国・県と連携して間伐材の搬出を促進するため、継続して支援を行う。																				
前年度決算額	5,256																				

農077	項目名	県営林道整備事業費	
主要な施策	県営林道整備事業費	ページ	36
年度	H24	所 属 名	
		農林水産部 林務水産課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-20-3235		
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101		
項 林産業費	【事業の概要】 県営事業として桑原河内線、籠山線工事を実施中。		
目 林業振興費	【事業の成果】 県営事業で施行する林道開設事業の実施に伴う事業費の負担をする。 《事業の内容・実績》 工事負担金 1 桑原河内線 1,303,500円 小畑工区 法面 2 籠山線 344,934円 山口工区 法面		
(単位:千円)	【今後の課題・方向性】 鳥取県と連携して、事業の早期発現を目指す。		
当初予算額	7,200		
補正予算額	△ 3,105		
予算流・充用額	0		
最終予算額	4,095	その他財源の内訳	
本年度決算額	1,648	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区 分	決算額		
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	1,600		
その他	0		
一般財源	48		
計	1,648		
(参考)		評価結果	鳥取県と連携して、事業の早期発現を目指す。
前年度決算額	1,666		

農078	項目名	森林整備加速化・林業再生事業費補助金	
主要な施策	森林整備加速化・林業再生事業費	ページ	36
年度	H24	所 属 名	
		農林水産部 林務水産課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-20-3235		
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101		
項 林産業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 6月補正予算・P14 (農006)、9月補正予算・P32 (農016)、 12月補正予算・P23 (農007)		
目 林業振興費	【事業の概要】 東日本大震災の被災地へ県産材を供給することを目的とし、早期復興を図る。		
(単位:千円)	【事業の成果】 ○林業機械導入 事業費 9,945千円 補助金 9,945千円		
当初予算額	0	【今後の課題・方向性】 間伐を促進し、木材自給率50%を目指す。	
補正予算額	85,074		
予算流・充用額	0		
最終予算額	85,074	その他財源の内訳	
本年度決算額	9,945	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区 分	決算額		
財源内訳			
国・県支出金	9,945		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	0		
計	9,945		
(参考)		評価結果	間伐を促進し、木材自給率50%を目指す。
前年度決算額	107,756		

農079	項目名	淡水魚放流事業費	
主要な施策	淡水魚放流事業費	ページ	36
年度	H24	所 属 名	
		農林水産部 林務水産課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】水産漁港係 0857-20-3236		
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101		
項 水産業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次		
目 水産業振興費	当初予算・P182（農070）、9月補正予算・P33（農017）、		
(単位:千円)	【事業の概要】 水産資源の再生産及び鮎の天然遡上の増大を図る事業に対して助成する。		
当初予算額	13,182	【事業の成果】 鮎稚魚放流 4,220kg	
補正予算額	△230	【今後の課題・方向性】 天然遡上量を増大させ、資源の維持増殖を図るため継続して実施する。	
予算流・充用額	0		
最終予算額	12,952	その他財源の内訳	
本年度決算額	12,952	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	6,345
		その他	0
区分	決算額		
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	6,345		
一般財源	6,607		
計	12,952		
(参考)	評価結果	千代川流域の内水面漁業振興、地域振興のため事業を継続する。 今後、魚道改修により天然遡上が回復すれば、漁協と縮小に向けた協議を進める。	
前年度決算額	13,142		

農080	項目名	沿岸漁場整備開発事業費	
主要な施策	沿岸漁場整備開発事業費	ページ	36
年度	H24	所 属 名	
		農林水産部 林務水産課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】水産漁港係 0857-20-3236		
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101		
項 水産業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次		
目 水産業振興費	当初予算・P183（農071）		
(単位:千円)	【事業の概要】 漁業者が自ら整備する、沿岸漁場、養殖場等について原材料の一部を支給することにより、沿岸漁場の開発を促進する。		
当初予算額	200	【事業の成果】 房島に造成された岩のり養殖場の補修のため原材料を支給した。 事業量 セメント50袋	
補正予算額	0	【今後の課題・方向性】 沿岸漁場整備のため、今後も事業を継続する。	
予算流・充用額	0		
最終予算額	200	その他財源の内訳	
本年度決算額	33	分担金	0
		負担金	0
		使用料	0
		手数料	0
		財産収入	0
		寄付金	0
		繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
区分	決算額		
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	33		
計	33		
(参考)	評価結果	沿岸漁場整備の為、今後も事業を継続する。	
前年度決算額	33		

農081	項目名	鳥取かにフェスタ開催事業費補助金		
主要な施策	鳥取かにフェスタ開催事業費	ページ	36	所 属 名
年度	H24	農林水産部 林務水産課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】水産漁港係 0857-20-3236			
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101			
項 水産業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P183（農072）			
目 水産業振興費	【事業の概要】 毎年、松葉がに漁が解禁する11月に開催される「鳥取かにフェスタ」を支援し、松葉がにの産地としての鳥取市をPRし、併せて地元水産業の振興を図る。			
(単位:千円)	【事業の成果】 平成24年11月17日に開催された鳥取かにフェスタへ助成 (来場者数 約9,000人)			
当初予算額	720	【今後の課題・方向性】 賀露西浜地区のイベントとして定着した「鳥取かにフェスタ」への助成を継続する。		
補正予算額	0	その他の課題・方向性		
予算流・充用額	0	賀露西浜地区のイベントとして定着した「鳥取かにフェスタ」への助成を継続する。		
最終予算額	720	評価結果		
本年度決算額	720	賀露西浜地区のイベントとして定着した「鳥取かにフェスタ」の助成を継続する。		
区分	決算額	評価結果		
財源内訳		賀露西浜地区のイベントとして定着した「鳥取かにフェスタ」の助成を継続する。		
国・県支出金	0	賀露西浜地区のイベントとして定着した「鳥取かにフェスタ」の助成を継続する。		
地方債	0	賀露西浜地区のイベントとして定着した「鳥取かにフェスタ」の助成を継続する。		
その他	0	賀露西浜地区のイベントとして定着した「鳥取かにフェスタ」の助成を継続する。		
一般財源	720	賀露西浜地区のイベントとして定着した「鳥取かにフェスタ」の助成を継続する。		
計	720	賀露西浜地区のイベントとして定着した「鳥取かにフェスタ」の助成を継続する。		
(参考)	評価結果			
前年度決算額	720	賀露西浜地区のイベントとして定着した「鳥取かにフェスタ」の助成を継続する。		

農082	項目名	漁業経営能力向上促進事業費		
主要な施策	漁業経営能力向上促進事業費	ページ	36	所 属 名
年度	H24	農林水産部 林務水産課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】水産漁港係 0857-20-3236			
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101			
項 水産業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P184（農073）			
目 水産業振興費	【事業の概要】 魚価低迷、燃油・資材高騰等厳しい経営環境の中で、将来にわたって自立的・安定的な漁業経営を目指し、県の制度と連携し漁業経営の効率化を図る漁業者を育成する。			
(単位:千円)	【事業の成果】 漁業経営改善計画を策定した漁業者の機関換装に助成 2件			
当初予算額	1,167	【今後の課題・方向性】 燃油高騰対策として、県と連携しながら事業を実施する。		
補正予算額	0	その他の課題・方向性		
予算流・充用額	0	燃油高騰対策として、県と連携しながら事業を実施する。		
最終予算額	1,167	評価結果		
本年度決算額	1,167	漁業者の自立的・安定的な漁業経営を支援するため、県と連携し、平成25年度完了を目的に事業を実施する。		
区分	決算額	評価結果		
財源内訳		漁業者の自立的・安定的な漁業経営を支援するため、県と連携し、平成25年度完了を目的に事業を実施する。		
国・県支出金	0	漁業者の自立的・安定的な漁業経営を支援するため、県と連携し、平成25年度完了を目的に事業を実施する。		
地方債	0	漁業者の自立的・安定的な漁業経営を支援するため、県と連携し、平成25年度完了を目的に事業を実施する。		
その他	0	漁業者の自立的・安定的な漁業経営を支援するため、県と連携し、平成25年度完了を目的に事業を実施する。		
一般財源	1,167	漁業者の自立的・安定的な漁業経営を支援するため、県と連携し、平成25年度完了を目的に事業を実施する。		
計	1,167	漁業者の自立的・安定的な漁業経営を支援するため、県と連携し、平成25年度完了を目的に事業を実施する。		
(参考)	評価結果			
前年度決算額	3,141	漁業者の自立的・安定的な漁業経営を支援するため、県と連携し、平成25年度完了を目的に事業を実施する。		

農083	項目名	漁業経営開始円滑化事業費	
主要な施策	漁業経営開始円滑化事業費	ページ	36
年度	H24	所 属 名 農林水産部 林務水産課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】水産漁港係 0857-20-3236		
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101		
項 水産業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P184（農074）		
目 水産業振興費	【事業の概要】 漁業就業時に必要な漁船等の初期投資に対して助成することにより漁業の新規就労者の円滑な確保を実現する。		
(単位:千円)	【事業の成果】 新規就業者の漁船建造 1隻		
当初予算額 16,667	【今後の課題・方向性】 新規漁業就労者を確保を図るため、事業を継続する。		
補正予算額 △1,111			
予算流・充用額 0			
最終予算額 15,556	【参考】		
本年度決算額 15,556	前年度決算額 15,048		
区分	決算額	評価結果	
国・県支出金	11,667	新規漁業者の負担軽減を図るため、継続して実施する。	
地方債	0		
その他	0		
一般財源	3,889		
計	15,556		
財源内訳		評価結果	
分担金	0	新規漁業者の負担軽減を図るため、継続して実施する。	
負担金	0		
使用料	0		
手数料	0		
財産収入	0		
寄付金	0		
繰入金	0		
贈収金	0		
その他	0		

農084	項目名	漁船リース推進事業費	
主要な施策	漁船リース推進事業費	ページ	36
年度	H24	所 属 名 農林水産部 林務水産課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】水産漁港係 0857-20-3236 (債)		
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101		
項 水産業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P185（農075）、9月補正予算・P33（農018）		
目 水産業振興費	【事業の概要】 沖合底びき網船建造時のリース料の付加料部分に対する助成を行い、沖合底引き網漁業の存続を図る。 沖合底引き網船への改良網導入支援を実施しズワイガニの漁期外の混獲を避け、資源保護を図る。		
(単位:千円)	【事業の成果】 沖合底びき網船のリース料の付加料部分を補助 沖合底びき網船 2隻 沖合底曳網船の改良網導入経費を支援 沖合底びき網船 5隻		
当初予算額 9,024	【今後の課題・方向性】 沖合底びき網漁業の衰退を防止し本市の漁業振興を図るため事業を継続する。		
補正予算額 900			
予算流・充用額 0			
最終予算額 9,924	【参考】		
本年度決算額 9,773	前年度決算額 6,963		
区分	決算額	評価結果	
国・県支出金	5,388	沖合底曳網漁業の衰退を防止し、本市の漁業振興を図るため、事業を継続する。	
地方債	0		
その他	0		
一般財源	4,385		
計	9,773		
財源内訳		評価結果	
分担金	0	沖合底曳網漁業の衰退を防止し、本市の漁業振興を図るため、事業を継続する。	
負担金	0		
使用料	0		
手数料	0		
財産収入	0		
寄付金	0		
繰入金	0		
贈収金	0		
その他	0		

農085	項目名	福部町漁港施設維持管理事業費		
主要な施策	漁港施設維持管理事業費	ページ	36	所 属 名
年度	H24	農林水産部 林務水産課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】水産漁港係 0857-20-3236			
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101			
項 水産業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P185（農076）			
目 水産業振興費	【事業の概要】 漁港及び関連施設の維持管理を行い、安全安心な漁業経営に寄与する。			
(単位:千円)	【事業の成果】 漁港施設維持管理（修繕費等）1式 岩戸漁港浚渫 1,570m <sup>3</sup>			
当初予算額	5,480	【今後の課題・方向性】 鳥取市管理の第1種漁港として適正な維持管理を行う。		
補正予算額	42			
予算流・充用額	0			
最終予算額	5,522	【参考】		
本年度決算額	5,449	前年度決算額 8,701		
区分	決算額	評価結果		
国・県支出金	0	今後とも鳥取市管理の第1種漁港として適正な維持管理を行う。		
地方債	0			
その他	1			
一般財源	5,448			
計	5,449			
財源内訳		評価結果		
分担金	0	今後とも鳥取市管理の第1種漁港として適正な維持管理を行う。		
負担金	0			
使用料	0			
手数料	0			
財産収入	0			
寄付金	0			
繰入金	0			
贈収金	1			
その他	0			

農086	項目名	気高町漁港施設維持管理事業費		
主要な施策	漁港施設維持管理事業費	ページ	36	所 属 名
年度	H24	農林水産部 林務水産課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】水産漁港係 0857-20-3236			
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101			
項 水産業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P186（農077）、6月補正予算・P15（農007）			
目 水産業振興費	【事業の概要】 漁港及び関連施設の維持管理を行い、安全安心な漁業経営に寄与する。			
(単位:千円)	【事業の成果】 漁港施設維持管理（修繕費等）1式 酒津漁港浚渫 5,666m <sup>3</sup> 船磯漁港浚渫 2,800m <sup>3</sup>			
当初予算額	18,636	【今後の課題・方向性】 鳥取市管理の第1種漁港として適正な維持管理を行う。		
補正予算額	8,346			
予算流・充用額	295			
最終予算額	27,277	【参考】		
本年度決算額	23,832	前年度決算額 24,418		
区分	決算額	評価結果		
国・県支出金	0	今後とも鳥取市管理の第1種漁港として適正な維持管理を行う。		
地方債	0			
その他	1,611			
一般財源	22,221			
計	23,832			
財源内訳		評価結果		
分担金	0	今後とも鳥取市管理の第1種漁港として適正な維持管理を行う。		
負担金	0			
使用料	1,611			
手数料	0			
財産収入	0			
寄付金	0			
繰入金	0			
贈収金	0			
その他	0			

農087	項目名	青谷町漁港施設維持管理事業費	
主要な施策	漁港施設維持管理事業費	ページ	36
年度	H24	所 属 名 農林水産部 林務水産課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】水産漁港係 0857-20-3236		
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101		
項 水産業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P186(農078)		
目 水産業振興費	【事業の概要】 漁港及び関連施設の維持管理を行い、安全安心な漁業経営に寄与する。		
(単位:千円)	【事業の成果】 漁港施設維持管理(修繕費等)1式 夏泊漁港浚渫 1,900m <sup>3</sup> 長和瀬漁港浚渫 2,240m <sup>3</sup>		
当初予算額 19,973	【今後の課題・方向性】 鳥取市管理の第1種漁港として適正な維持管理を行う。		
補正予算額 △2,160			
予算流・充用額 △287			
最終予算額 17,526	その他の財源の内訳		
本年度決算額 17,490	分担金	0	
	負担金	0	
	使用料	901	
	手数料	0	
	財産収入	0	
	寄付金	0	
	繰入金	0	
	贈収入	0	
	その他	0	
区分 決算額	評価結果		
財源内訳	今後とも鳥取市管理の第1種漁港として適正な維持管理を行う。		
国・県支出金 0			
地方債 0			
その他 901			
一般財源 16,589			
計 17,490			
(参考)			
前年度決算額 17,028			

農088	項目名	稚貝放流事業補助金	
主要な施策	稚貝放流事業補助金	ページ	36
年度	H24	所 属 名 農林水産部 林務水産課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】水産漁港係 0857-20-3236		
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101		
項 水産業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P187(農079)		
目 水産業振興費	【事業の概要】 漁場再生・漁業振興及び漁村の活性化のため、稚貝等を放流し漁獲量の増加を図る。		
(単位:千円)	【事業の成果】 稚貝放流 サザエ 51,000個 アワビ 26,500個		
当初予算額 801	【今後の課題・方向性】 漁場再生・漁業振興のため県と連携し事業を継続する。		
補正予算額 △113			
予算流・充用額 0			
最終予算額 688	その他の財源の内訳		
本年度決算額 687	分担金	0	
	負担金	0	
	使用料	0	
	手数料	0	
	財産収入	0	
	寄付金	0	
	繰入金	0	
	贈収入	0	
	その他	0	
区分 決算額	評価結果		
財源内訳	今後とも漁場再生・漁業振興のため県と連携し事業を継続する。		
国・県支出金 0			
地方債 0			
その他 0			
一般財源 687			
計 687			
(参考)			
前年度決算額 760			

農089	項目名	漁業振興対策事業費補助金		
主要な施策	漁業振興対策事業費	ページ	36	所 属 名
年度	H24	農林水産部 林務水産課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】水産漁港係 0857-20-3236			
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101			
項 水産業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P187(農080)			
目 水産業振興費	【事業の概要】 内水面漁業協同組合が実施する魚種苗放流事業の費用や組合の活動の支援を行うことにより水産資源の維持増殖による水産業の振興及び市民のレクリエーション機会の増大に寄与する。			
(単位:千円)	【事業の成果】 湖山池漁協が行う稚魚放流に要する経費に対し助成 アマサギ卵 500万粒 ウナギ 30kg シジミ 430kg			
当初予算額	600	【今後の課題・方向性】 湖山池における水産業の振興及び市民に湖山池を楽しんでもらうため、事業を継続する。		
補正予算額	0			
予算流・充用額	0			
最終予算額	600	【評価結果】 湖山池における水産業の振興と併せて市民に湖山池を楽しんでもらうため事業を継続する。		
本年度決算額	600	その他財源の内訳		
区分	決算額	分担金	0	
国・県支出金	0	負担金	0	
地方債	0	使用料	0	
その他	0	手数料	0	
一般財源	600	財産収入	0	
計	600	寄付金	0	
		繰入金	0	
		贈収入	0	
		その他	0	
(参考)				
前年度決算額	600			

農090	項目名	漁業雇用促進対策事業費		
主要な施策	漁業振興対策事業費	ページ	36	所 属 名
年度	H24	農林水産部 林務水産課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】水産漁港係 0857-20-3236			
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101			
項 水産業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P188(農081)、6月補正予算・P15(農008)、 9月補正予算・P34(農019)			
目 水産業振興費	【事業の概要】 漁業経営体・漁協等が漁業就業希望者を雇用し、漁労技術等の研修を実施することにより、新規就業者の円滑な確保及び雇用機会の創出を図る。			
(単位:千円)	【事業の成果】 新規漁船員を雇用し研修生として漁労技術の指導を行うため必要な費用を助成した。 研修生 9名			
当初予算額	8,665	【今後の課題・方向性】 新規就業者の円滑な確保及び雇用機会の創出を図るため、今後も事業を継続する。		
補正予算額	3,392			
予算流・充用額	0			
最終予算額	12,057	【評価結果】 新規就業者の円滑な確保及び雇用機会の創出を図るため、今後も事業を継続する。		
本年度決算額	11,405	その他財源の内訳		
区分	決算額	分担金	0	
国・県支出金	10,678	負担金	0	
地方債	0	使用料	0	
その他	0	手数料	0	
一般財源	727	財産収入	0	
計	11,405	寄付金	0	
		繰入金	0	
		贈収入	0	
		その他	0	
(参考)				
前年度決算額	9,817			

農091	項目名	漁業担い手育成研修事業費補助金																						
主要な施策	漁業振興対策事業費	ページ	36	所 属 名																				
年度	H24	農林水産部 林務水産課																						
会計名																								
一般会計																								
款	農林水産業費	<b>事業の概要</b> 【問合せ先】水産漁港係 0857-20-3236 【9次総の施策体系】5101 【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P188(農082) 【事業の概要】 漁獲量の減少、魚価の低迷により漁業経営は厳しい状況であるが、漁業担い手を育成することにより水産業の振興を図る。 【事業の成果】 漁業就業に必要な専門的な技術、知識の習得を図るための研修を実施した。 研修生 4名 【今後の課題・方向性】 本市における水産業の振興のため、県と連携し事業を継続する。																						
項	水産業費																							
目	水産業振興費																							
(単位:千円)																								
当初予算額	3,168																							
補正予算額	△ 2,848																							
予算流・充用額	0																							
最終予算額	320	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>贈収金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>			その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	贈収金	0	その他	0
その他財源の内訳																								
分担金	0																							
負担金	0																							
使用料	0																							
手数料	0																							
財産収入	0																							
寄付金	0																							
繰入金	0																							
贈収金	0																							
その他	0																							
本年度決算額	298																							
区 分	決算額																							
財源内訳	国・県支出金	149																						
	地方債	0																						
	その他	0																						
	一般財源	149																						
計	298																							
(参考)		<table border="1"> <tr> <td>前年度決算額</td> <td>1,356</td> <td>評価結果</td> <td colspan="2">新規漁業就労者を円滑に確保し、水産業を振興するため、今後も事業を継続する。</td> </tr> </table>			前年度決算額	1,356	評価結果	新規漁業就労者を円滑に確保し、水産業を振興するため、今後も事業を継続する。																
前年度決算額	1,356	評価結果	新規漁業就労者を円滑に確保し、水産業を振興するため、今後も事業を継続する。																					

農092	項目名	暴風被害漁具復旧支援事業費補助金																						
主要な施策	漁業振興対策事業費	ページ	36	所 属 名																				
年度	H24	農林水産部 林務水産課																						
会計名																								
一般会計																								
款	農林水産業費	<b>事業の概要</b> 【問合せ先】水産漁港係 0857-20-3236 【9次総の施策体系】5101 【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 6月補正予算・P16(農009) 【事業の概要】 暴風により被災した漁具等の復旧に要する経費を助成し早期の原状回復を図る。 【事業の成果】 船磯漁港内の養殖用カキ筏の復旧等に要する経費を助成。 【今後の課題・方向性】 再度自然災害が発生したときに、その都度対応する。																						
項	水産業費																							
目	水産業振興費																							
(単位:千円)																								
当初予算額	0																							
補正予算額	872																							
予算流・充用額	0																							
最終予算額	872	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">その他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>贈収金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>			その他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	贈収金	0	その他	0
その他財源の内訳																								
分担金	0																							
負担金	0																							
使用料	0																							
手数料	0																							
財産収入	0																							
寄付金	0																							
繰入金	0																							
贈収金	0																							
その他	0																							
本年度決算額	471																							
区 分	決算額																							
財源内訳	国・県支出金	235																						
	地方債	0																						
	その他	0																						
	一般財源	236																						
計	471																							
(参考)		<table border="1"> <tr> <td>前年度決算額</td> <td>0</td> <td>評価結果</td> <td colspan="2">平成24年春季の暴風により被害を受けた復旧事業であるため、平成24年度で終了。</td> </tr> </table>			前年度決算額	0	評価結果	平成24年春季の暴風により被害を受けた復旧事業であるため、平成24年度で終了。																
前年度決算額	0	評価結果	平成24年春季の暴風により被害を受けた復旧事業であるため、平成24年度で終了。																					

農093	項目名	補助災害復旧費		
主要な施策	現年発生災害復旧費	ページ	46	所 属 名
年度	H24	農林水産部 林務水産課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】林務係 0857-20-3235			
款 災害復旧費	【9次総の施策体系】5101			
項 災害復旧費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次			
目 農林水産業施設災害復旧費	9月補正予算・P34（農020）、12月補正予算・P23（農008）、			
(単位:千円)	【事業の概要】 平成24年9月に発生した豪雨により林道法面等が崩壊する被害が発生したため、災害復旧事業により法面を復旧し林道の安全を確保する。			
当初予算額	0	【事業の成果】 測量設計業務委託（3路線） 1式		
補正予算額	16,471	【今後の課題・方向性】 自然災害によるため今回限りとなる。		
予算流・充用額	0			
最終予算額	16,471	その他の財源の内訳		
本年度決算額	3,608	分担金	0	
		負担金	0	
		使用料	0	
		手数料	0	
		財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	0	
		贈収入	0	
		その他	0	
区分	決算額			
財源内訳	国・県支出金	0		
	地方債	0		
	その他	0		
	一般財源	3,608		
	計	3,608		
(参考)	前年度決算額	40,939	評価結果 災害復旧事業のため平成24年度完了。	

農094	項目名	船磯漁港災害復旧費		
主要な施策	現年発生災害復旧費	ページ	46	所 属 名
年度	H24	農林水産部 林務水産課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】水産漁港係 0857-20-3236			
款 災害復旧費	【9次総の施策体系】5101			
項 災害復旧費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次			
目 公共土木災害復旧費	4月補正予算・P1（農001）			
(単位:千円)	【事業の概要】 平成24年2月26日の冬季風浪により、船磯漁港の航路及び泊地に大量の砂が堆積し、漁船の出入港に支障が生じたため、災害復旧事業により取り除き、漁船の航行の安全を図る。			
当初予算額	0	【事業の成果】 船磯漁港航路・泊地浚渫工事 V=27,500m <sup>3</sup> 業務委託 1式		
補正予算額	44,412	【今後の課題・方向性】 自然災害によるため今回限りとするが、漂砂対策の調査業務等を検討		
予算流・充用額	0			
最終予算額	44,412	その他の財源の内訳		
本年度決算額	44,412	分担金	0	
		負担金	0	
		使用料	0	
		手数料	0	
		財産収入	0	
		寄付金	0	
		繰入金	0	
		贈収入	0	
		その他	0	
区分	決算額			
財源内訳	国・県支出金	24,370		
	地方債	12,100		
	その他	0		
	一般財源	7,942		
	計	44,412		
(参考)	前年度決算額	0	評価結果 災害復旧事業のため平成24年度完了。（今後、漂砂対策調査の検討を要する。）	

農095	項目名	簡易水道事業費特別会計へ繰出	
主要な施策	簡易水道事業費特別会計へ繰出	ページ	33
年度	H24	所 属 名 農林水産部 農村整備課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】総務経営係 0857-20-3241		
款 衛生費	【9次総の施策体系】4201		
項 他会計繰出	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P189（農083）、6月補正予算・P16（農010） 12月補正予算・P24（農009）		
目 簡易水道事業費特別会計へ繰出	【事業の概要】 簡易水道事業費特別会計への繰出金		
(単位:千円)	【事業の成果】 繰出金により簡易水道事業会計の経営安定化に寄与。		
当初予算額 379,937	【今後の課題・方向性】 同会計のコスト削減取組状況を考慮し、適正に繰出しを行う。当面上水道との統合が予定されている平成28年度まで繰出しを行うこととしている。		
補正予算額 △ 8,944			
予算流・充用額 0			
最終予算額 370,993	【今後の課題・方向性】 同会計のコスト削減取組状況を考慮し、適正に繰出しを行う。当面上水道との統合が予定されている平成28年度まで繰出しを行うこととしている。		
本年度決算額 370,993	【今後の課題・方向性】 同会計のコスト削減取組状況を考慮し、適正に繰出しを行う。当面上水道との統合が予定されている平成28年度まで繰出しを行うこととしている。		
区分 決算額	【今後の課題・方向性】 同会計のコスト削減取組状況を考慮し、適正に繰出しを行う。当面上水道との統合が予定されている平成28年度まで繰出しを行うこととしている。		
財源内訳	【今後の課題・方向性】 同会計のコスト削減取組状況を考慮し、適正に繰出しを行う。当面上水道との統合が予定されている平成28年度まで繰出しを行うこととしている。		
国・県支出金 0	【今後の課題・方向性】 同会計のコスト削減取組状況を考慮し、適正に繰出しを行う。当面上水道との統合が予定されている平成28年度まで繰出しを行うこととしている。		
地方債 0	【今後の課題・方向性】 同会計のコスト削減取組状況を考慮し、適正に繰出しを行う。当面上水道との統合が予定されている平成28年度まで繰出しを行うこととしている。		
その他 0	【今後の課題・方向性】 同会計のコスト削減取組状況を考慮し、適正に繰出しを行う。当面上水道との統合が予定されている平成28年度まで繰出しを行うこととしている。		
一般財源 370,993	【今後の課題・方向性】 同会計のコスト削減取組状況を考慮し、適正に繰出しを行う。当面上水道との統合が予定されている平成28年度まで繰出しを行うこととしている。		
計 370,993	【今後の課題・方向性】 同会計のコスト削減取組状況を考慮し、適正に繰出しを行う。当面上水道との統合が予定されている平成28年度まで繰出しを行うこととしている。		
(参考)	【今後の課題・方向性】 同会計のコスト削減取組状況を考慮し、適正に繰出しを行う。当面上水道との統合が予定されている平成28年度まで繰出しを行うこととしている。		
前年度決算額 328,378	【今後の課題・方向性】 同会計のコスト削減取組状況を考慮し、適正に繰出しを行う。当面上水道との統合が予定されている平成28年度まで繰出しを行うこととしている。		
評価結果	同会計のコスト削減取組状況を考慮し、適正に繰出しを行う。当面上水道との統合が予定されている平成28年度まで繰出しを行うこととしている。		

農096	項目名	水道事業会計へ繰出	
主要な施策	水道事業会計へ繰出	ページ	33
年度	H24	所 属 名 農林水産部 農村整備課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】総務経営係 0857-20-3241		
款 衛生費	【9次総の施策体系】4201		
項 他会計繰出	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P189（農084）		
目 水道事業会計へ繰出	【事業の概要】 水道事業会計への繰出金		
(単位:千円)	【事業の成果】 上水道の出資に要する経費等繰出基準に沿った繰出しを実施		
当初予算額 60,282	【今後の課題・方向性】 今後も繰出基準に沿った繰出しを継続する。		
補正予算額 913			
予算流・充用額 0			
最終予算額 61,195	【今後の課題・方向性】 今後も繰出基準に沿った繰出しを継続する。		
本年度決算額 61,193	【今後の課題・方向性】 今後も繰出基準に沿った繰出しを継続する。		
区分 決算額	【今後の課題・方向性】 今後も繰出基準に沿った繰出しを継続する。		
財源内訳	【今後の課題・方向性】 今後も繰出基準に沿った繰出しを継続する。		
国・県支出金 0	【今後の課題・方向性】 今後も繰出基準に沿った繰出しを継続する。		
地方債 0	【今後の課題・方向性】 今後も繰出基準に沿った繰出しを継続する。		
その他 0	【今後の課題・方向性】 今後も繰出基準に沿った繰出しを継続する。		
一般財源 61,193	【今後の課題・方向性】 今後も繰出基準に沿った繰出しを継続する。		
計 61,193	【今後の課題・方向性】 今後も繰出基準に沿った繰出しを継続する。		
(参考)	【今後の課題・方向性】 今後も繰出基準に沿った繰出しを継続する。		
前年度決算額 100,242	【今後の課題・方向性】 今後も繰出基準に沿った繰出しを継続する。		
評価結果	今後も繰出基準に沿った繰出しを継続する。		

農097	項目名	農道舗装補修等事業費																					
主要な施策	農道舗装補修等事業費	ページ	34																				
年度	H24	所 属 名 農林水産部 農村整備課																					
会計名	事業の概要																						
一般会計	【問合せ先】基盤整備係 0857-20-3244																						
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101																						
項 農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P190（農085）、9月補正予算・P35（農021）																						
目 農地費	【事業の概要】 農道を整備することにより、農産物や農業用資材等の運搬を効率的に行うことができる。また、農業用水路等を整備することにより、必要な用水量を確保し、排水の能力を高めることで農産物の生産性の向上を図る。 単市事業（鳥取県しっかり守る農林基盤交付金事業） ・負担区分 市80% 地元20% ・事業内容 農道舗装、用排水路の補修・改良等																						
(単位:千円)	【事業の成果】 H22年度 件数及び事業費 39件 36,031千円 H23年度 件数及び事業費 37件 28,853千円 H24年度 件数及び事業費 49件 43,721千円																						
当初予算額 28,466	【今後の課題・方向性】 過去の大規模な土地改良事業により整備された農業用施設が経年劣化により老朽化が促進し、補修箇所も増加しているが、国事業の農地・水保全対策実施地区など、同事業の維持管理活動や施設長寿命化対策可能な施設については制度利用を行うなどし、併用しながら事業費の現状維持を図る。																						
補正予算額 15,319	【参考】																						
予算流・充用額 752	前年度決算額 28,853																						
最終予算額 44,537	評価結果 農地・水保全対策事業との併用を促進するとともに、老朽化している農業施設の中においても重要度の高い施設を中心に補修・維持を継続する。																						
本年度決算額 43,721	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">其他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>6,256</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>贈収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>			其他財源の内訳		分担金	0	負担金	6,256	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	贈収入	0	その他	0
其他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	6,256																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	0																						
贈収入	0																						
その他	0																						
<table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>決算額</th> </tr> <tr> <td>国・県支出金</td> <td>12,306</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>其他</td> <td>6,256</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>25,159</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>43,721</td> </tr> </table>	区分	決算額	国・県支出金	12,306	地方債	0	其他	6,256	一般財源	25,159	計	43,721											
区分	決算額																						
国・県支出金	12,306																						
地方債	0																						
其他	6,256																						
一般財源	25,159																						
計	43,721																						

農098	項目名	小規模土地改良事業費																					
主要な施策	小規模土地改良事業費	ページ	34																				
年度	H24	所 属 名 農林水産部 農村整備課																					
会計名	事業の概要																						
一般会計	【問合せ先】基盤整備係 0857-20-3244																						
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101																						
項 農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P190（農086）																						
目 農地費	【事業の概要】 単市事業（鳥取県しっかり守る農林基盤交付金事業） ・負担区分 市100% ・事業内容 地元が実施する土地改良施設等の補修に対する原材料（生コン、モルタル、碎石等）の支給 地元が実施する農業用施設の補修に際し、市から原材料を支給することにより、負担金なしで施工が可能となり、地域で共同して行う土地改良施設の維持管理活動を促進する。																						
(単位:千円)	【事業の成果】 H22年度 125件 13,320千円 H23年度 110件 10,796千円 H24年度 121件 11,970千円																						
当初予算額 15,000	【今後の課題・方向性】 過去の大規模な土地改良事業により整備された農業用施設が経年劣化により老朽化が促進し、補修箇所も増加しているが、国事業の農地・水保全対策実施地区など、同事業の維持管理活動や施設長寿命化対策可能な施設については制度利用を行うなどし、併用しながら事業費の現状維持を図る。																						
補正予算額 △2,800	【参考】																						
予算流・充用額 0	前年度決算額 10,796																						
最終予算額 12,200	評価結果 地元対応がある程度可能な地区、施設については原材料の支給により地域農業施設の維持管理を促し、農業基盤を支えてゆく。																						
本年度決算額 11,970	<table border="1"> <tr> <th colspan="2">其他財源の内訳</th> </tr> <tr> <td>分担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>負担金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>使用料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>手数料</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>財産収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>寄付金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>繰入金</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>贈収入</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>その他</td> <td>0</td> </tr> </table>			其他財源の内訳		分担金	0	負担金	0	使用料	0	手数料	0	財産収入	0	寄付金	0	繰入金	0	贈収入	0	その他	0
其他財源の内訳																							
分担金	0																						
負担金	0																						
使用料	0																						
手数料	0																						
財産収入	0																						
寄付金	0																						
繰入金	0																						
贈収入	0																						
その他	0																						
<table border="1"> <tr> <th>区分</th> <th>決算額</th> </tr> <tr> <td>国・県支出金</td> <td>5,426</td> </tr> <tr> <td>地方債</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>其他</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>一般財源</td> <td>6,544</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>11,970</td> </tr> </table>	区分	決算額	国・県支出金	5,426	地方債	0	其他	0	一般財源	6,544	計	11,970											
区分	決算額																						
国・県支出金	5,426																						
地方債	0																						
其他	0																						
一般財源	6,544																						
計	11,970																						

農099	項目名	岩美地区広域農道整備事業費	
主要な施策	県営事業負担金	ページ	34
年度	H24	所 属 名	
		農林水産部 農村整備課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】基盤整備係 0857-20-3244		
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101		
項 農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P191（農087）		
目 農地費	【事業の概要】 鳥取地区広域営農団地の東部に位置する各生産団地及び各農業施設を結ぶ基幹農道を整備し、鳥取地区広域農道と接続させ、効率的、有機的な営農団地を確立し、農業の近代化、生産流通施設の整備及び管理組織体系の整備を併せ行い、地域産業の開発を促進する。		
(単位:千円)	県営岩美地区道整備交付金事業（県営岩美地区広域営農団地農道整備事業）		
当初予算額	16,080	・事業主体 鳥取県	
補正予算額	△ 4,301	・事業年度 昭和57年度～平成26年度	
予算流・充用額	0	・事業費 10,880,000千円	
最終予算額	11,779	・負担区分 国61.0% 県32.3% 市6.7%	
本年度決算額	10,774	・事業内容 農道新設 14,933m 全幅5.5m	
区分	決算額	トンネル 468m 1箇所	
国・県支出金	0	橋梁 20～89m 7箇所	
地方債	10,200	【事業の成果】	
その他	0	H22年度 11,691千円	
一般財源	574	H23年度 1,943千円	
計	10,774	H24年度 10,774千円	
（参考）		【今後の課題・方向性】 県事業計画に基づき平成26年度に県営事業完了予定	
前年度決算額	737	評価結果	
		平成26年度事業完了による農道の整備による農業生産基盤の拡充をめざす。	

農100	項目名	清水ヶ谷池地区ため池等整備事業費	
主要な施策	県営事業負担金	ページ	34
年度	H24	所 属 名	
		農林水産部 農村整備課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】基盤整備係 0857-20-3244		
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101		
項 農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P191（農088）		
目 農地費	【事業の概要】 清水ヶ谷池は、江戸時代以前に築造されたため、長年の利用により堤体下部の法尻、法面、底樋周辺から多量の漏水が見られ、内法の浸食、取水施設の老朽化等が著しく早急な改修が急がれる状況にある。築造後かなりの年数が経過し、全ての施設で老朽化が著しいため、ため池の全面改修を行い、地域住民の安全・安心な生活環境を保つとともに、農地、農作物及び農業用施設等の被害を未然に防ぎ、農業経営の安定化を図る。		
(単位:千円)	・事業主体 鳥取県		
当初予算額	6,600	・事業年度 平成22年度～平成24年度	
補正予算額	0	・事業費 61,000,000円	
予算流・充用額	0	・負担区分 国50% 県30% 市14% 地元6%	
最終予算額	6,600	・事業場所 玉津地区清水ヶ谷池	
本年度決算額	5,071	・受益 戸数：13戸 面積：3.6ha	
区分	決算額	・事業内容 測量・地質調査、用地買収、補償、堤体工、取水設備工、洪水吐）	
国・県支出金	0	【事業の成果】	
地方債	3,100	H22年度 1,497千円	
その他	0	H23年度 2,227千円	
一般財源	1,971	H24年度 5,071千円	
計	5,071	【今後の課題・方向性】 平成24年度にて事業を終了した。	
（参考）		評価結果	
前年度決算額	2,227	防災の観点からもため池の継続整備が必要とされる。	

農101	項目名	山上・水根地区地域ため池総合整備事業費	
主要な施策	県営事業負担金	ページ	34
年度	H24	所 属 名	
		農林水産部 農村整備課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】基盤整備係 0857-20-3244		
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101		
項 農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P192（農090）		
目 農地費	【事業の概要】 河原町山上及び水根に所在する5箇所のため池に対する総合整備計画を策定したが、このうち改修と判断された2箇所のため池を改修する。要改修と判断された馬場堤及び湯坂谷池は、取水施設の老朽化が著しく取水管理が困難になっており、馬場堤にあっては相当量の漏水、湯坂谷池については、漏水に起因した堤体陥没が発生しており、早急な改善措置を行う必要がある。		
(単位:千円)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施主体 鳥取県</li> <li>・事業年度 平成24年度～平成28年度</li> <li>・事業箇所 河原町山上地区：馬場堤 河原町水根地区：湯坂谷池</li> <li>・事業費 143,000,000円</li> <li>・負担区分 国55% 県29% 市14% 地元2%</li> <li>・事業内容 ため池改修 2箇所</li> <li>・受益 戸数：74戸（馬場堤73戸、湯坂谷池31戸） 面積：16ha（馬場堤15ha、湯坂谷池7ha）</li> </ul>		
当初予算額	3,344	【事業の成果】 H24年度 2,271千円 馬場堤測量設計	
補正予算額	△384	【今後の課題・方向性】 県の整備計画に基づき平成28年度まで継続してため池改修を行う。	
予算流・充用額	0	【参考】	
最終予算額	2,960	評価結果	
本年度決算額	2,271	県計画に沿って平成28年度まで、ため池の継続整備が必要とされる。	
区分	決算額	評価結果	
財源内訳		評価結果	
国・県支出金	0	評価結果	
地方債	0	評価結果	
その他	0	評価結果	
一般財源	2,271	評価結果	
計	2,271	評価結果	
前年度決算額	0	評価結果	

農102	項目名	鹿野・今市地区地域ため池総合整備事業費	
主要な施策	県営事業負担金	ページ	34
年度	H24	所 属 名	
		農林水産部 農村整備課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】基盤整備係 0857-20-3244		
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101		
項 農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P193（農091）		
目 農地費	【事業の概要】 平成23年度に地域に所在する複数のため池を対象に防災・減災を核とした事業を実施する「地域ため池総合整備事業」が鳥取県で策定され、鹿野町鹿野地区の糸録池、今市地区の馬ノ池は漏水や取水施設の老朽化が著しく、要改修と判断された。		
(単位:千円)	平成24年度～平成27年度にかけて漏水箇所等の改修工事に着手し、万が一のため池決壊を回避し、農地、農業用施設、民家等への被害を未然に防ぎ、農家経営の安定化と地域住民の安全・安心な生活環境を保持する。		
当初予算額	2,816	<ul style="list-style-type: none"> <li>・実施主体 鳥取県</li> <li>・事業年度 平成24年度～平成27年度</li> <li>・事業箇所 鹿野町鹿野地区：糸録池 鹿野町今市地区：馬ノ池</li> <li>・事業費 162,000,000円</li> <li>・負担区分 国55% 県29% 市14% 地元2%</li> <li>・事業内容 ため池改修 2箇所</li> <li>・受益 戸数：82戸（糸録池33戸、馬ノ池49戸） 面積：40ha（糸録池17ha、馬ノ池23ha）</li> </ul>	
補正予算額	△832	【事業の成果】 H24年度 1,895千円 馬ノ池測量設計	
予算流・充用額	0	【今後の課題・方向性】 県の整備計画に基づき平成27年度まで継続してため池改修を行う。	
最終予算額	1,984	【参考】	
本年度決算額	1,895	評価結果	
区分	決算額	評価結果	
財源内訳		評価結果	
国・県支出金	0	評価結果	
地方債	1,492	評価結果	
その他	0	評価結果	
一般財源	403	評価結果	
計	1,895	評価結果	
前年度決算額	0	評価結果	

農103	項目名	福部地区特定農業用管水路等特別対策事業費	
主要な施策	県営事業負担金	ページ	34
年度	H24	所 属 名	
		農林水産部 農村整備課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】基盤整備係 0857-20-3244		
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101		
項 農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P193 (農092)		
目 農地費	【事業の概要】 福部砂丘の畑地かんがい施設のうち、用水を配水する幹線配水管路、支線配水管路は主に石綿管が使用され、非飛散性かつ土中埋設で、一見、安定した状況にはあるものの、近年の老朽化により、漏水対応における補修時及び更新の際などでは石綿粉じんが飛散する危険性がある。 福部砂丘の畑地かんがい施設のうち、主に石綿利用され、また、近年、老朽化が顕著な管水路を全体的に変更・更新することで、石綿に起因する健康被害等への影響を未然に防止し、かつ、安定的な用水確保を実現し、地域の特産品である「らっきょう」を主とした農業経営の安定及び農業の維持を図る。 ・事業主体 鳥取県 ・事業年度 平成24年度～平成29年度 ・事業費 550,000千円 ・負担区分 国50% 県35% 市10% 地元5% ・事業内容 石綿管更新 L=7,504m ・受益 戸数：286戸 面積：88ha		
(単位:千円)	【事業の成果】 H24年度 2,063千円 管路整備		
当初予算額	6,750	【今後の課題・方向性】 県計画に基づき平成29年度まで継続して管路整備を行う。	
補正予算額	0		
予算流・充用額	0		
最終予算額	6,750	【参考】	
本年度決算額	2,063	評価結果	
区分	決算額	県計画に基づき平成29年度まで実施。石綿管の早期取替により住民の健康被害を防止する。	
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	1,857		
その他	0		
一般財源	206		
計	2,063		
前年度決算額	0		

農104	項目名	河原町三谷地区地域ため池総合整備事業費	
主要な施策	県営事業負担金	ページ	34
年度	H24	所 属 名	
		農林水産部 農村整備課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】基盤整備係 0857-20-3244		
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101		
項 農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P194 (農093)		
目 農地費	【事業の概要】 河原町三谷地区に3箇所のため池があり、このうち追作堤は漏水、堤体周辺の法面浸食及び陥没がみられ、堤体の老朽化が進行している。古池は漏水もみられ、取水施設は下段部が閉塞している。 「地域ため池総合整備事業」は地域全体の防災安全度を効率的かつ効果的に向上させることを目的に、地域に所在する複数のため池を対象に「地域ため池総合整備計画」を作成し、主として防災・減災を核とした事業を実施するものであり、この中で追作堤、古池の整備事業計画を作成し、早急な整備実施を図っていこうとするものである。平成24年度は全体事業計画の策定等を行う必要があるため、調査計画事業を実施。 ・実施主体 鳥取県 ・事業年度 平成24年度 ・河原町三谷地区：追作堤、古池 ・事業費 11,000,000円 ・負担区分 国50% 県25% 市25% ・事業内容 全体基本・整備事業計画策定 ・受益戸数 27戸		
(単位:千円)	【事業の成果】 H24年度 1,587千円 整備事業計画策定		
当初予算額	2,750	【今後の課題・方向性】 平成24年度の計画策定をもとに平成25年度より施工を開始する。	
補正予算額	△1,145		
予算流・充用額	0		
最終予算額	1,605	【参考】	
本年度決算額	1,587	評価結果	
区分	決算額	防災の観点からもため池の継続整備が必要とされる。県計画により施工年度は平成25年度～平成28年度	
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	1,587		
計	1,587		
前年度決算額	0		

農105	項目名	因幡白兎地区地域ため池総合整備事業費	
主要な施策	県営事業負担金	ページ	34
年度	H24	所 属 名	農林水産部 農村整備課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】基盤整備係 0857-20-3244		
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101		
項 農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P194（農094）		
目 農地費	【事業の概要】 鳥取市小沢見、白兎、内海中及び御熊を受益地とする三反田池ほか2箇所のため池は長年、補修、補強等が行われ、適切な利用が行われてきたが、漏水、取水施設の不全等があり施設の老朽化は著しく、地元で対応できる範疇を超える状態となっている。 万が一、ため池が決壊した場合、直下流の水田、主要地方道、JR山陰本線等が被災することが想定される。この為、堤体の改修等必要な整備を行い、地域住民の安全・安心な生活環境を保つとともに、農地、農作物及び農業用施設の被害を未然に防ぎ、農家経営の安定化を図る。平成24年度は総合整備計画を策定する必要がある。地域全体の防災安全度を向上させることを目的に事業を実施。 ・実施主体 鳥取県 ・事業年度 平成24年度 ・事業箇所 小沢見（堂出池）、白兎（三反田池）、御熊（岡ノ谷溜池） ・事業費 11,000,000円 ・負担区分 国50% 県25% 市25% ・事業内容 全体基本・整備事業計画策定 ・受益戸数 95戸		
(単位:千円)	【事業の成果】 H24年度 1,745千円 整備事業計画策定		
当初予算額	2,750	【今後の課題・方向性】 平成24年度の計画策定をもとに平成25年度より施工を開始する。	
補正予算額	△ 1,004		
予算流・充用額	0		
最終予算額	1,746	【参考】	
本年度決算額	1,745	評価結果	
区分	決算額	防災の観点からもため池の継続整備が必要とされる。県計画により施工年度は平成25年度～平成28年度	
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	1,745		
計	1,745		
前年度決算額	0		

農106	項目名	地域用水機能増進補完事業費	
主要な施策	水環境整備事業費	ページ	35
年度	H24	所 属 名	農林水産部 農村整備課
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】総務経営係 0857-20-3241		
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101		
項 農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P195（農095）		
目 農地費	【事業の概要】 ホテル鑑賞会、井手用水探検、魚取り大会などの行事に要する経費の2/3を補助。（各改良区、補助金額10万円を限度とする。） 大口堰土地改良区及び大井手土地改良区は、国の補助事業である地域用水機能増進事業により地域ぐるみで用水等を活用したイベント、草刈り、浚渫等を行ってきた。事業着手後、各活動を通じて地域用水機能に対する地域住民の理解が深まり、地域社会の一体感も高まりつつあるが、国補助事業が平成23年度で終了し、地域への取組が継続的になされなければ保全意識が低下する不安があることから単市事業にて補助を継続。		
(単位:千円)	【事業の成果】 H24年度 100千円		
当初予算額	200	【今後の課題・方向性】 土地改良区が行うホテル鑑賞会、井手用水探検、魚取り大会などの地域、特に周辺児童が参加する行事についてその経費の一部を補助することで、地域の連帯感を高めるとともに、次世代の担い手である地域児童に周知させる機会を増やし、地域の混住化、後継者不足の解消を図る。	
補正予算額	△ 100		
予算流・充用額	0		
最終予算額	100	【参考】	
本年度決算額	100	評価結果	
区分	決算額	土地改良区の活動を通じて水環境への関心を高め、機能保全の重要性を周知してゆく必要がある。引き続き地域による用水活用の促進への助成を行う。	
財源内訳			
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	100		
計	100		
前年度決算額	0		

農107	項目名	梶掛地区農山漁村活性化プロジェクト支援交付金事業費		
主要な施策	農山漁村活性化プロジェクト支援交付金事業費	ページ	35	所 属 名
年度	H24	農林水産部 農村整備課		
事業の概要	<p>【問合せ先】基盤整備係 0857-20-3244</p> <p>【9次総の施策体系】5101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P198（農102）</p> <p>【事業の概要】 当該事業箇所は、明治時代の区画整理のため区画が狭小であり、用排水路は土水路で維持管理に多大な労力や経費を費やしている。土水路にコンクリート二次製品を布設することにより、維持管理の省力化や経費縮減、効率的な営農作業を可能となり、農地の利用集積を図る。 梶掛地区農山漁村活性化プロジェクト交付金事業 ・事業年度 平成23年度～平成26年度 ・事業費 115,000千円 ・負担区分 国55% 県12.5% 市25% 地元7.5% ・事業内容 実施設計、水路整備 L=6,085m</p> <p>【事業の成果】 H23年度 13,937千円 実施設計1式 H24年度 33,124千円 水路整備 L=1,136m</p> <p>【今後の課題・方向性】 梶掛地区の水路整備を行うことで農業基盤の整備を図り、安定的な農業活動を促すと共に、農業人口の流出を防ぎ定住化を促進することで農業離れを防ぐ。引き続き水路整備工に着手し平成26年度事業完了を目指す。</p>			
会計名	一般会計			
款	農林水産業費			
項	農業費			
目	農地費			
(単位:千円)				
当初予算額	33,132	その他財源の内訳		
補正予算額	0	分担金	0	
予算流・充用額	0	負担金	2,507	
最終予算額	33,132	使用料	0	
本年度決算額	33,124	手数料	0	
区分	決算額	財産収入	0	
国・県支出金	22,274	寄付金	0	
地方債	0	繰入金	0	
その他	2,507	贈収入	0	
一般財源	8,343	その他	0	
計	33,124			
(参考)	前年度決算額	13,973	評価結果	農業者人口の確保のため農業基盤を整備し、農業の安定化を推進するため事業を継続。国が定めている事業年度平成26年度まで継続とする。

農108	項目名	農道等維持管理費		
主要な施策	農道等維持管理費	ページ	34	所 属 名
年度	H24	農林水産部 農村整備課		
事業の概要	<p>【問合せ先】基盤整備係 0857-20-3244</p> <p>【9次総の施策体系】5101</p> <p>【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 12月補正予算・P24（農010）</p> <p>【事業の概要】 農道等の草刈、砂除去等を行うことにより、農産物の集出荷の合理化を図るとともに、観光、地域の活性化を推進する。</p> <p>【事業の成果】 砂丘農道 衣笠地区農免農道 岩美地区広域農道 日光川 平成22年度 2,281千円 平成23年度 1,668千円 平成24年度 1,911千円</p> <p>【今後の課題・方向性】 砂丘のらっきょうや神戸の桃など大規模な作物出荷に対し、農道を維持管理することで不便を来さないように配慮し、農業の安定化を図る。また気高町日光川については国道に設置された融雪装置の流水による河川への砂泥の流入があり、国、市、地元の三者間での協定に基づき農業用水としての機能保持の観点から維持管理を継続してゆく必要がある。</p>			
会計名	一般会計			
款	農林水産業費			
項	農業費			
目	農地費			
(単位:千円)				
当初予算額	2,457	その他財源の内訳		
補正予算額	276	分担金	0	
予算流・充用額	52	負担金	0	
最終予算額	2,785	使用料	40	
本年度決算額	1,911	手数料	0	
区分	決算額	財産収入	0	
国・県支出金	0	寄付金	0	
地方債	0	繰入金	0	
その他	230	贈収入	190	
一般財源	1,681	その他	0	
計	1,911			
(参考)	前年度決算額	1,669	評価結果	継続して農道維持管理を行うことで地元の農業活動に助力し、農業の安定化を図ることを目的とする。日光川については国・市・地元の協定に基づき維持管理を継続する。

農109	項目名	コミュニティ助成事業費	
主要な施策	コミュニティ助成事業費	ページ	34
年度	H24	所 属 名	
		農林水産部 農村整備課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】総務経営係 0857-20-3241		
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101		
項 農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 6月補正予算・P20（農018）		
目 農地費	【事業の概要】 財団法人自治総合センターは、宝くじの普及広報とコミュニティの健全な発展を図ることを目的としてコミュニティ助成事業を行っている。市が助成の申請を行い、助成金を受け入れ、各団体へ助成金を交付する。地区住民は助成金をもとに農村公園の遊具等の整備を行う。		
(単位:千円)	【事業の成果】 農村公園（地元部落管理）の安全な遊具等が整備できるとともに、公園が地区住民の憩い場及びコミュニティ活動の場として有効に活動できる。 H23年度 事業費 2,500千円 ・倭文西集落 遊具・ベンチ・標柱設置 H24年度 事業費 5,000千円 ・松上集落 ・河内集落 遊具・ベンチ・標柱設置		
当初予算額	0	【今後の課題・方向性】 地区団体等からの申請に基づき、地域住民が自主的に行うコミュニティ活動の促進を図るため、今後も継続する。	
補正予算額	5,000		
予算流・充用額	0		
最終予算額	5,000	【事業の成果】 農村公園（地元部落管理）の安全な遊具等が整備できるとともに、公園が地区住民の憩い場及びコミュニティ活動の場として有効に活動できる。 H23年度 事業費 2,500千円 ・倭文西集落 遊具・ベンチ・標柱設置 H24年度 事業費 5,000千円 ・松上集落 ・河内集落 遊具・ベンチ・標柱設置	
本年度決算額	5,000	【今後の課題・方向性】 地区団体等からの申請に基づき、地域住民が自主的に行うコミュニティ活動の促進を図るため、今後も継続する。	
区分	決算額	【事業の成果】 農村公園（地元部落管理）の安全な遊具等が整備できるとともに、公園が地区住民の憩い場及びコミュニティ活動の場として有効に活動できる。 H23年度 事業費 2,500千円 ・倭文西集落 遊具・ベンチ・標柱設置 H24年度 事業費 5,000千円 ・松上集落 ・河内集落 遊具・ベンチ・標柱設置	
財源内訳		【今後の課題・方向性】 地区団体等からの申請に基づき、地域住民が自主的に行うコミュニティ活動の促進を図るため、今後も継続する。	
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	5,000		
一般財源	0		
計	5,000		
(参考)	評価結果		
前年度決算額	2,500	コミュニティ活動の促進を図り、継続する。	

農110	項目名	共同活動支援交付金	
主要な施策	農地・水・環境保全向上対策事業費	ページ	34
年度	H24	所 属 名	
		農林水産部 農村整備課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】総務経営係 0857-20-3241		
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101		
項 農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P199（農103）		
目 農地費	【事業の概要】 本市の大半を占める農村地域の豊かな自然環境は、次世代に引き継いでいくべき大切な財産であるが、高齢化や過疎化によって農地・水路などの施設の維持・保全管理が難しくなってきた。 このため、本市では平成19年度から「農地・水・環境保全向上対策」の取り組みを開始し、農地・水路などを保全管理する共同活動や、集落周辺の環境・景観の保全活動、環境負荷低減による農業を行う活動組織を支援している。		
(単位:千円)	【事業の成果】 H24年度 組織数104 事業費 72,272千円 (国50% 県25% 市25%)		
当初予算額	19,202	【今後の課題・方向性】 現状の集落協定に加え、中山間地域の集落についても事業推進を行いたい。	
補正予算額	△ 1,134		
予算流・充用額	0		
最終予算額	18,068	【事業の成果】 H24年度 組織数104 事業費 72,272千円 (国50% 県25% 市25%)	
本年度決算額	18,068	【今後の課題・方向性】 現状の集落協定に加え、中山間地域の集落についても事業推進を行いたい。	
区分	決算額	【事業の成果】 H24年度 組織数104 事業費 72,272千円 (国50% 県25% 市25%)	
財源内訳		【今後の課題・方向性】 現状の集落協定に加え、中山間地域の集落についても事業推進を行いたい。	
国・県支出金	0		
地方債	0		
その他	0		
一般財源	18,068		
計	18,068		
(参考)	評価結果		
前年度決算額	21,508	平成24年度より第2期対策事業が開始。対策年度である平成28年度まで継続して事業を実施し、農地農業用施設保全及び農業環境の保持を促す。	

農111	項目名	農地・水・農村環境推進事業費		
主要な施策	農地・水・環境保全向上対策事業費	ページ	34	所 属 名
年度	H24	農林水産部 農村整備課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】総務経営係 0857-20-3241			
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101			
項 農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 9月補正予算・P36（農023）			
目 農地費	【事業の概要】 現地確認、活動組織説明会等に伴う事務費等、農地・水保全管理支払交付金事業の推進に要する事務経費			
(単位:千円)	【事業の成果】 H23年度 2,147千円 H24年度 2,465千円			
当初予算額	589	【今後の課題・方向性】 農地・水環境保全向上対策に取り組んでいる活動組織が104組織あり、円滑に事業を進めるために、活動組織への連絡、指導等についての効率的な事務執行が求められる。		
補正予算額	1,876			
予算流・充用額	0			
最終予算額	2,465	【今後の課題・方向性】 農地・水環境保全向上対策に取り組んでいる活動組織が104組織あり、円滑に事業を進めるために、活動組織への連絡、指導等についての効率的な事務執行が求められる。		
本年度決算額	2,465	【今後の課題・方向性】 農地・水環境保全向上対策に取り組んでいる活動組織が104組織あり、円滑に事業を進めるために、活動組織への連絡、指導等についての効率的な事務執行が求められる。		
区分	決算額	【今後の課題・方向性】 農地・水環境保全向上対策に取り組んでいる活動組織が104組織あり、円滑に事業を進めるために、活動組織への連絡、指導等についての効率的な事務執行が求められる。		
財源内訳		【今後の課題・方向性】 農地・水環境保全向上対策に取り組んでいる活動組織が104組織あり、円滑に事業を進めるために、活動組織への連絡、指導等についての効率的な事務執行が求められる。		
国・県支出金	2,465	【今後の課題・方向性】 農地・水環境保全向上対策に取り組んでいる活動組織が104組織あり、円滑に事業を進めるために、活動組織への連絡、指導等についての効率的な事務執行が求められる。		
地方債	0	【今後の課題・方向性】 農地・水環境保全向上対策に取り組んでいる活動組織が104組織あり、円滑に事業を進めるために、活動組織への連絡、指導等についての効率的な事務執行が求められる。		
その他	0	【今後の課題・方向性】 農地・水環境保全向上対策に取り組んでいる活動組織が104組織あり、円滑に事業を進めるために、活動組織への連絡、指導等についての効率的な事務執行が求められる。		
一般財源	0	【今後の課題・方向性】 農地・水環境保全向上対策に取り組んでいる活動組織が104組織あり、円滑に事業を進めるために、活動組織への連絡、指導等についての効率的な事務執行が求められる。		
計	2,465	【今後の課題・方向性】 農地・水環境保全向上対策に取り組んでいる活動組織が104組織あり、円滑に事業を進めるために、活動組織への連絡、指導等についての効率的な事務執行が求められる。		
(参考)		【今後の課題・方向性】 農地・水環境保全向上対策に取り組んでいる活動組織が104組織あり、円滑に事業を進めるために、活動組織への連絡、指導等についての効率的な事務執行が求められる。		
前年度決算額	2,147	【今後の課題・方向性】 農地・水環境保全向上対策に取り組んでいる活動組織が104組織あり、円滑に事業を進めるために、活動組織への連絡、指導等についての効率的な事務執行が求められる。		
		【評価結果】 今後も事業推進を行い、農地保全を図る。		

農112	項目名	向上活動支援交付金		
主要な施策	農地・水・環境保全向上対策事業費	ページ	34	所 属 名
年度	H24	農林水産部 農村整備課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】総務経営係 0857-20-3241			
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101			
項 農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P199（農104）			
目 農地費	【事業の概要】 農地・農業用水等の資源の日常の保全管理に加え、集落の手による農地周りの水路、農道等の長寿命化（補修・更新）の対策に取り組む集落を支援する。 用排水路、樋門等の整備をすることにより十分な農業用水の確保、維持管理の省力化が達成される。これにより効率的、かつ安定的な農業経営と農業基盤の充実に資する。			
(単位:千円)	【事業の成果】 H23年度 組織数92 事業費 71,172千円 H24年度 組織数96 事業費 79,500千円 (国50% 県25% 市25%)			
当初予算額	20,156	【今後の課題・方向性】 事業の開始により農業用水排水施設等の補修が進んでおり、今後も地元による補修を進めていく必要がある。施設の長寿命化による農業の継続性を確保する。		
補正予算額	△280			
予算流・充用額	0			
最終予算額	19,876	【今後の課題・方向性】 事業の開始により農業用水排水施設等の補修が進んでおり、今後も地元による補修を進めていく必要がある。施設の長寿命化による農業の継続性を確保する。		
本年度決算額	19,875	【今後の課題・方向性】 事業の開始により農業用水排水施設等の補修が進んでおり、今後も地元による補修を進めていく必要がある。施設の長寿命化による農業の継続性を確保する。		
区分	決算額	【今後の課題・方向性】 事業の開始により農業用水排水施設等の補修が進んでおり、今後も地元による補修を進めていく必要がある。施設の長寿命化による農業の継続性を確保する。		
財源内訳		【今後の課題・方向性】 事業の開始により農業用水排水施設等の補修が進んでおり、今後も地元による補修を進めていく必要がある。施設の長寿命化による農業の継続性を確保する。		
国・県支出金	0	【今後の課題・方向性】 事業の開始により農業用水排水施設等の補修が進んでおり、今後も地元による補修を進めていく必要がある。施設の長寿命化による農業の継続性を確保する。		
地方債	0	【今後の課題・方向性】 事業の開始により農業用水排水施設等の補修が進んでおり、今後も地元による補修を進めていく必要がある。施設の長寿命化による農業の継続性を確保する。		
その他	0	【今後の課題・方向性】 事業の開始により農業用水排水施設等の補修が進んでおり、今後も地元による補修を進めていく必要がある。施設の長寿命化による農業の継続性を確保する。		
一般財源	19,875	【今後の課題・方向性】 事業の開始により農業用水排水施設等の補修が進んでおり、今後も地元による補修を進めていく必要がある。施設の長寿命化による農業の継続性を確保する。		
計	19,875	【今後の課題・方向性】 事業の開始により農業用水排水施設等の補修が進んでおり、今後も地元による補修を進めていく必要がある。施設の長寿命化による農業の継続性を確保する。		
(参考)		【今後の課題・方向性】 事業の開始により農業用水排水施設等の補修が進んでおり、今後も地元による補修を進めていく必要がある。施設の長寿命化による農業の継続性を確保する。		
前年度決算額	17,798	【評価結果】 事業年度である平成28年度まで引き続き施設長寿命化に寄与する。また、増加し続けている農道、農地の補修について、単市事業と併用することにより市の負担を軽減することも視野に入れたい。		

農113	項目名	農業基盤整備促進事業費	
主要な施策	農業基盤整備促進事業費	ページ	34
年度	H24	所 属 名	
		農林水産部 農村整備課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】基盤整備係 0857-20-3244		
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101		
項 農業費	【予算計上の経過】 2月補正予算		
目 農地費	【事業の概要】 農業生産基盤の整備をきめ細かく実施し、わが国の農業の体質を強化することを目的とした国補助事業「農業体質強化基盤整備促進事業」が24年度途中で廃止された。本市が同事業により実施してきた水路整備等を、同程度の事業内容である「基盤整備促進事業」に移行することで事業継続する。また、25年度実施予定であった「農業体質強化基盤整備促進事業」についても、国の経済対策に伴って前倒しし「基盤整備促進事業」で実施する。		
(単位:千円)	【事業の成果】 宮谷地区 用排水路工事 L=250m 猪子地区 区画整理事業 A=0.5ha 釜口地区 用水路改修 L=65m 刈地地区 用水路改修 L=100m 中園地区 用水路改修 L=90m 河内地区 用水路改修 L=315m		
当初予算額	0	【今後の課題・方向性】 市内全域の農業施設の老朽化は激しく、一部農業活動に支障が出ている箇所もある。水路については農業に必須の水を確保するために必要な施設であり、今後も老朽化箇所の改修を継続してゆくことが必要。農業をH25年度実施分を前倒しした施工地区についても継続して事業を実施してゆく。	
補正予算額	21,967		
予算流・充用額	0		
最終予算額	21,967	【評価結果】 老朽化した水路について早期の改修を行うことで農業の継続性を確保する必要があり、用水路整備を中心とした改修を継続して行う。	
本年度決算額	17,654	その他財源の内訳	
区分	決算額	分担金	0
財源内訳		負担金	2,499
国・県支出金	11,800	使用料	0
地方債	0	手数料	0
その他	2,499	財産収入	0
一般財源	3,355	寄付金	0
計	17,654	繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
(参考)			
前年度決算額	0		

農114	項目名	中山間地域等直接支払事業費	
主要な施策	中山間地域等直接支払事業費	ページ	35
年度	H24	所 属 名	
		農林水産部 農村整備課	
会計名	事業の概要		
一般会計	【問合せ先】総務経営係 0857-20-3241		
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101		
項 農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 9月補正予算・P36(農024)		
目 農業構造改善事業費	【事業の概要】 中山間地域等直接支払事業(第3期事業)に係る推進事務費		
(単位:千円)	【事業の成果】 中山間地域等直接支払制度の定着並びに交付金交付等の適正かつ円滑な実施の促進に資する。 1 集落説明会の開催 2 集落協定(個別協定)実施指導 3 対象農用地及び農業生産活動の実施確認事務等 4 協定の目標達成確認		
当初予算額	1,100	【今後の課題・方向性】 対象農用地の保全のため事業推進を行ってゆく。	
補正予算額	66		
予算流・充用額	0		
最終予算額	1,166	【評価結果】 H24年度は農村整備課へ所管替え(H23年度は農業振興課にて実施)現在第三期対策事業中。平成24年度で中間年を終えたが、今後も事業推進を図り農地保全を行う。	
本年度決算額	1,166	その他財源の内訳	
区分	決算額	分担金	0
財源内訳		負担金	0
国・県支出金	1,166	使用料	0
地方債	0	手数料	0
その他	0	財産収入	0
一般財源	0	寄付金	0
計	1,166	繰入金	0
		贈収入	0
		その他	0
(参考)			
前年度決算額	1,448		

農115	項目名	中山間地域等直接支払交付金		
主要な施策	中山間地域等直接支払事業費	ページ	35	所 属 名
年度	H24	農林水産部 農村整備課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】総務経営係 0857-20-3241			
款 農林水産業費	【9次総の施策体系】5101			
項 農業費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 当初予算・P170（農046）、9月補正予算・P37（農025）			
目 農業構造改善事業費	【事業の概要】 中山間地域等直接支払事業の第3期（H22年度～H26年度）対策3年目 条件不利地の中山間地域で農業生産活動を行う農業者等に対し直接支払を実施することで、農業生産活動を継続して耕作放棄地の発生を防止し、多面的機能を確保する。 対象地域は特定農山村法、山村振興法、過疎法に指定された地域及び県知事が特に必要と認める地域のうち、急傾斜地（田1/20以上、畑15度以上）及び急傾斜に物理的に連担する緩傾斜（田1/20未満・1/100以上、畑15度未満・8度以上）で面的まとまりのある農用地等。			
(単位:千円)	【事業の成果】 H22年度 協定数141 面積 7,523,539㎡ 交付金額 108,274,019円 H23年度 協定数142 面積 7,676,828㎡ 交付金額 110,708,172円 H24年度 協定数142 面積 7,742,455㎡ 交付金額 111,486,425円			
当初予算額	110,709	【今後の課題・方向性】 第3期事業年度である平成26年度まで継続して中山間地域の農地保全を図る。		
補正予算額	1,206			
予算流・充用額	0			
最終予算額	111,915	【参考】		
本年度決算額	111,914	評価結果 H24年度は農村整備課へ所管替え（H23年度は農業振興課にて実施） 中山間地域の農地保全を継続して行う。		
区分	決算額	評価結果		
財源内訳				
国・県支出金	82,190			
地方債	0			
その他	427			
一般財源	29,297			
計	111,914			
前年度決算額	110,708			

農116	項目名	補助災害復旧費		
主要な施策	現年発生災害復旧費	ページ	46	所 属 名
年度	H24	農林水産部 農村整備課		
会計名	事業の概要			
一般会計	【問合せ先】基盤整備係 0857-20-3244			
款 災害復旧費	【9次総の施策体系】5101			
項 災害復旧費	【予算計上の経過】 予算事業別概要目次 9月補正予算・P37（農026）、12月補正予算・P25（農012）			
目 農林水産業施設災害復旧費	【事業の概要】 平成24年6月19日の台風4号による大雨により、農道の法面が被災した。また平成24年9月18日の豪雨により、農地・農道・水路等が被災した。早期に被災箇所の設計及び土質調査を委託し、早急な災害復旧工事に着手、被害を最小限にとどめる。			
(単位:千円)	【事業の成果】 測量設計 一式 河原町山上地区、佐治町刈地地区、下砂見地区 下砂見地区頭首工一部工事着工			
当初予算額	0	【今後の課題・方向性】 翌年度繰越とした河原町小倉地区、河原町三谷地区、河原町山上地区、佐治町刈地地区の災害についても早期の着工と復旧を行う。		
補正予算額	26,763			
予算流・充用額	0			
最終予算額	26,763	【参考】		
本年度決算額	6,026	評価結果 早期の災害復旧を必要とする。		
区分	決算額	評価結果		
財源内訳				
国・県支出金	0			
地方債	0			
その他	0			
一般財源	6,026			
計	6,026			
前年度決算額	38,135			